

大河原地区教科用図書採択地区協議会
専門員会答申

調査対象教科

- ・ 中学校各教科及び特別の教科道徳
- ・ 学校教育法附則第 9 条における教科用図書（一般図書）

令和2年6月17日

大河原地区教科用図書採択地区協議会

委員長 佐山 富夫 殿

大河原地区教科用図書採択地区協議会専門員会

令和3年度使用教科用図書について（答申）

大河原地区教科用図書採択地区協議会専門員会設置要綱第2条の規定により、
諮問のあったこのことについて、別添のとおり答申します。

記

○別添「令和3年度使用教科用図書採択参考資料」。

[中学校各教科及び中学校特別の教科道徳並びに学校教育法附則9条の規定による教科
用図書（一般図書）]

令和2年度大河原地区教科用図書採択地区協議会専門員会 調査研究結果一覽

R2.6.17

NO	教科	1			2			3		
		発行者 番号	発行者	書名	発行者 番号	発行者	書名	発行者 番号	発行者	書名
1	国語	2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・新編 新しい国語 1 ・新編 新しい国語 2 ・新編 新しい国語 3 	38	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・国語1 ・国語2 ・国語3 	15	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の国語 1 ・現代の国語 2 ・現代の国語 3
		38	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・中学書写 一・二・三年 	2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい書写 一・二・三年 	17	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・中学書写
2	社会	46	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科学者の地理 世界の姿と日本の国土 ・社会科学者の歴史 日本の成り立ちと世界の動き ・社会科学者の公民 よりよい社会を目指して 	17	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・中学社会地理 地域に学ぶ ・中学社会歴史 未来をひらく ・中学社会公民 ともに生きる 	2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい社会 地理 ・新しい社会 歴史 ・新しい社会 公民
		46	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校社会地図 	2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい社会 地図 			
3	数学	2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい数学1 ・新しい数学2 ・新しい数学3 	11	学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校数学1 ・中学校数学2 ・中学校数学3 	61	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・未来へひろがる数学1 ・未来へひろがる数学2 ・未来へひろがる数学3
		2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい科学1 ・新しい科学2 ・新しい科学3 	11	学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校科学1 ・中学校科学2 ・中学校科学3 	61	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・未来へひろがるサイエンス1 ・未来へひろがるサイエンス2 ・未来へひろがるサイエンス3
5	音楽	27	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の音楽1 ・中学生の音楽2・3上 ・中学生の音楽2・3下 ・中学生の器楽 	17	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のおくりもの 中学音楽1 ・音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 ・音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 ・音楽のおくりもの 中学器楽 			

NO	教科	1			2			3		
		発行者 番号	発行者	書名	発行者 番号	発行者	書名	発行者 番号	発行者	書名
6	美術	116	日本文教出版	・美術1 美術との出会い ・美術2-3上 学びの突進と広がり ・美術2-3下 学びの探求と未来	38	光村図書	・美術1 ・美術2-3	9	開隆堂出版	・美術1 発見と創造 ・美術2-3 探求と継承
7	技術	9	開隆堂出版	・技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望を載せて	6	教育図書	・New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する	2	東京書籍	・新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
8	家庭	2	東京書籍	・新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	6	教育図書	・New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	9	開隆堂出版	・技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
9	保体	2	東京書籍	・新しい保体体育	50	大修館書店	・最新中学校保健体育	4	大日本図書	・中学校保健体育
10	英語	3	東京書籍	・NEW HORIZON English Course	38	光村図書	・Here We Go! ENGLISH COURSE	15	三省堂	・NEW CROWN English Series
11	道徳	2	東京書籍	・新訂 新しい道徳1 ・新しい道徳2 ・新しい道徳3	224	学研	・新・中学生の道徳 明日への扉1 ・新・中学生の道徳 明日への扉2 ・新・中学生の道徳 明日への扉3	116	日本文教出版	・中学道徳 あすを生きる1 ・中学道徳 あすを生きる 道徳ノート1 ・中学道徳 あすを生きる2 ・中学道徳 あすを生きる 道徳ノート2 ・中学道徳 あすを生きる3 ・中学道徳 あすを生きる 道徳ノート3

大河原地区教科用図書採択地区協議会
専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 国語（書写）

昨日から2日間にわたり、中学校国語・書写5名で教科用図書の調査を行いました。
これから、中学校国語・書写教科用図書の調査概要を報告いたします。

1 <中学校 国語>

各社とも、内容に関しては本県の国語科教育の重点事項に対応しており、バランスよく系統的に配置されています。また、各教材のねらいや見通しが明示しており、生徒が取り組みやすいように工夫されています。

組織と配列に関しては、基礎的・基本的な内容から発展的な内容まで効果的に身に付けられるように配置されています。また、身近な話題や実生活にも役立つ教材が取り上げられており、生徒に興味や関心を持たせる工夫がされています。

学習と指導に関しては、各領域を組み合わせたり、他教科との関連を図ることで国語だけでなく横断的な学びを実践するための単元構成の工夫が見られます。

表現や体裁に関しては、発達段階に応じた色彩、文字の大きさ、イラスト等に配慮した工夫とともに、植物油インキを用いたり再生紙を利用したりするなど、環境への配慮がされています。

以上のことから3社の国語教科用図書を選定いたしました。選定順位といたしましては、
第1位 東京書籍 内容、配列ともに優れ、総合的にバランスよく配置されている。他教科との横断的な学習にも取り組みやすい構成である。

第2位 光村図書 読み応えのある教材で、生徒が段階的に読み深められるように工夫されている。

第3位 三省堂 挿絵や写真が鮮明であり、思考の方法を図示化する等、生徒にとって分かりやすい体裁である。

<中学校 書写>

令和3年度の合計4社の教科用図書を調査いたしました。

内容に関しては、各社とも、見通しを持って学び、対話を通して学びを振り返ることで、「主体的な学び」「対話的な学び」を実現できるように構成され、学びを活用して、さらに「深い学び」が実現できるよう工夫されています。また、県教委の「学校教育の方針と重点」にある「生活に役立ち、文字文化に親しむ書写指導の充実」を実現する多様で適切な資料が掲載されていました。

伝統と文化を尊重する態度を養う配慮もなされています。組織と配列に関しては、基礎基本が定着するよう、各社とも写真やイラスト等を適切に用いて指導内容を示すとともに、毛筆での学習を効果的に硬筆に生かせるような工夫が見られます。

また、各社ともQRコードを掲載し、実際の運筆を動画で見たり、作品などの資料をさらに詳しく見たりすることができ、授業だけでなく、仮定額種においても活用でき、生徒を主体的な学びに導くことができるよう配慮されています。

表現や体裁等に関しては、見やすい文字の大きさと筆圧や筆の流れが分かるような工夫がなされ、また、ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやフォント、レイアウトなど発達の段階に配慮されています。

以上のことから3社の書写用図書を選定しました。選定順位といたしましては、

- 第1位 光村図書 単元のねらいを重点化し、知識・技能の習得、活用を組み合わせた課題解決型の学習ができる。取り外して使用できる「書写ブック」により、反復練習による技能の定着や、活用力の向上が期待できる。
- 第2位 東京書籍 生徒が、主体的に段階を踏みながら学習できるように、学習過程が明示されている。見やすく、使いやすく、生徒興味を喚起しやすいデザインとなっている。
- 第3位 教育出版 教科書への書き込み欄が充実していて、「書いて学ぶ」姿勢を定着させることができるよう配慮している。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 国語

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	2	東京書籍	新編 新しい国語 1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項が適切に配列され、内容のバランスがよく、生徒にとって学びやすく、思考も深められやすい。 「学びを支える言葉の力」を活用しながら学習していくことで基礎の定着が図れる。
第2位	38	光村図書	国語 1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れが明示・形式化されており生徒が段階的に読み深められるように工夫されている。また、教師は指導過程を明確に組み立てることができる。 幅広いテーマの作品が掲載されている。
第3位	15	三省堂	現代の国語 1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの道しるべ」により、見通しをもって学習できる。 挿絵や写真が明るく鮮明で生徒の意欲喚起や内容理解につながるように工夫されている。

種 目	国語	発行 番号 の・ 略称	2	教科 記号 の・ 番号	国語	701 801 901	書 名	新編 新編 新編	新しい国語 新しい国語 新しい国語	1 2 3
			東書							
1 内容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された国語の目標に即して、指導事項が適切に配置されている。また、言語活動例もバランスよく扱われており、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組める内容である。 ○ 「学びに向かう力・人間性等」が育成されるように工夫されており、本県の国語科教育の重点事項の実現に対応したものとなっている。 ○ 本編・基礎編・資料編の3部構成で、どの編から始めても柔軟に扱えるようになっている。また他教科とも関連した内容で構成されているため、横断的な学習に対応できるようになっている。 ○ 巻頭の「学年で学ぶこと」、巻末の「言葉の力」一覧により、3年間の学習を系統的に見通すことができる。学びのポイントが随所に明記され、生徒たちの学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 伝統文化に関する文章や豊富な資料及び情報活用能力を育成する教材がバランスよく全学年に設けられており、それぞれの資料の出所、出典が明示されている。 									
2 組織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各單元の中に、国語学習で身に付けたい「知識及び技能」のポイントが明確に示されている。このことにより「知識及び技能」が中学3年間を通して系統的に積み上げられるように配列が工夫されている。 ○ 七つの単元で構成されており、ねらいが明確に伝わるようそれぞれの単元に3領域の内容が配置されている。 ○ 本編「学びの扉」と基礎編「学びを支える言葉の力」を活用することにより、基礎的・基本的内容から発展的な内容までが効果的に身に付けられるよう工夫されている。 ○ 各単元は、各領域等の指導をバランスよく行える分量である。また、教材の区分は2学期制にも3学期制にも柔軟に対応できるように工夫されている。 ○ 東日本大震災に関する教材が取り上げられ、生徒の身近な生活や地域の実情に適合するように配慮されている。 									
3 学習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びを支える言葉の力」に具体的に高めたい言葉の力が示されており、学習活動に取り組むときに生徒の主体的な学びが促されたり、生かされたりするように工夫されている。 ○ 各単元の学習において、ゲーム感覚の教材やクイズ形式の教材を取り上げ、学習への興味・関心を高める工夫がなされている。 ○ 「読書案内」が随所にあり、多種多様な本が数多く紹介されている。有名人によるおすすめの本も紹介されており生徒の興味・関心を惹く工夫がされている。 ○ 「教科関連マーク」を付けることで他教科との関連が分かりやすい。また、他教科で学んだことを国語の学習に生かしたり、国語で学んだことを他教科の学習に生かす工夫がされている。 ○ 「Dマーク」が示されている単元では、コードやアドレスからインターネットを通して、学習に関連する音声や映像などの資料や練習問題・補充問題が活用できるよう配慮されている。 									
4 表現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明朝体、ゴシック体など場面に応じた字体を用いることで中学生にとって理解しやすい表記・表現となるよう工夫されている。発達段階を考慮し、学年に応じて字の大きさを変えている。 ○ 漫画や多彩なキャラクターを登場させ、生徒が教材に親しみを感じながら学びに向かえるような配慮がなされている。 ○ 領域と色をリンクさせており見やすい。濃淡を付ける等、色遣いの工夫が見られる。 ○ 図表や写真の大きさや配置、レイアウトに工夫が見られ適切である。細部にまでデザイン・色彩に配慮している。 ○ 表紙が厚く、丈夫な仕上がりとなっている。また、軽量の用紙を使用し、裏写りが抑えられている。再生紙と植物油インキが使用されており、環境に対する配慮もなされている。 									

種 目	国語	発 行 番 号 の 略 称	38	教 科 記 書 号 の 番 号	国語 704	書 名	国語1 国語2 国語3
			光村		804 904		
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語能力の充実に力を入れ、学習指導要領に示されている目標を達成するために教材の内容が工夫されている。また、各学年の生徒の発達段階に応じ、読みごたえ、やりごたえのある教材になっている。 ○ 教科書の巻頭に「思考の広げ方についての資料」や「学習の見通し」が示されており生徒にとって目にふれやすく、1年間でどんな学習をし、どんな力を身につけるかを見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○ 国語1の巻頭に音読の仕方やノートの書き方など、国語の学習の仕方について丁寧に書かれてあり、国語の授業開きに活用できる。また、小学6年生で学習した漢字一覧があり、復習できるようになっている。 ○ 各学年の巻末に「学習の窓」一覧があり、これまでの学習の復習を図り、知識の定着が図れるようになっている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の生徒の発達段階に応じて内容が組織的、系統的に配列され、学びやすく、学習の効果があがるように工夫されている。 ○ 各学年八つのまとまりで教材を構成し、それぞれのねらいが明確で、段階を踏みながらねらいに迫れるように配列されている。 ○ 教材の分量・区分は適切であり、バランスよく各領域の指導を行うことができるよう教材の配列が工夫されており、各校の年間指導計画に合わせて柔軟に対応できるようになっている。 ○ 情報収集、レポート作成、手紙の書き方、色々な発表の仕方、メディアリテラシー等がバランスよく配列され、様々な教科に関連させたり、実生活にも役立たせたりすることができる。 						
3 学 習 と 関 指 導 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得から発展的な学習に主体的に取り組むことができそれによって、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるように内容が工夫されている。 ○ 各教材の流れは、「見通しをもつ」→「捉える」→「読み深める」→「考えをもつ」→「振り返る」の形式に統一されており、生徒が段階的に読み深められるように工夫されている。また、教師側も授業の指導過程を明確に組み立てることができる。 ○ 資料が巻末にまとめてではなく、その都度、各教材のすぐ後ろに配置され、その教材で学んだことに関連づけて学び、深められるように工夫されている。 ○ 写真や挿絵、図表がバランスよく適切に配置されている。 ○ 関連して学習すると効果的になるように二次元コードやURLが記載されており、学習の参考となる資料を読み取り活用することができる。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活字の大きさは大きく見やすい。そのため、長文も読み疲れしにくく、学習に適している。色彩や印刷も鮮明である。 ○ 1年生と2、3年生で文字の大きさが異なり、また、書体の違いや色彩により内容を判別しやすくするなど、生徒の発達段階に応じた工夫や支援がされている。 ○ 挿絵は色使いが鮮明で、その作品を読み進める上でイメージを膨らませられるように工夫されている。 ○ 新出漢字欄は、手書きに近い教科書体が使用され、生徒にとって練習し、習得しやすくなっている。また、その新出漢字が教科書の何ページに出てきたかがすぐ分かるようにページ数がふられている。 ○ 製本がしっかりしていて、耐久性もある。長く使うのに適している。 						

種 目	国 語	発 行 番 号 の 略 称	1 5	教 科 記 号 の 番 号	国語 7 0 2 国語 8 0 2 国語 9 0 2	書 名	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3
			三省堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえ、「領域別教材一覧」で各領域の指導事項が「つきたい力を確かめよう」として提示されている。 ○ 各教材で目標及び学習過程が明確に示されるとともに、課題解決学習や多様な言語活動が多く設定されており、本県の国語科教育の重点事項に対応している。 ○ 共生や情報、平和等、現代社会の多岐にわたる課題を取り上げることで、生徒の興味・関心が広げられるよう工夫されている。 ○ 本編・読書の広場・資料編から構成されており、主体的な読書活動や社会生活での活用等学習の充実と発展を図れるようになっている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、多様な教材が掲載されている。また、各資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「領域別教材一覧」に「つきたい力」が領域ごとにまとめられており、見通しをもって主体的に学習活動が展開できるよう配慮されている。 ○ 各教材のはじめに、学習目標が明示されている。また、各教材の後に、「学びの道しるべ」という見開き2ページの学習過程を示し、学習の見通しをもたせている。 ○ 本編には各領域の指導事項が網羅されており、資料編には、身に付けた知識・技能を活用して発展的な学習につなげられるように、様々な場面で活用できる実践的知識や学び方がまとめられている。 ○ 各単元は、各領域のバランスを考慮し、配当時数と単元構成が工夫されており、各学校の年間指導計画に広く適合できるような配列になっている。 ○ 学校生活や実生活に広く対応する内容から、伝統文化や世界に目を向けた内容まで生徒の実態に広く適合できる内容が教材として取り上げられている。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の中に「読み方を学ぼう」を設け、文章を正確に読み解くための「読む技能」を習得するための方法が図解で分かりやすく示され、主体的な学習態度の形成を進められるよう配慮されている。 ○ 「思考の方法」によって、情報の捉え方や整理の仕方を身につけるための知識・技能を示し、主体的・対話的で深い学びが実践できるように工夫されている。 ○ 読み物教材の最後に「私の本棚」を設け、教材文のテーマや著作に関連する書籍を紹介し、読書を促すような工夫がされている。 ○ 各学年で、話し合いの方法や情報に関連づける単元が設定され、他教科や総合的な学習の時間との関連が図られている。 ○ 図表やグラフ、写真が適切に配置されている。また、「読書の広場」では「読み方を学ぼう」を活用した学習の手引きが見られるQRコードが各教材の後に配置されている。 						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ くタイトル活字を大きくし、大切な部分は配色を工夫して見やすくするなど配慮され、表現の仕方も学年の発達状況に応じて考慮されている。 ○ 古典教材では、折込の資料を配置してカラーの写真や挿絵を入れるなど、生徒の意欲の喚起や内容理解につながるような配慮がなされている。 ○ 書体は、画数や点画の方向等の誤解が生じない書体が工夫されている。また、漢字の学習や古典教材では、手書きに近い書体が用いられている。 ○ どの教材にも、見やすい挿絵や写真、図表がバランスよく掲載され、生徒が興味を持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 教科書のページが開きやすいように製本され、読みやすさの工夫がなされている。また、環境にやさしい用紙と植物油インキが使用されている。 						

種 目	国語	発 行 番 号 の 略 称	17	教 科 記 書 号 の 番 号	国語 703 803 903	書 名	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領にある目標を踏まえ、「言葉による見方・考え方」が機能するように単元ごとに効果的な言語活動が位置づけられている。 ○ 各単元や目標及び内容が明確に示されており、本県の国語科教育の重点事項となっている「指導内容の重点化」が図られる構成である。 ○ 各単元に3つのキーワードが示されており、国語科で学ぶべき課題や現代的な課題等について、生徒が考える際の手がかりとなるように工夫されている。 ○ 漢字については、その学年で学習する漢字一覧に加え、小学校で学習した漢字も筆順付きで掲載されており、復習の際に確認できるような作りになっている。 ○ 領域や指導事項に偏りが生じないようバランスよく教材が配置されている。出典も明示されている。 						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を見通し、指導内容が着実につながるよう系統的な単元構成になっている。 ○ 1年生の「学びナビ」は、小学校の既習事項を踏まえた書き方になっており、小学校での学びを生かして、生徒は学習することができる。 ○ 各教材の「目標」と「振り返り」が明確に示されている。学習後に生徒が「何を学んだのか」を振り返ることができるよう工夫されている。 ○ 各単元では、「知識及び技能」を身につけ、「思考力・判断力・表現力等」の活用が効果的に図られるよう教材を工夫して配列している。 ○ 高校の教科書でも取り上げられている作家の文章を掲載し、高校の学習に円滑につながるよう配慮されている。 ○ 教材の話題は地域的な偏りがなく、広く生徒の実態に合うよう配慮されている。また身近な話題から世界に目を向けさせる話題まで幅広く網羅している。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の冒頭にある「学びナビ」で学習内容の観点を把握することで、見通しを持って取り組むことができる。また、「ここが大事!」という欄もあり、ねらいの焦点化を図ることができる。 ○ 単元ごとに「広がる本の世界」というページがあり、さらに本を読んで学習した内容を広げたり、深めたりできるよう工夫されている。 ○ 「言葉の自習室」には多彩な作品や資料が掲載されており、国語の学習だけでなく、他教科の学習にも活用できるようになっている。 ○ 「言葉と文法 解説編」では、要点を絞った解説に加え、「やってみよう」という項目があり、学習した内容を演習できるよう工夫されている。2・3年生の動詞や助動詞の活用表も大きく見やすい。 ○ 「まなびリンク」では学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。言語活動に役立つ映像資料や古典の興味を広げる資料の他、生徒の自学自習を助けるワークシートもある。 						
4 表現と 関係 等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行間や文字の大きさを生徒の発達段階に合わせて変えている。また、ユニバーサルデザインフォントを使用し、多くの生徒が読みやすく、学びやすいよう工夫されている。 ○ 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮したつくりになっている。 ○ 行数は5行単位で行の下の部分に数字とドットが振られており、数えやすくなっている。 ○ 挿絵や図表、写真等はよく吟味されており、生徒の思考を促したり、興味関心を引いたりするのに効果的である。また、大きさやレイアウトも考えられており、見やすい。 ○ 生徒が使いやすいよう、軽量化した教科書用紙を採用している。また、印刷には環境に配慮した植物油インキを使用している。 ○ 表紙はそれぞれの学年に合わせたテーマで描かれており、生徒の学習意欲を喚起するようなデザインになっている。 						

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 書 写

	発行者番号	発行者	書 名	選定理由
第1位	38	光村図書	中学書写 一・二・三年	単元のねらいを焦点化し、知識・技能の習得、活用を組み合わせた課題解決型の学習ができる。取外して使用できる「書写ブック」により、反復練習による技能の定着や、活用力の向上が期待できる。
第2位	2	東京書籍	新しい書写 一・二・三年	生徒が、主体的に段階を踏みながら学習できるように、学習過程が明示されている。見やすく、使いやすい、生徒興味を喚起しやすいデザインとなっている。
第3位	17	教育出版	中学書写	教科書への書き込み欄が充実していて、「書いて学ぶ」姿勢を定着させることができるよう配慮している。

種 目	書 写	発 行 番 号 の 略 称	17	教 科 記 号 の 番 号	書 写 703	書 名	中学書写
			教 出				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている指導事項をおさえた内容になっており、学習活動を進めていく上で、書写に関する「知識及び技能」が習得できるよう工夫されている。 ○ 単元の最後に、身に付けた「知識及び技能」を学習活動や、日常生活に生かすための課題が設定され、生活に役立てられるよう配慮なされている。 ○ 生徒の身近にある多様な表現を通して豊かな文字文化に触れる内容となっており、身に付けた力を自分の生活や将来に役立てようという意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 冒頭に3年間の書写の学習を通して身に付ける力がイラストで示され、見通しをもって学習に取り組み、充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 歴史のある物から現在の作品まで、書に関する資料が豊富に掲載されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭に「目的に合わせて書こう」では、様々な「書く」場面が例示されており、目的や相手意識をもって学習活動を進めることができるよう工夫されている。 ○ 各学年のもくじには、身に付けさせたい力が明示され、その達成に向けた学習活動ができるよう構成されている。 ○ 一つの手本に対して、詳細な説明がある。また、毛筆で、朱筆の濃淡で筆の動きがわかる例が示されるなど、「知識及び技能」が確実に身に付くように工夫されている。 ○ 各学年の国語の学習にある文学作品や古典が硬筆教材として取り入れられており、国語の学習と関連付けながら、年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 各学年で、季節の行事での活用例を取り上げており、身に付けた「知識及び技能」を生活の中のさまざまな場面に生かせるように配列されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 字形、運筆、全体の調和など、文章だけでなく、図やイラストを用いて説明されており、「知識及び技能」が習得できるように配慮されている。 ○ 「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常に生かそう」という流れで教材が構成され、主体的・対話的で深い学びが展開できるよう工夫されている。 ○ 学習活動や日常生活に生かして書く教材では、例だけでなく、書くときの留意点や、手順が詳細に示され、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 身に付けた「知識及び技能」を教科横断的な学習活動や日常生活に活用するため、多様な例示でイメージしやすくなるように工夫されている。 ○ 学習の手引きとなる資料や動画を見られるQRコードが裏表紙に掲載されており、授業の充実を図ったり、家庭学習に活用したりできるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆・硬筆の手本の誌面に対するバランスが、実際の物と同様になっており、全体をイメージしながら練習できるように配慮されている。 ○ 道具や文字に関する「コラム」が豊富に設けられており、それらと学習内容を関連させることで生徒が親しみや魅力を感じるような工夫や配慮がなされている。 ○ 手本の文字は鮮明で、大きさも適切であり、カラーユニバーサルデザインで色覚の多様性にも配慮がなされている。 ○ 手本や作品例、写真やイラストなどは、適切にバランスよく配置され、見やすく工夫されている。 ○ 水や墨よごれにも強い堅牢な製本であり、再生紙・植物油インクの使用など、環境へも配慮がなされている。 						

種 目	書 写	発 行 番 号 の 略 称	2	教 科 記 書 号 の 番 号	書 写 701	書 名	新 し い 書 写 一・二・三年
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている書写に関する事項をもれなく指導し、生徒が主体的にねらいを達成できるよう、単元を組織、配列している。 ○ 県教委の「学校教育の方針と重点」に沿い「生活に役立ち、文字文化に親しむ書写指導の充実」につながる巻末の「書写活用ブック」等の資料が工夫されている。 ○ 単元末の「振り返って話そう」で、対話を通して学習を振り返ることで、学び合い、思考力を深めて次の学習への意欲を高められるよう工夫している。 ○ 書写の学習で身に付けた力を、日常生活の中や将来社会に出てからも活用できるよう、多様な書式等を豊富に例示している。学習の充実と発展を図る工夫がされている。 ○ 「文字のいずみ」には、書写の道具や、古典作品などの資料が充実しており、生産地や出典も明示されている。内容も生徒の興味を引きやすいものを偏りなく配列している。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆で学んだことを硬筆で生かせるように毛筆教材のすぐ後に硬筆教材を系統的に配列するなどの工夫が見られる。 ○ 「見つけよう」で目標を提示して「ねらい」を明確にし、知識及び技能を「書写のかぎ」として系統的に整理して配置してあり、各章、各節の内容のまとまりがある。 ○ 各学年の既習内容の復習から始まっており、基礎・基本を確認し、定着を図りながら学習を進め、発展的な学習へとつなげられるよう配列されている。 ○ 目標に対して、毛筆の手本がひとつ提示され、課題が焦点化されている。分量的にも各学校の年間計画に広く適合できるものとなっている。 ○ 読書教育にもつながる「本のポップ」や、国語以外にも、様々な場面で活用可能な、手紙、ポスター、入学願書等、生徒の実態に即した資料が充実している。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身に付けた「知識・技能」を意識して次の学習課題に臨めるよう、各学年に「生かそう」の項目が設けられており、主体的な学習態度の形成に対する配慮されている。 ○ 教材ごとに目標が明示され、意識して書くことができたかを確認できる。また単元末の「振り返って話そう」で、主体的・対話的で深い学びの実践が工夫されている。 ○ 生徒が自分で「知識及び技能」の定着度を確認できる「書写テスト」の項目が設けられており、高校入試の問題等にも関連しており、生徒の意欲喚起につながっている。 ○ 巻末の「書写活用ブック」には、新聞やレポートの作成、お礼状等の多様な資料があり、他教科や総合的な学習の時間の体験活動等のまとめなどに活用できる。 ○ 「D」マークのあるページでは、QRコードを読み込むことにより、教材文字にナレーションやテロップで解説を入れた運筆動画を見ることができ、効果的である。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朱筆で穂先の通る位置が示され、視覚的に理解しやすいよう配慮されている。学年に応じて行書の点画の変化や連続の書き方の定着が図れるよう、適切に配列されている。 ○ 「文字のいずみ」の「仕事の中の手書き文字」では、筆をモチーフにしたキャラクターが質問する形式で、生徒が親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ 文字のカラーやフォントにユニバーサルデザインが採用されていて、誰にでも見やすくなっている。また、書き込み欄を教材の下にすることで利き手に配慮している。 ○ AB版のワイドな紙面を活用し、見開きの2ページで三つの学習段階がわかるようレイアウトが工夫されている。図版も大きく、資料としての質が高い。 ○ 製本は、体裁がよく堅ろうであり、軽量の紙が使用されている。また、再生紙・植物インキが使用されており、環境への配慮がある。 						

種 目	書 写	発 行 番 号 の 略 称	3 8	教 科 記 号 の 番 号	書 写 7 0 4	書 名	中学書写 一・二・三年
			光 村				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている書写の指導事項を系統的且つ効果的に学習できるよう、各単元、教材の学習内容を焦点化し、生徒の発達段階に応じ段階的に配列している。 ○ 県教委の「学校教育の方針と重点」に挙げられている「生活に役立ち、文字文化に親しむ書写指導の充実」につながるような、多様な教材・資料が充実している。 ○ 各教材の冒頭に課題文字の特徴や書き方のポイントについて考えたり、話し合ったりする活動が位置づけられ、生徒の学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 全ての教材に「目標」と「自己評価」の観点が明示され、知識・技能の定着や、自己の変容の確認ができ、学習の充実と発展が図られるよう構成が工夫されている。 ○ 毛筆・硬筆とも、内容や資料に偏りがなく、俳句や古典作品等の資料、色紙や小説の一節にも出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で求められる学習要素を効率よく身に付けられるよう、単元・教材を精選し、発達段階に応じて段階的、系統的に配列し、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 各教材に「目標」が明示されており、考えて理解し、練習してさらに活用するという一連の学習活動を通して、書写の力を高められるように工夫されている。 ○ 取り外し可能な「書写ブック」を活用し、繰り返し練習することで、基礎的・基本的な内容の確実な定着と、発展的な学習を進められるように組織されている。 ○ 一教材一指導事項で構成され、配当授業時数に応じた内容の適切な分量である。各学校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮され、配列されている。 ○ 各課題文字の書き方を確認しながら、「書写ブック」を用いて硬筆で反復練習することができ、生徒の実態に応じた活用の仕方ができるように配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」「学習を振り返る」という流れに沿って展開され、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮されている。 ○ 文字の原理・原則を考えたり、話し合ったり「やってみよう」という項目を教材冒頭に配置することで、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がなされている。 ○ 「学習の窓」でポイントを示したり、課題解決のヒントを与えるキャラクターを登場させたりするなど、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮し、教材の最後には、多種多様な活動に役立つ資料が具体的に示され、学びを発展させられるよう配慮されている。 ○ 各単元毎に、運筆や道具の使い方の動画を見ることができQRコードが掲載されており、学習の充実をはかり、家庭学習にも役立てることができるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記・表現は学年の発達段階に応じて適切であり、手本や作品の例も文章に対してバランスよく見やすく配置されている。 ○ 身近で今日的な書写に関する例を挙げたり、多様なイラストを挿入したりすることで生徒が親しみや魅力を感じるような工夫や配慮がなされている。 ○ 手本の文字は大きく鮮明であり、朱筆を使い、筆脈が分かりやすく学べる工夫がなされている。カラーユニバーサルデザインを用い色覚の多様性にも配慮がなされている。 ○ 学習の中心となる手本等は、大きく配置され、その他は小さめにレイアウトされており、見やすく理解しやすく工夫されている。図表等のバランスも適切である。 ○ 長期の使用に耐えるよう堅ろうに製本され、再生紙・植物油インクの使用など、環境へも配慮がなされている。 						

種 目	書 写	発 行 番 号 の 略 称	1 5	教 科 記 号 の 番 号	書 写 7 0 2	書 名	現代の書写 一・二・三
			三省堂				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教材に「学習目標」と「振り返り」を設け、見通しを持って学習できるよう工夫している。学習指導要領に示されている書写に関する事項をおさえている。 ○ 日常生活の中で目にする文字が多く示され、県教委の「学校教育の方針と重点」にもある「文字文化に親しむ書写指導の充実」につながる資料が工夫されている。 ○ 生徒にとって身近に感じる歌詞や、興味を喚起する「文字の変遷」教材として取り上げることによって、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 硬筆による書き込み式のページを設けるなど、毛筆練習で習得した技術を、他教科の学習や日常生活でも活用できるよう配慮されている。 ○ コラムや「書の古典」では、学習の幅を広げる中国や日本の代表的な作品が紹介されており、資料の出所や出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材が系統的に学ぶことができる配置となっており、三年間を見通して、毛筆・硬筆を繰り返し練習し、書写の力を身に付けられるよう工夫している。 ○ 書き方のポイントを示す「書き方を学ぼう」により、各教科で学習すべき内容が明確になるよう工夫されている。 ○ どこに気を付けて、どのように書けばよいかという書き方のポイントが具体的な字形例とともに提示されており、基礎・基本の定着を図る工夫がなされている。 ○ 毛筆教材で学んだことを硬筆教材で繰り返し練習するなど定着のための工夫なされ、それが各学校の年間計画に合わせて弾力的に扱うことができる配慮にもなっている。 ○ 原寸大のはがきに宛名を書く單元など、学習したことを活用して「書く」多様な教材が配置されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が主体的に考えながら学習に取り組めるよう、楷書と行書を比較する学習活動など、活用する力を身に付ける教材が工夫されている。 ○ 単元を通して学んだことが活用できているかどうかを自己評価できる「振り返ろう」の項目を設け、主体的な学習を促す工夫がなされている。 ○ 硬筆の横書きの行のそろえ方を複数例示したり、「筆順の原則」を示したりなど、実用性のある教材を配置し、生徒の文字への興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ さまざまな書式の文章や、時候のあいさつ等についても取り上げるなど、他教科や総合的な学習の時間の体験活動等のまとめなどにも活用できる資料が配列されている。 ○ 硬筆、毛筆の練習を行うときの姿勢や、筆の持ち方等、基本的な内容を確認するためのQRコードが掲載され、視覚的にも理解が進むよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 穂先の通る位置が朱墨で示され、運筆が視覚的にとらえ理解しやすいよう配慮されている。行書の点画の変化や連続の書き方の定着を図れるよう配列が工夫されている。 ○ 学習目標を問いかけの言葉にしたり、鉛筆のキャラクターを用いたりして、生徒が親しみをもって学習を進められるように配慮されている。 ○ 文字の色彩や大きさ、形にユニバーサルデザインが採用されており、生徒の特性による差に対応できるものとなっている。 ○ A B版のワイドな紙面で見やすく、学習の流れがわかるようレイアウトが工夫されている。生徒が学習のポイントを視覚的につかみやすいよう工夫されている。 ○ 再生紙・植物インキが使用されており、環境への配慮がある。また、丈夫で消しやすい用紙となっている。製本は、体裁がよく堅ろうである。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 社会

中学校 社会科答申

昨日から2日間にわたり、7名の委員で中学校社会科及び地図帳の調査研究を行いました。調査結果の報告をいたします。

1 中学校社会科

3社とも、中学校学習指導要領（社会科）に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元が適切に配列されています。今日的な課題である、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するうえでの配慮がなされています。

またすべての教科書に防災や持続可能な開発目標（SDGs）、地域発展に貢献した人物や伝統・文化、環境問題の単元がとりいれられており、道徳教育や総合的な学習とも関連させながら、本県の重要課題である「志教育」の推進につなげることができる内容となっています。

表現や体裁に関しては、各社とも資料や写真を豊富に取り入れるると同時に、二次元コードなども多彩に使用されており、個に応じた学習への対応も十分であると感じました。

以上を踏まえて、社会科の場合、地理歴史公民の3分野があり、分野で順位が違いました。それらを総合的に判断して3社の選定順位を決定させていただきました。

第1位 帝国書院 文章表現が平易で、語句の説明や解説が詳細で理解しやすく、人物や地名には振仮名がつけられており、発達段階に考慮したつくりになっている。問い・課題・確認・説明・振り返りの学習を通して基礎・基本的事項の定着を図るとともに、発展的な課題で思考力・判断力・表現力を身に付けることができるよう配慮されている。

第2位 教育出版 社会科の基礎的・基本的な事項が明確におさえられている。また、社会の変化や今日的課題が取り上げられており、「未来社会を切り拓くための資質・能力」を育てるように配慮されている。写真や資料も適切で、生徒の思考を深めるのに役立っている。

第3位 東京書籍 平易な表現で資料や図表もバランス良く配列されており、生徒が見やすい教科書となっている。また導入部、展開部、終結部の構造化した配列で構成され、学習の流れを捉えやすい配慮がされている。

2 中学校地図

両社とも世界を概観する地図に始まり、世界の各州、日本の各地方および特徴的な地域が取り上げられています。

内容的には両社とも学習指導要領に準拠した内容が適切に取り上げられており、更にはSDGsなどを現代的な諸課題をとらえていたり、地図活用の問いが設けられていたり両社とも工夫された内容になっています。

各種統計資料も豊富で、一人ひとりの児童の興味・関心や発展的な学習に対応できるようになっています。表現や体裁については両社ともすべての地名に振仮名が付けられ、生徒の発達段階に応じて難解な字も正しく読めるような配慮がなされています。大きさ的にはA4サイズとAB版という違いがありましたが両社とも堅牢な作りで3年間の使用に十分耐えうるものとなっています。以上を踏まえて両社の選定順位を決定いたしました。

第1位 帝国書院 地図がとても大きく紙面の上を北に広範囲に表現されており、地域的特色を大観し概略をつかみやすいように工夫されている。地図活用の問いが100近く掲載されている点も大きな魅力の一つです。

第2位 東京書籍 縦向きの地図を効果的に活用し、地球儀の代わりとして使用できる工夫、「ジャンプ」して関連の高い別の資料を明示し、思考や考察を深められるような工夫が魅力的であった。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 中学校社会科

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	46	帝国書院	社会科中学生の地理 世界の姿と日本の国土 社会科中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き 社会科中学生の公民 よりよい社会を目指して	文章表現が平易で、語句の説明や解説が詳細で理解しやすく、人物や地名には振仮名がつけられており、発達段階に考慮したつくりになっている。問い・課題・確認・説明・振り返りの学習を通して、基礎的・基本的事項の定着を図るとともに、発展的な課題で、思考力・判断力・表現力を身に付けることができるよう配慮されている。
第2位	17	教育出版	中学社会地理 地域に学ぶ 中学社会歴史 未来をひらく 中学社会公民 ともに生きる	社会科の基礎的・基本的な事項が明確におさえられている。また、社会の変化や今日的課題が取り上げられており、「未来社会を切り拓くための資質・能力」を育めるように配慮されている。写真や資料も適切で、生徒の思考を深めるのに役立っている。
第3位	2	東京書籍	新しい社会 地理 新しい社会 歴史 新しい社会 公民	平易な表現で資料や図表もバランス良く配列されており、生徒が見やすい教科書となっている。また導入部、展開部、終結部の構造化した配列で構成され、学習の流れを捉えやすい配慮がされている。

種 目	社会 (地理的分野)	発行 番号 の・ 略 称	2	教 科 記 書 号 の・ 番 号	地 理 7 0 1	書 名	新編 新しい社会 地理
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いを軸にした単元の「構造化」による課題解決的な学習を実践することで、主体的な学びができるように工夫されている。 ○ 「地域のあり方」では、地域の変容や課題に注目したり将来像を提案したりする活動を通して主体的に社会の形成に参画する資質や能力が養えるように配慮されている。 ○ 小学校の学習を振り返る場面が設けられており、「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるように配慮されている。 ○ 環境、人権、伝統、防災の現代的な諸課題のテーマで内容が貫かれており、課題を理解し、解決しようとする態度を養える内容になっている。 ○ 学習指導要領に示された内容を基に構成されており、掲載されている資料は公正で出所出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入部、展開部、終結部の構造化した配列で構成され、学習の流れを捉えやすい配慮がされている。 ○ 導入部で活用する「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるよう配慮されている。 ○ 地理学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキルアップ」が設けてあり学習に必要な技能を確実に定着できるように配慮されている。 ○ 見開き2ページ1単位時間で設定されており、標準授業時数のうち5単位時間の予備時間があり、柔軟に指導計画が作成できるように構成されている。 ○ 基礎的・基本的な地理的技能の確実な習得を図る「スキルアップ」は、生徒の発達段階を踏まえて系統的に配置し、技能を段階的に高められるように配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短時間での説明・要約で学習内容をまとめる「チェック&トライ」が設けられ、思考力・判断力・表現力を高められるように配慮されている。 ○ 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジコーナー」が適宜設けられ、対話的な活動が効果的に実践できるように工夫されている。 ○ 「地理にアクセス」や「インタビューコラム」を随所に掲載し、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 ○ 他教科との関連があるページには、「他教科関連マーク」を付してあり、他分野や他教科とつなげて学習できるように配慮されている。 ○ 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した図番号を本文にも付すことで学習効果が高まるように配慮されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章は敬体を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述されている。 ○ 資料が豊富で大きく掲載されており、文字も鮮明で大きさや書体も適切である。 ○ 教科書で使用されているすべての文字は、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○ 資料の掲載部分の背景に色を付けて本文部分と資料部分との区別が明確で読み取りやすい。 ○ 針金とじで製本し、造本は堅牢である。植物用インキを使用し環境に配慮している。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 番 号 の 略 称	17 教 出	教 科 記 号 の 番 号	地 理 702	書 名	中学社会 地理 地域にまなぶ
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が明確におさえられている。また社会の変化や今日的課題が取り上げられており、「未来社会を切り拓くための資質・能力」を育てるように配慮されている。 ○ 学習内容が詳しく丁寧に扱われており、基礎的・基本的な事項の確実な習得が図られるように配慮されている。また、「学習のまとめと表現」など段階的な学習を通して学力の着実な向上が図られるよう構成されている。 ○ 生徒の日常生活や経験と関連が深い身近な話題・内容が多く取り上げられているほか巻頭や折り込みのページを中心に興味・関心を喚起する写真資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるように配慮されている。 ○ 世界と日本の地誌学習に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることにより、生徒がじっくり追求しながら充実した学習を展開できるように配慮されている。 ○ 内容が正確・公正中立であり、中学生の思考や論理展開に整合しており明快である。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単位時間ごとに見通しを持った学習や振り返りができるように内容が構成され、学習活動を通じて深い理解ができるように配慮されている。 ○ 世界・日本の諸地域の学習は、どの単元も自然環境と人口分布等を導入に、その後の学習活動が展開できるように構成されている。 ○ 「まとめと表現」で「知識・技能」の定着や「思考力・判断力・表現力等」の育成と学習内容の活用が図られている。 ○ 各単元で扱う学習内容の分量が適切で、明確である。各学校の実情に合わせて年間計画が作成できるように配慮されている。 ○ それぞれの地域や学習内容に関する現在の状況や課題を示すことで、社会の実態をつかませ、その理解や課題解決の態度を育成できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編の「表現」で学習内容に基づく「思考力・判断力・表現力」を育成する課題が設定され、章末の「確認」や「地理の技」で「知識・技能」が習得できるように配慮されている。 ○ 地域調査の学習において話し合ったり、意見交換を行ったりするなどの対話的学習の場面が設けられ、教え合いや学び合いによる協働学習ができるように工夫されている。 ○ 視覚的な資料と統計資料を掲載したり、数多くのコラムで生徒の多様な興味・関心に対応したりできる内容になっている。 ○ 「特別の教科 道徳」との関連が図られる工夫がなされ、「関連マーク」を付して他分野との連携を図る工夫もされている。 ○ QRコードやURLは発行者が管理するウェブページのものである。リンク先の内容は、省庁等の公的機関、公立博物館など安全で公正中立なものである。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章は平易な表記・表現で、用語解説を掲載することで読解に負担がかからないように配慮されている。また、ふり仮名をつけることで読みのつまずきを軽減するように配慮している。 ○ 単元の導入部では大きな写真を掲載して生徒に具体的イメージを持たせることで学習意欲を引き出せるよう工夫している。 ○ すべての生徒にとって見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりになっている。図版資料は配色とともに形や模様が工夫され判読しやすいように配慮されている。 ○ 写真、イラスト、地図、グラフ、図解などの資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的に捉えやすく配慮されている。 ○ 複数年の使用に耐える堅固な製本で表紙も汚れにくい加工がしてある。再生紙と植物油インキが使用され環境への負荷を軽減するように配慮されている。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 番 号 の 略 称	4 6	教 科 記 書 の 番 号	地 理 7 0 3	書 名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
			帝 国				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的な見方・考え方を身に付けやすいように課題を解決する視点が明記されており課題解決に向けての流れが分かりやすく配置されているため、生徒が学習しやすく配慮されている。 ○ 見開きの右下に、「確認しよう」「説明しよう」が設けられており、言語活動を毎時間行い、思考力・判断力・表現力を育成できるよう配慮されている。 ○ 単元の冒頭のイラストや作業「やってみよう」を設けることで、小学校の学習内容を振り返り、より深化させる学習ができるよう配慮されている。 ○ 記述は明瞭で簡潔で分かりやすく表現されており、基礎的な知識を理解しやすいよう配慮されている。 ○ すべての領域で、適切な写真や図版が用いられており、丁寧かつ適切な説明が明記されている。今日的課題への対応についても既習事項や他の分野との関連性を重視して明記されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的な基本用語や概念を理解しやすいように配慮され、地理的な見方・考え方を働かせて課題を追究できよう、系統的に配列されている。 ○ 「序説」「章のねらい」「節の問い」「章・節の学習の振り返り」が設定され構造化された構成になっており、見通しを持った学習ができるように配慮されている。 ○ 節末の「学んだことを確かめよう」では身に付けるべき知識を、23か所設けられた「技能をみがく」で、地理的分野における基本的な技能を習得しながら、より深い学びにつなげられるよう配慮されている。 ○ 各見開きで一時間扱いを想定し、内容も分量も適切である。本文、図版、即注等が統一されたレイアウトで配置され、内容や分量も適切である。 ○ SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた様々な事例が写真で掲載され、生徒のSDGsへの関心が高まるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各見開きに「学習の課題」「確認しよう」「説明しよう」で基本的な学習内容を理解しやすくし、単元の最後に「節の問い」で学習内容を振り返るというように、それぞれの問いを考えることで課題解決的な学習しやすい構成になっている。 ○ 導入資料では、写真や資料に対して、中学生に親しみやすいキャラクターの吹き出しで興味・関心を高め、地理的な見方・考え方を働かせながら主体的・対話的に「節の問い」を振り返ることで、深い学びにつなげるよう配慮されている。 ○ 写真や主題図の読み取り方等、技能を習得するテーマが設置され、段階的に深い問いが設定されることにより、地理的な見方・考え方を育む工夫がされている。 ○ SDGsに関する世界の事例や日本の各地域の取組が掲載され、他教科との関連と、ページ下段に「小学校・歴史・公民との関連」コーナーが設けられおり、他分野との関連に発展する内容となっている。 ○ 各節のQRコードが53か所、学習内容の理解を補助する動画やアニメーション等のコンテンツが153点収録され、適切な配置がなされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、生徒が読みやすい簡潔な表現になっており、地名や重要語句・難しい漢字に振り仮名が付けられ、生徒の発達段階を考慮した配慮がなされている。 ○ 単元の導入における写真やイラストが大きく提示され、ワイドな写真から、生徒がイメージを喚起しやすい工夫がなされている。 ○ 本文や図版には、配色やフォントがユニバーサルデザイン化されており、色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などを用いて、すべての生徒にとって見やすい工夫がなされている。 ○ 見開きのレイアウトの統一、章ごとの色の統一の工夫がなされており、生徒にとって見やすく配置されている。 ○ 軽くて耐久性に優れた再生紙を使用することで、5%の軽量化を図るとともに、堅牢な製本になっており、ライスインキを使用することで環境への配慮も考えられている。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 番 号 の 略 称	1 1 6	教 科 記 号 の 番 号	地 理 7 0 4	書 名	中学社会 地理的分野
			日 文				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象に関して、地理的な見方・考え方を働かせながら見つけ、課題を追究し、解決しやすい内容になっている。 ○ 社会的事象の特色を地理的技能の説明を基にした知識・技能の習得、地理的な見方・考え方とその視点を示し「思考力・判断力・表現力」の育成を図るように工夫されている。 ○ 本文と関連が的確な写真や図版が掲載され、生徒にとってあまり身近でない事象でもイメージしやすくなるようサイズや配置も統一する工夫がなされている。 ○ 本文で基本的な「知識・技能」の習得、それを活用し、資料等で「思考力・判断力・表現力」を育成する工夫がなされている。「地理+α」や「自由研究」において、発展的学習に配慮している。 ○ 領土や多文化共生等について適切に記載されている。今日的な課題についても、既習事項との関連性を重視し、明記されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに、世界と日本の地域構成を学習し、それを踏まえて「世界の諸地域」「日本の諸地域」を学習するように配列され、系統的に地理的認識を深めるよう工夫されている。 ○ 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、導入・大観・追究（自由研究）・まとめ（振り返り）の統一された構成で、生徒が学習活動を進めやすいように工夫されている。 ○ 学習内容ごとに、学習課題とそれに対する見方・考え方が示してあり、「思考力・判断力・表現力」を育む工夫がなされている。また「スキルUP」や「資料活用のポイント」を示し、基本的な地理的技能の習得を図る工夫もなされている。 ○ 基本的に見開き2ページで1単位時間と設定しており、計画的に学習に取り組みやすいよう配慮されている。 ○ 多文化共生や伝統文化、SDGsに関わる事例が掲載され、身近な地域の調査と併せて生徒が自分の生活する地域社会と比較し、考え、追究できよう工夫されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに学習課題が明記され、右側には「確認コーナー」が設けられ、基礎的・基本的な知識・技能の確実定着を図る工夫がされている。また、「深めようコーナー」を設け、習得した知識を活用し、「思考力・判断力・表現力」の向上を図る工夫がなされている。 ○ 地理的事象を具体的にイメージできる写真や図版を掲載し、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。主題学習や動態地誌的学習を進め、「アクティビティ」「チャレンジ地理」に取り組むことで、主体的・対話的で深い学びを実現するよう配慮されている。 ○ 写真や図版、グラフなどの資料を多く用いたり、多様な視点からのコラムを設け、オリンピック・パラリンピック、大阪万博に関わる教材を掲載するなど生徒の多様な興味・関心を引き出すように工夫されている。 ○ 社会参画への意欲や持続可能な社会の形成に参画する態度を養う教材を掲載し、道徳や他分野及び他教科との関連にも配慮されている。 ○ 地図・写真・グラフなど最新の資料が豊富に掲載されており、特に、地図は、読み取りやすい地図表現を施す工夫がなされている。QRコードを読み取ることで理解を補助するコンテンツも掲載されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は簡潔で、生徒が読みやすい表現に工夫されており、小学校6年生以上で学習する漢字には振り仮名が付けられ、読み取りやすく工夫されている。 ○ 世界の最新のトピックスや多様な文化及び現地で活躍する人々の声のコーナーを設け、生徒の興味・関心を高める配慮がなされている。 ○ 誰にでも読み取りやすいユニバーサルデザインフォントを採用し、図版の色彩などもカラーユニバーサルデザインに配慮されている。重要語句は太字で、すべて振り仮名を付けるなど見やすく工夫されている。 ○ 各ページのレイアウトがほぼ統一され、見やすく工夫されている。また、生徒の思考の流れに沿ったレイアウトに配慮され、生徒の理解を深める工夫がされている。 ○ 製本は堅牢なあじろ綴じで、大きく開き見やすく工夫されている。用紙には再生紙を用いており、印刷は植物インキを採用し、環境に配慮されている。また、大判化に伴う重量化に配慮し、平成28年度版と比較し、5%の軽量化をしている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 番 号 の 略 称	2	教 科 記 号 の 番 号	歴 史 7 0 5	書 名	新 しい 社 会 歴 史
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的な見方・考え方を働かせる学習課題を設定するとともに、「知識・技能」の定着「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す内容となっている。 ○ 現代的な諸課題を意識させる学習や身近な地域の学習を通し、主体的に社会参画し、他者と協働しようとする資質や態度の育成につながる工夫がされている。 ○ 内容の程度、範囲は適切で、文章も平易で具体的な記述となっている。小学校の学習を振り返る活動を設けることで、中学校の学習へ移行できるよう配慮されている。 ○ 目次・さくいん、巻末資料などを除いた総ページ数は278ページで、内容の程度、範囲も学習指導要領に示された内容を基に構成されており、適切である。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、出所や出典も明確である。また、歴史研究の成果を踏まえた復元写真や想像図等も用いられている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱うことで、分野の関連を意識しながら多面的・多角的な学習になるように工夫されている。 ○ 各時代の学習を「学習に興味・関心を持たせる(導入部)」→「学習を進める(展開部)」→「学習をまとめる(終結部)」の形で構造化し、学習の流れをとらえやすくしている。 ○ 1単位時間の学習の最後に、知識を確かめる「チェック」、「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる「トライ」の課題を設けて、理解を促す工夫がされている。 ○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、各章の配分も適切である。標準授業時数135時間のうち5時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能である。 ○ 各章ごとに調べ学習「地域の歴史を調べよう」を設け、郷土の歴史に目を向け、郷土を愛する心の育成ができるように配置されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入段階で単元を貫く「探究課題」を設定し、単位時間ごとに学習課題と振り返りで課題を追究し、単元をまとめる活動で探究課題の解決を図る構成となっている。 ○ 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。 ○ 見開きの最初に掲載した「導入資料」で生徒の興味・関心を喚起し、「読み取る」や「考える」コーナーを設けて、多様な学習に対応する工夫がされている。 ○ 他教科でも取り扱う内容には「他教科関連マーク」を付している。また「くらげチャート」や「X・Y・Wチャート」等の思考ツールが紹介されるなどの工夫がされている。 ○ 学習効果を高める資料が掲載され、資料に付した「図番号」が本文に掲載されている。またDマークコンテンツやQRコードを設け、ICT機器の利用を促す工夫がされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章は敬体を用い、中学生の発達段階を考慮した平易で具体的な表現で分かりやすく記述してある。 ○ 不用な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用し、本文ページからはキャラクターデザインをなくして、学習内容に集中できるようにしてある。 ○ 使用文字の大きさや書体は適切で読みやすいものとなっている。小さな文字の読み取りが苦手な生徒に対して、ゴシック体のふりがなをつけるなどの配慮がされている。 ○ 紙面レイアウトを工夫し、資料が大きくなるようにしている。また、資料の掲載部分の背景に色をつけて本文部分と区別し、読み取りやすくしている。 ○ 針金とじを用いて製本し、造本は堅牢。用紙は軽量化を図った再生紙を用い、環境に配慮した植物油インキを使用している。大きさはA Bワイド版で見やすい。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 略 称	1.7	教 科 記 号 の 番 号	歴 史 7 0 6	書 名	中学社会 歴史 未来をひらく
			教 出				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元を貫く課題に迫るように小単元の学習課題が設定されている。導入・本時・特設・まとめと体系化された単元構成になっており、資料を用いて課題を解決することを通して言語活動にも取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 資料や写真が豊富に掲載されている。学習課題が具体的な問いで設定されており、多面的・多角的な考えを深め、知識を定着させ、より深い学びにつなげることができる。 ○ 小学校で学んだ歴史上の人物や文化遺産等を振り返る作業活動が位置付けられており、既習事項を生かして小学校の社会科学習と中学校の歴史学習が円滑に接続できるよう配慮されている。 ○ 小単元の最初に簡易年表が明示されており、学習範囲が歴史の流れの中のどの部分なのかを視覚的に理解することができる。また、課題・確認・表現・まとめ、と見通しを持って学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 掲載されている資料や内容は適切で見やすく、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の導入からまとめまで、学習の流れが体系化されており取り組みやすい。時代背景を大観し、世界の歴史と関連付けながらとらえられるよう工夫されている。 ○ 小単元だけでなく、節ごとにも学習課題とまとめが示されており、主体的に考え、学習内容が定着しやすいよう工夫されている。 ○ 章末ごとに「歴史を探ろう」ページが設けられ、各時代の人々の様子や思想が掲載されており、生徒の多様な学びや発展的な学習にも対応できるよう配慮されている。 ○ 時代ごとに、郷土の伝統・文化への関心を高めるテーマを紹介したり、「地域調査の手引き」として地域調査の手法について詳しく紹介したりしており、身近な地域の学習に取り組むやすいよう配慮されている。また、「歴史の技」というコラムを通し、資料を読み取るスキルを身に付けられるよう工夫されている。 ○ 近代・現代の歴史について、質・量ともに充実させ、重点的に取り扱っており、写真資料等も豊富である。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元のタイトルに印象的な言葉を用いることによって、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 小単元の最後に、学習課題に対応した「確認」「表現」という課題が設定されており生徒一人一人の思考力・判断力・表現力を高める工夫がされている。章末にはまとめのページが設けられ、基礎・基本事項を身に付けられるよう配慮されている。 ○ コラムやテーマ学習のページが充実しており、興味・関心を広げたり、多面的・多角的に掘り下げる等、生徒の多様な興味・関心に応じた学びにも対応したりしている。 ○ SDGs の理念を通して、地歴公民の学習が結び付き、より学びが深まるように配慮されている。 ○ 本文の流れに即して「歴史を探ろう」や、QRコードを読み取って学びを広げる「まなびリンク」等、様々な資料を読み取り、活用する力が身に付くよう配慮されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章ごとにページ全体が色分けされており、時代区分が分かりやすくなっている。 ○ 本文だけでなく、資料の解説や学習課題が平易な言葉で提示されており、理解しやすい。 ○ 見開き2ページが1単位時間の授業に対応しており、学習の流れや見通しを持ちやすいよう工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインやUDフォントを取り入れ、多くの人に見やすいよう配慮されている。 ○ 堅ろうで扱いやすい。また、再生紙と植物インキを使用し、印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力を使用する等、環境に配慮されている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 番 号 の 略 称	4 6	教 科 記 書 の 番 号	歴 史 7 0 7	書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
			帝 国				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「章の問い」「節の問い」「小単元の学習課題」を明確にし、見通しから振り返りまでを体系的に設置することで、多面的・多角的に課題を追究させ、各時代の特色をとらえられるように配慮されている。 ○ 問い・課題・確認・説明・振り返りの学習を通して、基礎・基本事項の定着を図るとともに、章の学習の振り返りでは歴史的な見方や考え方を働かせて説明することで、思考力・判断力・表現力を身に付けることができるよう配慮されている。 ○ 大きく分かりやすいイラストを用い、導入での関心・意欲を高める工夫がみられる。また、様々な立場の人物に焦点を当て、その考え方を学ぶことによって歴史の理解を深める工夫がされている。 ○ 学習課題が明確であり、課題意識を持って学習に取り組むことができる。社会的事象の因果関係に着目して本文が記述されており、体系的な理解を図ることができる。多様な立場の資料や異なる見方を学び、歴史を多角的にとらえられるよう工夫されている。 ○ 掲載されている資料や内容は適切であり、出典も明示されている。色遣いや大きさにも工夫がみられる。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人物コラム」「歴史プラス」「歴史を探ろう」等、学習内容に関連した資料が豊富であり、歴史への興味・関心を高めながら、歴史の大きな流れを把握できるように配列されている。 ○ 各章・各節のねらいが明確であり、各時代の特色を踏まえやすい内容になっている。 ○ 「確認しよう」「説明しよう」が見開きの右ページに設けられ、基礎的・基本的な内容の確認から発展的な学習まで取り組めるよう配慮されている。また「章の学習を振り返ろう」では、思考力・判断力・表現力を用いた課題での振り返りを通して、まとめ方のスキルを身に付けるとともに、深い学びを行うことができる。 ○ 内容・分量ともに適切で、資料を用いながら発展的な学習内容を取り入れつつ、各校の年間指導計画に合わせて学習が進められるように配慮されている。 ○ 当時の歴史を地域の視点から見る「地域を探ろう」が設けられており、地域の視点から日本の歴史を多角的にとらえ、広く活用できるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章・節・小単元に体系化された問いが明示され、見通しを持ちながら学習に取り組むことができるように配慮されている。 ○ 小単元の最後に「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、主体的・対話的な深い学びに取り組むことができる。また「多面的・多角的に考えよう」の特設ページでは、考察や話し合いを通し、思考力・判断力・表現力を身に付ける工夫がされている。 ○ 課題をつかむ、調べる、考える、発表する、振り返るという一連の学習活動で、生徒の多様な能力を引き出すよう工夫されている。 ○ 防災や領土問題、SDGsなどに関する学習を通して、地歴公民の学習が結び付き、より学びが深まるように配慮されている。 ○ 教科書に関する資料や動画を閲覧できるQRコードを読み取ることで、自主的に学びを深めたり、授業で活用したりすることができる。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章表現が平易で、語句の説明や解説が詳細で理解しやすい。また、人物や地名には振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記になっている。 ○ イラストや図版が多く特設ページも多い。解説も詳細で、内容も理解しやすい。また、多くのジャンルの資料が掲載され、興味・関心を持ちやすい内容になっている。 ○ カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しており、文字も読みやすく適切である。 ○ グラフ、図表、地図などが、課題に応じて適切な大きさに配置されている。本文との関連も図られており、学習効果を高めるよう配置されている。 ○ 堅牢であり、カラーユニバーサルデザインを採用している。また、掲載されている資料では、色覚や特別支援教育に配慮し色遣いの工夫が取り入れられている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 番 号 の 略 称	8 1 山 川	教 科 記 号 の 番 号	歴 史 7 0 8	書 名	中 学 歴 史 日 本 と 世 界
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各テーマの冒頭に、そのテーマを理解するための発問を設け、本文を読む視点を示したり、学習に対する見通しを持たせたりするなどの工夫がされている。 ○ 「ステップアップ」では、さらなる課題追究に向けた発問が提示され、その後の歴史の影響等を考えさせる内容となっている。 ○ 「身近な地域を調べよう」では、歴史学習の導入として、学習の進め方を詳しく説明しており、また、イラストを適宜使うことで生徒が理解しやすい内容となっている。 ○ 多様な発問によって、歴史が変化する過程でおこる諸課題を意識する歴史的な見方・考え方が身に付くように工夫されている。 ○ 学習内容が習得できるように、各時代バランスよく資料が提示されており、出所や出典等も明確である 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の初めに日本史と世界史に関する写真を、上下に分けて時代順に示し、視覚的に流れをつかませるとともに、広い視野で歴史を学べるように工夫がされている。 ○ 基本的に一つのテーマを見開き2ページとし、授業時数135単位時間で、無理なく学べるテーマ構成になっている。 ○ 各章の「まとめ」では、歴史の流れや因果関係などに着目させたり、比較させたりする発問があり、各時代の流れ・特色を確認することができる工夫がされている。 ○ 「歴史へのアプローチ」では、グローバルな視点で見たテーマや、ポイントを絞ったテーマ等、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を養うように工夫されている。 ○ 「地域からのアプローチ」では、各地域の歴史について、各時代の歴史の展開や文化財保護の取組等を理解させることで、歴史を学ぶ現代的な意味を考えさせている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にとって意味の分かりにくい用語に関しては、同じページに詳しい解説が付いており、その都度、理解できるようになっている。 ○ 高等学校の教科書や図録に出てくるものは中学生が理解できるよう平易な内容とし、高等学校の「歴史総合」「歴史探究」等の学習につながるように配慮されている。 ○ 高等学校の教科書に出てくる史料を口語訳し、高等学校の教科書に出てくる史料を中学生で見慣れさせておく工夫がなされている。 ○ 「歴史を考えよう」では、生徒の興味・関心を高める資料を基に「思考力・判断力・表現力等」を高める問いを設け、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がされている。 ○ 博物館・資料館のホームページサイトや動画を見たり、音声を聞いたりすることができるようにQRコードを付けるなどの工夫がされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図版が大きくバランスよく配置されており、生徒に考えさせたいところに発問を提示し、どこに注目すべきかの示唆を与える工夫がされている。比較的詳細な記述である。 ○ 社会や経済の仕組み等、生徒にとって理解しにくかったり、イメージしにくかったりする学習内容を図式化して、視覚的につかませる工夫がされている。 ○ 各テーマの基本色を日本の歴史と世界の歴史で分け、学習内容が日本のことか世界のことかが分かるように工夫されている。フォントは比較的小さめだが読みやすい。 ○ 地図・グラフをはじめ資料は、多くの人に見やすいようカラーユニバーサルデザインに配慮して作成。色彩のみでなく、線種・記号などで差をつける工夫もしている。 ○ 環境に配慮した紙（再生紙）と植物油インキを使用している。製本は、針金を使用しないPUR製本。大きさはA Bワイド版で見やすい。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 番 号 の 略 称	1 1 6	教 科 記 書 号 の 番 号	歴 史 7 0 9	書 名	中学社会 歴史的分野
			日 文				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的事象に関する関心を高め、資料の読み取りや意見交換などで、多面的・多角的に課題を考えることができ、対話的な学びを促す活動の場面が設定されている。 ○ 資料で前後の時代を比較したり、年表と世界地図を使って、時間軸と空間軸から時代を捉えさせたりして、「思考力・判断力・表現力等」を高めるように配慮されている。 ○ 小学校での学習内容を踏まえて、地理的分野、公民的分野と関連させながら学べるように、発達の段階に応じて意欲的に学習できる内容が工夫されている。 ○ 生徒が興味・関心を持って主体的に取り組むことができる課題を設定し、学習に入りやすくなるように主体的な学びを促す課題設定が工夫されている。 ○ 学習課題の解決に向けて、各時代バランスよく資料が提示されており、出所や出典等も明確である。 						
2 組 織 と 関 配 す る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入単元の第1編、各時代の特色を学ぶ第2編から6編、未来を構想する学習、の順で構成され、歴史の大きな流れを理解し、未来を考えることができるようにしている。 ○ 歴史的分野の目標を踏まえて、学習課題を明確にし、導入からまとめまでの流れは各編で共通に構成されており、通史の理解を確かにするように配慮されている。 ○ 本文・図版では、平易な表現で生徒の読み取りを支援している。生徒の思考に沿って、基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進めるための配慮がされている。 ○ 標準授業時数135時間に対し、115時間の授業時数で学習が完結できるようにしてあり、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるようになっている。 ○ 時代ごとに史跡・文化財・人物を紹介しており、生徒が歴史を身近に感じながら地域の歴史を調べる手順を学び、問題解決を図る態度を育てるように配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題に対応した「確認」を設け、基礎的・基本的な知識の確実な定着や習得した知識を活用してまとめることができるように工夫がされている。 ○ 「チャレンジ歴史」では、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験し、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫されている。 ○ 歴史の学習の最後に「歴史との対話を未来に活かす」が設けられ、生徒一人一人が歴史的事象に興味・関心を持ち、知識だけでなく技能の習得にも配慮されている。 ○ 小学校社会科、地理的分野・公民的分野と相互に関連した教材が取り上げられており、教科書全体を通して関連のある教材を掲載されている。 ○ 資料等の読み取りにおいては視点が提示されており、生徒の資料活用能力を高めるような工夫がされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は十分な文字量を確保し、平易な表現で、歴史の流れや因果関係を丁寧に叙述している。また文章は平易で、抽象的・網羅的な記述を避けて、具体的に記述している。 ○ イラストや図版は鮮明で生徒の興味・関心を高める配慮がされている。また、大判ページで絵画資料を読み取る楽しさを実感できる教材の工夫がされている。 ○ 活字は比較的大きめで、重要語句にはすべて振り仮名を付け、書体もユニバーサルデザインフォントを採用し、小さな文字でも読みやすくする配慮がされている。 ○ 各単元で単元カラーを設定し、色違いを統一している。また、本文と図版を関連させて読み取れるよう、工夫されている。 ○ 堅牢なあじろ綴じを採用。大きく開き、かつ閉じにくい。再生紙は良質で軽く、印刷には植物油インキを用いている。サイズはA Bワイド版で見やすい。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 番 号 の 略 称	2 2 7	教 科 記 号 の 番 号	歴 史 7 3 5	書 名	最 新 新しい日本の歴史
			育鵬社				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的事象に対する関心を高められるような資料が豊富かつ詳しく、本文との対応も明確である。資料等を活用して多面的・多角的に課題を追究し、我が国の歴史の流れに対する理解を深め、国民としての自覚を育てるよう配慮されている。 ○ 思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的に問題解決を図る態度を育てるため、言語活動の充実を図ることができる特設ページ等が豊富に設定されている。 ○ 歴史上の人物等に焦点を当て、その苦労や努力について気付かせながら我が国の歴史に対する理解を深め、身近なこととして学習できるよう工夫されている。 ○ 内容が詳細であり、各時代に設定された学習課題を踏まえ、時代の特色を明らかにしながら我が国の歴史に対する理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 領土や歴史的事象に関する背景及び日本政府の立場については、コラムを設け詳しく記述されている。また、資料等の出典は本文中や巻末に明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年表等を適切に配置し、我が国の歴史について系統的に配列されている。我が国の歴史が大きな流れで捉えやすくなるよう配慮されている。 ○ 各章、各節のねらいと内容のまとまりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。 ○ 小单元ごとに学習課題が設定されており、学習内容を把握するとともに、課題意識を持って学習できるように構成されている。また、まとめを行う課題により、思考力・判断力・表現力を育むよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる内容や分量である。さらに、応用力の定着を促す「歴史のターニングポイント」等の特設ページが設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できる。 ○ 地域の歴史的な偉人や各地域の文化遺産が多く紹介されており、地域について興味・関心を高めるとともに、郷土を愛する態度を養うことができるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小单元ごとに学習課題が設定され、習得すべき基礎的・基本的な知識や考え方が把握しやすい。また、本文の最後には習得した知識を活用し主体的にまとめられるよう課題が示されている。 ○ 各種の図版等、豊富な資料をもとに本文に対する理解が深まるよう配慮されている。また、「歴史ズームイン」「人物クローズアップ」等のページを設け、問題解決的な学習を促す工夫がなされている。 ○ 「歴史ビュー」「なでしこ日本史」等、視点を変えたページを特設しており、思考力・判断力・表現力等の育成を図る発展的な学習にも対応できるよう配慮されている。 ○ 各時代を代表する日本や世界の文化遺産等が写真で紹介されており、生徒の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 ○ 各章の導入に、時代の大まかな流れを感じ取ることができる絵図や写真とその解説や着目点を親しみやすいキャラクターを用いて掲載し、次に学ぶ時代について主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 関 係 す る 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語句の説明や解説等が必要に応じて記載されている。必要に応じて振り仮名も付けられており見やすく、フォントの工夫もみられる。 ○ 特設ページが豊富で、生徒が興味・関心を持って、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 本文の活字の大きさ・字間・行間は適切で、重要語句・重要人物は本文・索引ともに太字のゴシック体で表記されている。また、振り仮名はゴシック体を用い、読みやすい工夫がなされている。 ○ ページ上部の絵や写真資料等が掲載されている部分については、本文と色分けすることで、本文が読みやすい体裁となっている。 ○ ワイド版で大きく見やすい体裁で、カラーバリアフリーへの配慮がされている。また再生紙や植物油インキを使用し、環境にも配慮されている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 番 号 の 略 称	2 2 9 学 び 舎	教 科 記 号 の 番 号	歴 史 7 1 1	書 名	ともに学ぶ人間の歴史 中学社会歴史的分野
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史の具体的な場面や人々の姿を通して、学習を深めるような構成になっている。 ○ 各単元の「まとめ」には身に付けた基礎的・基本的な知識を用いて、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を育成するための課題を設定するための工夫がされている。 ○ 世界の歴史を背景に歴史の大きな流れを理解させたり、前の時代と比較させたりすることを通して、時代の特色や時代が転換する姿を理解できるよう配慮されている。 ○ 各部・各章の終結段階には、知識・技能に関する確認問題があり、それを基に歴史事象の因果関係等を説明する課題を設けてあり発展的な内容となっている。 ○ 各テーマが「学習内容の構造化と焦点化」を意識して設定されており、歴史の具体的な場面や人々の姿を通して学習が深まるように配慮されている。 ○ 歴史上の人物の取扱いが少ない。(アレクサンドロス、出雲阿国、尾形光琳、勝海舟、北里柴三郎など) ○ 宮城県に関する記述がほとんど見られない。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史を大観できるように配列されているとともに、近代・現代の学習を重視した内容となっている。 ○ 各時代の特徴をつかみやすくするために、人物名に焦点を当てるのではなく、各章・各部において、伝統や文化を生み出した人々に焦点を当てる工夫がされている。 ○ 絵画資料、写真、文書等の資料から、生徒自身が課題を見つけ追究できるよう工夫されている。さらに、発展的な課題も配置されている。 ○ 基礎的・基本的な知識の定着を図る適切な内容である。また、各校の年間指導計画に広く適合するよう工夫されている。 ○ 地域の遺跡や文化財を随所で取り上げ、「地域の博物館で調べる」学習活動を設定して、身近な地域の学習が行えるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と資料を通し、生徒が問いや疑問を持って主体的に学習できるよう配慮されている。 ○ 生徒が自由な発想で課題や疑問を追究していけるように、歴史の具体的な場面や人々の姿に焦点を当てるように工夫されている。 ○ 小単元の内容をイメージしやすいタイトルが設定されており、生徒の興味・関心を引き出すとともに、基礎的・基本的な事項が定着しやすいよう工夫されている。 ○ 時代区分の欄に「北海道」「本州など」「沖縄など」の欄を設けることで、各地のできごとがより多くの生徒に分かりやすく捉えられるような配慮がされている。 ○ 多様な資料を取り上げることにより、より広い視野で多様な見方ができるように工夫されている。 ○ 索引ページが充実している。 ○ 体験学習やインターネットでの検索、博物館学習、インタビュー調査とまとめ、話し合い学習等の進め方が紹介されており、他教科の学習にも生かせる内容となっている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な文章で表現されており、生徒が自ら読み進めることができ、気付きや疑問が生じるような表現の工夫がされている。 ○ 各章のはじめのページでは世界地図の上に当時の世界の状況を写真で表示するなど、生徒の興味・関心を引き出すとともに、視覚的に捉えやすいよう工夫されている。 ○ 子供や女性等、歴史の裏側に隠れがちな人々の生活や業績に焦点を当てることで、興味・関心を引き出している。 ○ 針金を使用しない堅ろうな製本がよい。再生紙を使用し、植物インキで印刷するなど環境に配慮されている。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 番 号 の 略 称	2	教 科 記 書 号 の 番 号	公 民 9 0 1	書 名	新編 新しい社会 公民
			東 書				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本と世界の政治・経済・国際社会の現状と課題が分かりやすく記述され、現代社会で生じている様々な事象や課題について考えながら、公民としての基礎的教養を培うことができるよう工夫されている。 ○ 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるよう工夫されている。 ○ 学習の過程に公民的な見方・考え方を活用して考察させるコーナーを設け、学習を深められるよう工夫されている。 ○ 「持続可能な社会に向けて」を設けたり、中学生が社会参画している事例を取り上げたりすることで、持続可能な社会の形成に必要な一人一人の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるよう工夫されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民学習の基盤である「人権・憲法」を最初に学習し、「経済」については、政治や政策との関連から学習を深めることができるようにするなど、学習内容が系統的に配列されている。 ○ 単元全体を貫く、探究課題を立てる「導入の活動」、1単位時間ごとの学習課題を解決しながら進める「問いの追究」、探究課題を解決する「まとめの活動」の形で、問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくするよう工夫されている。 ○ 各章の扉には、小学校で学習した写真や用語を掲載して、マーク等で示し小学校の学習を振り返る場面が設けられている。小学校での4年間の社会科学学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学学習」を系統的に展開できるよう工夫されている。 ○ 公民学習の基礎的な知識・技能を系統的に学習させる「スキル・アップ」が設けられ学習に必要な技能を確実に定着できるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の学習を、学習に興味・関心をもたせる「導入部」、学習を進める「展開部」、学習をまとめる「集結部」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくするよう工夫されている。 ○ 分野関連マークを付すことで、地理・歴史の学習の成果を生かした公民学習が展開できるよう配慮されている。 ○ 他教科と関連のあるページには、「他教科関連マーク」が付され、二次元コードを読み取って、該当教科の教科書を参照することで、学習を多面的に深められるよう工夫されている。 ○ 各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易で具体的な表現を用い、分かりやすく記述されている。また、重要事項や難解な用語については、用語解説で補足説明を加えるなど配慮されている。 ○ 視覚的効果の高いA B版を用い、資料が豊富に掲載されている。 ○ 使用しているすべての文字に、ユニバーサルデザインフォントが使用されており、見やすくするよう配慮されている。 ○ 針金とじを用いて製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用に耐えうるものになっている。 ○ 用紙には、強度と発色性を兼ね備えた質の高い再生紙が使用されるとともに、植物油インキを印刷に用いるなど環境に配慮されている。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 番 号 の 略 称	1 7	教 科 記 書 号 の 番 号	公 民 9 0 2	書 名	中学社会 公民 ともに生きる
			教出				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題や内容が多く取り上げられているとともに、生徒の興味・関心を喚起する資料が豊富に盛り込まれるなど、学ぶ意欲が高まるように工夫されている。 ○ 「持続可能な開発目標の達成に向けて、今私たちに何ができるか」を柱の一つとして捉え、持続可能な未来社会を意識しながら、主体的に課題解決を図る態度を育てることができるよう工夫されている。 ○ 段階的な学習を通して学力の着実な向上が図られるよう工夫されている。 ○ 東日本大震災以降の社会を復興に向けて生きる人々の姿や、災害時の情報活用の現状と今後の展望、社会の安心・安全について考えながら終章につなげていくことができるよう工夫されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治と経済の領域をそれぞれ2つに分けるとともに、節の区分とタイトルから内容のまとまりをとらえやすいように構成されている。 ○ 社会の変化や今日的課題が反映された事象が盛り込まれ、そのような変化や課題に主体的に対応する資質・能力を育成するという視点から、問題解決的な学習が基調とされている。 ○ 章末に「学習のまとめと表現」が設けられ、基礎・基本の定着を図る問題と、思考ツールなど資料を活用して課題に取り組む表現力を培う課題が配列されている。 ○ 課題とその解決のための見方・考え方が明確で、一貫した編集となっており、他の分野や教科との横断的連携的なカリキュラムの立案がしやすい構成となっている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「関連コーナー」では、地理・歴史・公民の3分野で連携が図られており、生徒が公民へのつながりに気付くよう工夫されている。 ○ 「公民の技」のコーナーでは、個人やグループでの活動を通じて、公民の学習で身に付けたい技能や表現力を養うことができるよう配慮されている。 ○ 学習の流れに即して「読み解こう」や「Q」のコーナーが設けられ、地図・グラフ・絵・図解などの資料を読み取って考察する学習活動ができるよう工夫されている。 ○ 6つの表現活動で構成された「言葉で伝え合おう」の特設ページを中心に、グループによる学習活動がバランスよく設置されており、主体的・対話的で深い学びが実践できるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科学習に不可欠な写真・イラスト・地図・グラフ・図解などの資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的にとらえやすく配置されている。 ○ 文章は、平易な表記・表現が使われている。また、側注や巻末には用語解説が設置され読解に負担がかからないように配慮されている。 ○ 印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力が使用され、再生紙と植物油インキを使用するなど、環境への負荷が少なくなるよう配慮されている。 ○ 活字の大きさが見やすく、重要語句や固有名詞はゴシック体の太文字で強調され、学びやすい紙面になっている。 ○ AB版の教科書のため、写真が大きく生徒にとって見やすいものとなっている。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 番 号 の 略 称	4 6 帝 国	教 科 記 号 の 番 号	公 民 9 0 3	書 名	中学生の 公民 より良い社会をめざして
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の理解を促す資料を適宜設置するとともに、基礎的な技能が身に付く「技能をみがく」のコーナーを随所に盛り込むことで、公民としての資質・能力の基礎を育成できるよう配慮されている。 ○ 迫力のあるワイドな写真や学習内容を直感的に理解できるイラスト等の資料を導入で用いており、実社会に興味を持たせるよう工夫されている。 ○ 現代社会の見方や考え方について、「対立と合意」「効率と公正」の具体的な事例を展開することで、生徒の理解が深まるよう工夫されている。 ○ 「学習課題」で見通しを持たせ、「確認しよう」「説明しよう」で思考力・判断力・表現力が身に付くよう工夫されている。 ○ 中学校社会科の総まとめとして「持続可能な社会」を実現するという観点から、諸問題の解決方法を考察・構想し、論文として論述できるよう工夫されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会、政治、経済、国際の4つの部で構成され、系統的・発展的に進めることができるように工夫されている。 ○ 学習内容が定着するよう「導入、学習課題、本文、確認しよう、説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。 ○ 経済単元の基礎となる概念を最初に理解した上で、これからの日本経済や財政などの課題に向き合い、持続可能な社会の実現に積極的に参画する意識を養うことができるように配列されている。 ○ 1単位時間の学習が見開き2ページで構成されており、内容・分量ともに適切である。 						
3 学 習 と 関 指 す 導 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の前に」では、イラストから学習内容に関連した事項を探し出す作業を通じて、生徒の興味・関心を引き出し、主体的な学びを促すよう配慮されている。 ○ 「アクティブ公民」では、具体的な事例や意見交換を通して、現代社会の見方・考え方を働かせられるよう工夫されている。 ○ 具体例を交えた本文やそれを補足する図解などによって、基礎・基本が定着するよう工夫されている。 ○ 二次元コードで学習内容に関連する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、予習・復習がしやすいよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、具体的に例示したり、社会的事象の背景や因果関係が分かるようにしたりするなど、生徒にとって分かりやすいものとなるよう工夫されている。 ○ 本文や図版には、文字をはっきりと読み取ることができるようユニバーサルデザインフォントが使用され、誤読を防ぐよう工夫されている。 ○ 紙の軽量化が図られ、運搬の負担軽減に努められている。 ○ 紙面右側のインデックスには、章の学習が記載されており、一目で学習している単元が分かるように配慮されている。 ○ 古紙及び環境に優しいフレッシュパルプが用いられるとともに、ライスインキが使用されるなど、環境保全への配慮がなされている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 番 号 の 略 称	116	教 科 記 号 の 番 号	公 民 904	書 名	中学社会 公民的分野
			日 文				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他分野の学習と関連する資料の掲載が多く、地理・歴史、さらに小学校での学習との系統性・発展性が図られている。 ○ キャリア教育や地域社会への参画、防災・安全学習など、将来への意欲を喚起させるような主体的な学びのための課題の工夫がされている。 ○ 現代社会の特徴的な課題に気付かせるための資料等が具体的で、それを用いて生徒が考察し、公民的資質を身に付けるような工夫がみられる。 ○ 今日の課題である領土問題、防災教育等に関する内容は適切であり、出所・出典が明記されているので信頼性が高い。 ○ 「明日に向かって」では、身近な地域の抱える課題を考えたり、将来を想像する力を育んだり、生徒が社会と向き合える課題が設定されたりしている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページの最初に学習課題、最後に学習の確認と活用を明記することで、基礎的・基本的な事項の学習と活用が明確になっている。 ○ 「学習の始めに」で、各編の学習内容に見通しを持たせる工夫がある。学習のポイントを、親しみやすいイラストで示し、興味・関心を高められるよう工夫している。 ○ 「チャレンジ公民」で、習得した知識や見方・考え方を活用し、思考力・判断力・表現力を伸ばすよう工夫されている。 ○ 毎時間ごとに「学習課題」と「見方・考え方」「確認」が設けられており、授業の流れが構造化されているため、生徒の学習の流れを作りやすいように工夫されている。 ○ 章や編の終わりには「学習の整理と活用」の頁を設け、様々なツールやまとめ方について学ぶことができ、多面的・多角的に考えたり捉えたりするための学習方法を身に付けるための工夫が施されている。 						
3 学 習 と 関 指 す 導 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「情報スキルアップ」で基礎的・基本的な資料活用能力を身に付けさせ、「チャレンジ公民」で思考力・判断力・表現力を高めるように工夫されている。 ○ 「公民にズームイン」で、生徒の身近なテーマを取り上げ、学習内容を多角的・多面的に捉えさせる工夫が見られる。 ○ 「アクティビティ」や「深めよう」など、随所に設問や活動場面を設けており、生徒が共に学び合いながら主体的に学習に励むよう工夫されている。 ○ デジタルマークが設けられており、生徒が主体的に動画や資料にアクセスし、興味・関心と学習意欲を高めるための工夫がなされている。 ○ 「連携コーナー」で、生徒が地理と歴史の既習事項を振り返ることができる。また、地理・歴史の2分野の知識を公民の学習に関連付ける工夫もある。高校の「公共」へのつながりを設け、見通しを持たせている。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントで、本文が読みやすい。また地図やグラフなど図版にも、カラーユニバーサルデザインを使用しており、見やすいように配慮されている。 ○ 文章表現に配慮がみられ分かりやすく、学習に取り組みやすい。 ○ 漫画や写真資料にタイムリーなものを使用し、また生徒の興味や知的好奇心を考慮したものを工夫している。 ○ 本文と資料の配置、分量、バランスがよく、学習しやすい。 ○ 学習のねらいが分かりやすく、吹き出しを効果的に活用している。 ○ 開きやすく、閉じにくいので、活用しやすさがある。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 番 号 の 略 称	2 2 5	教 科 記 号 の 番 号	公 民 9 0 5	書 名	新しい公民教科書
			自由社				
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民主権を担う公民としての基礎的教養を養い、社会の諸問題に着目し、主体的に考え学ぼうとする態度が培われるよう、記述内容に配慮がなされている。 ○ 基礎的・基本的な事項の理解を図るよう、文章表現が工夫されている。 ○ 単元末には「もっと知りたい」のコーナーを設け、学習内容を深化させたい生徒への配慮がなされている。 ○ 終章ではレポート作成やディベートを通して、学習全体を振り返ることができるように配慮されている。これらの活動を通して中学生に将来の展望を持たせ、今後の持続可能な社会を形成していこうとする態度を培う工夫がされている。 ○ 領土をはじめとする現代社会の諸問題を具体的に取り上げ、複数の考え方を併記することで、生徒がさまざまな観点から課題にアプローチできるように工夫されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的な国家の誕生から、国民の権利、国民の平等、政治参加等と段階的な学習配列がなされ、基礎から発展、そして深化へと学習が出来るように工夫されている。 ○ 構成された見出しの下に問いかけが示されており、学習のねらいが分かりやすいように工夫されている。 ○ 各章では、基礎的・基本的な学習ができるように構成されている。 ○ 序章、終章と五つの章からなる構成は、各校の実態に応じて年間指導計画を作成することができるように配慮されている。 ○ 重要な事項を複数の単元で重ねて学習することで、生徒の理解を段階的に発展させられるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アクティブに深めよう」のコーナーでは、身近な内容をもとに、個の考えからグループ活動での対話を通して学び合い、考えを深められるように配慮されている。 ○ 章末の「学習のまとめと発展」では、自ら文章表現に取り組むように構成されており、生徒の思考力・判断力・表現力を高めるように配慮されている。 ○ 公民教育に関連した史実が確認できるように工夫されている。日本人の精神、科学、芸術などを取り上げ、横断的・総合的に学習できるように配慮されている。 ○ 挿絵や図表などの資料が適切に配置されており、また補足説明の文章が丁寧で分かりやすく、明瞭である。 ○ 各単元にポイントが明記されており、学習内容を振り返りやすくなっている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 難解な用語は枠外に補足説明を加え、生徒が学びやすいよう配慮されている。 ○ 単元の見出しや学習内容は、シンプルに一目で分かりやすく表現されている。また、章ごとに色分けされており、活用しやすいように配慮されている。 ○ 本文を中心に、必要な図表や補足説明の文章が適切に配置され、本文と関連付けて考えを深められるように配慮されている。 ○ 図版や写真等の資料が精選され、スペースに余裕があるため、生徒が自分で気付いたことなどを書き込めるように配慮されている。 ○ 製本は、体裁がよく堅牢である。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 番 号 の 略 称	2 2 7 育 鵬 社	教 科 記 号 の 番 号	公 民 9 0 6	書 名	[最新] 新しいみんなの公民
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「導入」部分に生徒にとって身近な題材が写真や図表とともに掲載されており、内容が自分の生活に密接に関わっていることを意識して学習できるよう工夫されている。 ○ 小学校の学習内容を各章の扉で、また地理・歴史の学習内容は該当する見開きの単元で紹介しており、小・中の系統性と3分野の関連性を高めるための配慮がなされている。 ○ 表紙裏にSDGsを特集するなど、現代社会について学ぶ上で必要な内容に重点を置く配慮がなされている。 ○ 国際情勢や安全保障問題等、国際政治を踏まえ、社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう、内容が工夫されている。 ○ 我が国の領土問題や北朝鮮による日本人拉致問題について、日本政府の見解を紹介し、事実を明確に記述している。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の導入に、学習の「入り口」を設け、章全体の学習内容の趣旨を捉えさせ、学習への興味・関心を促す工夫をしている。 ○ 章末に「これから」を設け、「公民」としての学びに向かう力や人間性を養う工夫が施されている。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」の紙面構成で、問題解決型学習の流れが明確になっている。 ○ 「鉛筆マーク」や「やってみよう」では、言語活動が活発に行われるようなテーマが表示されている。さらに「やってみよう」では具体的な事例や写真等が盛り込まれ、資料をもとに興味を持って話し合い活動ができるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 関 指 す 導 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を深めよう」「やってみよう」「TRY」など、豊富な言語活動を目指す学習課題が工夫されている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をサポートしている。 ○ 「スキルアップ」が設けられ、発表や議論の仕方、資料活用の技能を広く身に付けられるよう工夫している。 ○ 「学習のまとめ」では、語句の確認を行うと共に、学習内容について自分でまとめさせることで、思考力・判断力・表現力の向上を目指すよう工夫されている。 ○ 新聞記事を多数掲載しており、メディアリテラシーを養えるよう工夫されている。 ○ 内表紙に現代社会の事象を示す写真が多く掲載されている。解説では、問題を提起し、生徒自身に考えさせる内容になっている。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや写真、図表がすべてカラーで大きく見やすい。図表には通し番号が付けられているため、授業で指示しやすく、生徒の自主学習でも活用できるように工夫されている。 ○ 固有名詞や誤りやすい語句には振り仮名が振られている。固有名詞や重要語句は太文字のゴシック体で表されており、見やすく工夫されている。 ○ 図版や写真等の資料には、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるように、理解を深めるための解説が付いており、資料活用のための工夫がなされている。 ○ 環境への負荷が少ない再生紙と植物油インキが使用されている。また、光沢を控えた優しい印刷が用いられている。 						

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 中学校 地図

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	46	帝国書院	中学校社会科地図	地図がとて大きく紙面の上を北に広範囲に表現されており、地域的特色を大観し概略をつかみやすいように工夫されている。地図活用の問いが1.00近く掲載されている点も大きな魅力の一つです。
第2位	2	東京書籍	新しい社会 地図	縦向きの地図を効果的に活用し、地球儀の代わりとして使用できる工夫、「ジャンプ」して関連の高い別の資料を明示し、思考や考察を深められるような工夫が魅力的であった。

種 目	地 図	発 行 番 号 の 略 称	2	教 科 書 号 の 番 号	地 図 7 0 1	書 名	新 し い 社 会 地 図
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の特集ページでSDGsを通して、現代的な諸課題を捉えている。 ○ 教科書との連携を強化しており、地理・歴史・公民どの分野でも活用できるように学びのサポートが工夫されている。 ○ 地図帳の活用方法が詳しく示されており、発達段階に応じた様々な調査学習に対応できる内容となっている。 ○ 基本資料とテーマ資料とに明示されており、各地域ごと発展的な学習として取り組むことができる。 ○ それぞれの地域的特色を調べるために必要な資料がバランスよく配列されている。 ○ 「ジャンプ」の項目では、関連の高い別の資料を明示し、思考や考察を深められるように配慮されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の教科書の構成に沿って、世界、日本の順で地図、各種資料、統計資料が配置されている。 ○ 教科書の内容と連携して資料が掲載されており、社会科で習得すべき事項の定着が図られるように配慮されている。また、教科書の資料を補完する資料が掲載され、発展的な学習への配慮がなされている。 ○ 各地域、テーマごとにバランスよく各種資料が掲載され、内容も適切である。 ○ 日本の各地域ごとに生活に密着したテーマ資料が掲載されており、発展的な学習にも使用しやすい。 						
3 学 習 と 関 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州や日本の各地方は、一般図、基本資料、テーマ資料で構成しており、豊富な巻末資料も充実しており、生徒の課題解決的な学習に活用できる。 ○ 標高と地形区分による段彩を組み合わせて、地形の特色を読み取りやすくしている。 ○ 学習の各段階で必要となる資料が明確に示されており、教科書での知識、技能の習得それを活用した思考力、判断力、表現力の育成を促す工夫がされている。 ○ 写真資料が豊富に掲載されており、基礎的、基本的用語がより具体的にイメージできるように配慮されており、生徒の学習意欲の喚起に結びつくように工夫されている。 ○ 地形的特色を示す鳥瞰図、民族や文化の多様性が一目で分かるよう意図した写真、農業形態を略化した挿絵等、地理的事象を視覚的に理解できるよう工夫されている。 ○ ICT機器を活用して利用できる資料にはDマークコンテンツが付けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 縦向きの地図を効果的に使用し、地球儀の代わりに使用できるようにしてある。 ○ 糸かかりとじで製本し、堅牢で長期間の使用に耐えうるものとなっている。 ○ 生徒にとって見やすいユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 地名の漢字にすべてふり仮名が付いており、生徒の発達段階に応じて、難解な字も正しく読めるように配慮されている。 ○ 生徒の関心の高い身近なテーマの資料を多く掲載し、生徒の発達段階に応じた興味・関心を高めるように工夫されている。 ○ 内容や目的に応じて適切な色彩や文字、字体で表現され、国名や都道府県名の赤文字を白く縁取るなど、カラーバリアフリーに配慮されている。 						

種 目	地図	発 行 番 号 の 略 称	4 6 帝 国	教 科 記 書 号 の 番 号	地 図 7 0 2	書 名	中 学 校 社 会 地 図
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各州ごとにイラストが入った鳥瞰図が使用されており、地域の特色が視覚的に捉えられている。 ○ 100近い「地図活用」の問いが設置されている。地図の読取等の技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。 ○ 生徒自らが世界や日本の諸課題について考え、検討したり話し合ったりして取り組める課題や作業が提示されている。 ○ 3分野の横断的な学習内容の充実を図るために必要な基礎的・基本的な資料、情報が地図上に掲載され、今日的な課題にも対応できるように工夫されている。 ○ どのページにも地域の生活の特色を表すイラストや写真があり、生徒にとって馴染みやすい。 ○ 必要な基礎・基本の知識が身に付くように、生徒に分かりやすい資料を網羅しながらも最新の動向を捉え、学習意欲を揺さぶるような高度な内容の資料も掲載するなど、発展的な学習を促すような配慮がされている。 ○ カラフルな色使いの地図や立体的な図法などで、視覚的に捉えやすい資料が多く、巻末や日本列島のページで日本領土問題や、災害や防災教育など今日的な課題を読み取り解決する学習に役立つような内容が多く記されている。 ○ 日本で起こりうるさまざまな自然災害と防災への取組、震災後の復旧や復興を見据えた視点を取り上げている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州の特色を具体的に読み取れるように、原則として「一般図」→「鳥瞰図」→「資料図」という配列で構成されており、生徒が課題解決的な学習に取り組む際にも学習しやすい配列になっている。 ○ 基本的に地理の学習指導要領の配列に沿って配置されており、世界は州ごと、日本は地方ごとに構成されている。 ○ 資料図が同縮尺にまとめられており、知識や技能を習得し、それを活用しながら課題を解決する学習課程への工夫がなされている。 ○ 今日的な課題への対応に関する意識を高められるように、防災・領土・SDGsの観点に基づいた資料が多くあり、様々な実態に広く適応するように配慮されている。 ○ 選定された資料に国や地域の偏りがなく、公平かつ公正に配慮されている。 ○ 自然環境、人口、産業、交通の4つの中核となる事象の資料図が同縮尺で示されていることで、分布の特徴や事象間の因果関係を比較関連付けながら考察できる。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳の基本的な見方・使い方が解説された「地図帳の使い方」、地形図の見方が身につけられるコーナーが設定されており、主体的な学習態度の育成に配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な資料（気候・言語・産業・宗教・日本との結びつきなど）がきちんと明記されている。 ○ 100近い「地図活用」の問いが設置されている。地図の読取等の技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。 ○ 二次元コードが随所に散りばめられており、生徒が主体的に学び、資料活用能力を高められるように工夫されている。 ○ 巻末の統計資料が充実し、生徒のグラフ作成能力や図表でまとめるレポート力などの技術を身に付けるスキル学習に役立つ内容になっている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地名の漢字にすべてふりがなが付いており、生徒の発達段階に応じて、難解な字も正しく読めるように配慮されている。 ○ 等高段彩表現と土地利用表現を併用することで、地域の生活や産業の特色がつかみやすくなっている。 ○ 環境や再生可能エネルギーに関する記号が充実している。 ○ 丈夫な製本で、軽くて丈夫な用紙になり軽くなり、扱いやすくなった。 ○ 地図を大型化することで紙面の真上が北になり広範囲に表現され、地域的特色を大観し概略をつかみやすいように工夫されている。 ○ 見開きのページや、幅広の判型を生かし、インパクトがあり一目で全体像が分かるような図取りとなるような掲載の大きさが配慮されている。 ○ 読みやすいユニバーサルデザインフォントが使用され、5色刷りで鮮明に印刷され、地域的特色を大観し、概略をつかみやすいように工夫されている。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会
専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 数 学

昨日から2日間にわたり、3名の委員で中学校数学科の教科用図書の調査研究を行いました。
これから、調査概要を報告いたします。

中学校 数学科

合計7社の教科用図書を調査いたしました。

各社とも、新学習指導要領の具現を目指し、各章で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、
数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して育成されるような工夫や、基礎的・基本的な学力
を身に付けさせる工夫、「主体的・対話的で深い学び」が実現するような問題解決の過程を示す等の工
夫がされていました。

また、生徒の多様な個性や能力に対応できるよう補充問題や発展問題、巻末等の問題、デジタルコン
テンツの利用等の工夫がされていました。

さらに、ユニバーサルデザインフォントの使用や、色覚特性やデザイン等のユニバーサルデザインへ
の配慮など、様々な生徒への配慮がされていました。

以上のことから3社の教科用図書を選定しました。選定順位といたしましては

第1位 東京書籍 生徒が見通しを持って学習に取り組み、振り返ることで知識・技能の定着を図
ることができるよう配慮されている。基礎的・基本的な内容の定着や発展的な内
容の問題等、生徒の個人差に応じて幅広く対応できるように工夫されている。

第2位 学校図書 既習事項の振り返りや、理解度の確認を生徒自らが行えるよう効果的に配置さ
れており、生徒の学習意欲を高められるように工夫されている。また、生徒の実
態に応じて扱える問題を配置するなど、発展的に学習を進められるように配慮さ
れている。

第3位 啓林館 表現活動の場面が設定されており、対話的な学習を通して思考力・判断力・表
現力等が育成できるように工夫されている。また、「自分から学ぼう編」は、興
味・関心に応じて取り組める問題や発展的な問題が取り上げられ、自ら学ぶこと
の楽しさを実感できるように工夫されている。

といたします。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 数学

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	2	東京書籍	新しい数学1 新しい数学2 新しい数学3	生徒が見通しを持って学習に取り組み、振り返ることで知識・技能の定着を図ることができるよう配慮されている。基礎的・基本的な内容の定着や発展的な内容の問題等、生徒の個人差に応じて幅広く対応できるように工夫されている。
第2位	11	学校図書	中学校数学1 中学校数学2 中学校数学3	既習事項の振り返りや、理解度の確認を生徒自らが行えるよう効果的に配置されており、生徒の学習意欲を高められるように工夫されている。また、生徒の実態に応じて扱える問題を配置するなど、発展的に学習を進められるように配慮されている。
第3位	61	啓林館	未来へ広がる数学1 未来へ広がる数学2 未来へ広がる数学3	表現活動の場面が設定されており、対話的な学習を通して思考力・判断力・表現力等が育成できるように工夫されている。また、「自分から学ぼう編」は、興味・関心に応じて取り組める問題や発展的な問題が取り上げられ、自ら学ぶことの楽しさを実感できるように工夫されている。

種 目	数 学	発 行 番 号 の 略 称	2	教 科 記 書 号 の 番 号	数 学 7 0 1 8 0 1 9 0 1	書 名	新 しい 数 学 1 新 しい 数 学 2 新 しい 数 学 3
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章で育成を目指す資質・能力を「章のとびら」で明確にし、それらが見方・考え方を働かせながら数学的活動を通して育成されるように内容が工夫されている。 ○ 「虫めがねマークの囲み」で、問題発見・解決の過程で、生徒が数学的な見方・考え方を働かせたり、振り返りを意識したりできるように配慮されている。 ○ 1学年では算数と数学をつなぐ「0章算数から数学へ」を設定し、小・中学校の円滑な接続が図れるように工夫されている。 ○ 章毎の学習内容が精選されており、側注には「ちょっと確認」での既習事項の振り返りや「もっと練習」での発展的な内容も掲載され、学習内容の充実が図られている。 ○ 生徒の実生活に密接に関連した教材や現代的な課題も偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典が明らかである。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次で関連する既習事項が示されており、各章では日常生活での数学的な問題から始まり、例題や問を通して内容を理解できるように配列されている。巻末では、既習事項を系統的に振り返って確認できる「学びのつながり」も掲載されている。 ○ 1単位時間のねらいが明示されており、各節においては、具体的な例を問題にすることで、学習の見通しが持ちやすく、内容にまとまりが見られる。 ○ 例題の理解を確認する「◆マーク」や巻末の「補充の問題」で基礎的・基本的な内容の定着を、「章の問題B」の「活用の問題」で発展的な学習を進めるための配慮がされている。 ○ 練習問題は適度な分量であり、習熟度に合わせて巻末では活用の問題や発展の問題を多く配置されており、各学校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 各章に身近な題材や課題を設け、疑問が次の学びへとつながるような構成となっており、巻末には社会とのつながり等も示されているなど、生徒の実態に適合できるように配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「大切にしたい数学の学び方」を示して、問題解決の進め方や発表の仕方や解き方、深める視点などが分かるように配慮されている。 ○ 章末にある「深い学びのページ」では、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を設定している。 ○ 巻末に「補充の問題」、「数学の自由研究」が用意され、生徒の多様な個性や能力に対応して、補充的、発展的な学習が行えるように配慮されている。 ○ 他教科に関連する題材は「教科関連マーク」を付け、生徒の学びが他教科にも広がるように配慮されている。 ○ Dマークコンテンツでは、各学年巻頭のQRコードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツが用意されており、視覚的な理解への配慮がされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体を通して、生徒の発達段階を考慮した記述になっており、理解しやすくなるように配慮されている。 ○ 生徒の活動を促す場面では、具体物の写真を多く使い、数学と日常生活を結び付けて捉え、生徒が数学に対して親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文章を読みやすい位置で改行し、行間を広くするなど配慮がされている。色彩も優しい色づかいで、色数も絞って効果的に使用されている。 ○ 紙面の右側を余白とする形式をとっており、マーク類や側注を精選することで、見やすく、学びやすい紙面に工夫されている。 ○ 章毎にインデックスがカラー印刷されている。用紙は軽量の再生紙を使用し、インクは環境やアレルギーに配慮した植物油インキを使用している。 						

種 目	数 学	発 行 番 号 の 略 称	4	教 科 記 号 の 番 号	数学702 802 902	書 名	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3
			大日本				
1	内 容 に 関 連 す る こ と						
2	組 織 と 関 連 す る こ と						
3	学 習 と 関 連 す る こ と						
4	表 現 と 関 連 す る こ と						

○ 数学的活動について、「教科書の使い方」で詳しく説明されており、数学的な見方・考え方を働かせることができるような具体例もあり、数学科の目標達成のための内容の工夫がされている。

○ 巻頭では算数と数学の違いや、数学を学ぶ意義について触れることができる。また、「数学の世界へようこそ」では、数学の学習の仕方について丁寧に説明されている。

○ 章末の「社会にリンク」では、実生活で活躍する人物が紹介されており、数学を学ぶことの有用性に触れることができるように工夫されている。

○ 基礎的な内容がよく精選されている。また、章末に「活用・探求」「学びにプラス」が設けられており、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されている。

○ 生徒の生活に関連した教材や、現代的諸問題への対応に関する話題が偏りなく取り上げられており、資料の出所、出展が明らかである。

○ 目次に「これまでに学んだこと」として既習内容と学習のつながりが明記され、系統性をはっきり捉えることができ、学習の効果が上がるように配慮されている。

○ 1単位時間毎の授業の流れを考慮し、導入、めあて、学習活動が見開き2ページで完結するように構成されており、内容にまとまりがある。

○ 基礎的・基本的な内容の着実な定着を図る問題が載せられている。また、側注には既習事項を振り返る「思い出そう」や、章末には発展的な内容の問題も設定されている。

○ 基礎・補充・発展的な内容がバランスよく掲載されている。各領域の配置がまとまっており、各学校の年間指導計画にも広く対応できるように工夫されている。

○ 身近な題材・課題が各章の導入や章末にあり、巻末には生徒が疑問に思ったことを選択して取り組める「課題学習」が設定されており、地域の実態や生徒の生活に広く適合できるように配慮されている。

○ 1単位時間の授業が、「例題、たしかめ、問」の流れで構成されており、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図れるように配慮されている。章末には思考力・判断力・表現力等を育成できるような「活用・探求」の問題が設定されている。

○ 各章の「導入の活動」では、考えを比べたり、話し合ったりする場面が掲載されており、主体的・対話的で深い学びを実践できるように工夫されている。

○ 巻末の「補充問題」、側注の「プラス・ワン」、巻末の「課題学習」など、生徒の習熟度に応じて問題に取り組めるように配慮されている。

○ 巻末の「MATHFUL」では、数学と身の回りの事象との関連を扱い、理科や外国語、保健体育などの他教科の内容との関連もわかるように配慮されている。

○ 「ノートづくり」や「研究をしよう」、「レポートを書こう」等、学習の手引きが豊富である。また、ウェブページが適切に配置されている。

○ 第1学年の教科書の文字の大きさが、第2・3学年と異なっているなど、表記・表現が発達の段階に応じて配慮されている。

○ 写真やイラスト、生徒のキャラクターの対話等から章の導入が始まっており、生徒が親しみを持てるような工夫がなされている。

○ 本文にはユニバーサルデザインフォントが使用されており、文字の読みやすさに配慮されている。また、色覚の多様性にも配慮されている。

○ 図表や写真が鮮明で大きく掲載されている。特に各章の導入のページは、その章に関連のある写真やイラストでバランスよく配置されている。

○ 表紙には抗菌加工や汚れにくいコーティングが施されており、またアレルギーのある生徒への配慮として、印刷には植物油インキを使用している。

種 目	数 学	発 行 番 号 の 略 称	1 1	教 科 記 書 号 の 番 号	数 学 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	中 学 校 数 学 1 中 学 校 数 学 2 中 学 校 数 学 3
			学 図				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章に数学的活動に重点を置いて学習ができるページが設定されており、数学的活動を通して見方・考え方を働かせながら学習を進められるように工夫されている。 ○ 既習事項を示したり、適用問題を配置したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能が着実に習得できるような学習内容となっている。 ○ 生徒が章を通してできるようになったことを確認し、さらに学びたいことを考える「章を学んで」というページを設定し、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 章末に、生徒の理解度に合わせた基礎・応用・活用の3つに分類された問題があり、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 身近な題材や生徒の興味・関心を高める学習内容が偏りなく掲載されており、数学的な概念をイメージするのに適した資料が豊富で、その出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各領域に入る前の「ふりかえり」のページで、小学校や前学年での既習事項を確認してから新しい学習に入れるように構成されており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 小節の導入に目標が示されており、その内容も明確でまとまりがあるため、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 節ごとに「確かめよう」「計算力を高めよう」といった基礎的・基本的な内容の定着を図るページが設定されており、章末には「深めよう」などの発展的な学習も進められるような配慮もなされている。 ○ 生徒全員が必ず学習する内容と、生徒の興味・関心や習熟度に応じて学習する内容との配分が工夫されており、学校の年間指導計画に適合できる内容となっている。 ○ 生徒の身近な題材や興味を持つ題材、各地域の写真を数多く掲載するなど、どの生活地域の生徒にも対応できる内容になっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末には基礎的・基本的な知識・技能の習得のための問題が十分に確保されている。また、ページ内の「見方・考え方」では、問題解決への方向性が示されており、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成できるように配慮されている。 ○ 各章にある「数学的活動」のページでは、生徒が自ら考え、主体的・対話的で深い学びを実践できるように、左側に帯を付けて学習過程を明確にする工夫がなされている。 ○ 基礎・基本となる問題がすぐに分かる復習問題や、誤りを指摘して正す問題など、生徒の多様な個性や能力に対応している。 ○ 章末の「役立つ数学」のページに、関連する職業へのつながりや偉人についての紹介があり、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 効果的な挿絵や図表、写真等が適切な場面で掲載されている。QRコードも配置されており、学習に関する情報が収集できるように工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地名や人名、中学校で初めて学習する漢字、新出の用語にはふり仮名が付いている。本文や説明文は、生徒の発達の段階を考慮した言葉遣いや表現になっている。 ○ 挿絵や図、写真類は、生徒にとって親しみやすいものであり、キャラクターの吹き出しから授業が展開しやすくなるように配慮されている。 ○ 色覚特性やデザインに配慮した、ユニバーサルデザインを取り入れている。印刷も鮮明で、色彩や形に配慮した区別しやすいマークを使用している。 ○ 視覚的に理解しやすい情報量で、図表等が配置されている。生徒が教科書に書き込みがしやすいように、図は外側に配置するなどのレイアウトも工夫されている。 ○ 長期間の使用に耐えられる使用になっており、環境に配慮した用紙や植物油インキを使用しており、健康やアレルギーに配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 番 号 の 略 称	1 7	教 科 記 号 の 番 号	数 学 7 0 4 8 0 4 9 0 4	書 名	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3
			教 出				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「数学的な考え方」では、学習を進める上で大切にしたい数学的な見方・考え方を既習事項を使って紹介し、数学的な見方・考え方を課題解決に主体的に活用するための工夫がされている。 ○ 章末や巻末の「学んだことを活用しよう」では身の回りの事象を取り上げ、数学を学習したことよさを実感できるとともに、活用する力が高まるよう工夫がされている。 ○ 導入の「章のとびら」では社会と数学の関わりを紹介し、また、「Let's Try」では身近な題材や操作的活動を取り入れるなど、生徒の学びに向かう姿勢を高める工夫がされている。 ○ 巻末の「補充問題」では、基礎的な問題と発展的な問題（「実力アップ問題」）が設定されており、学習内容の充実と個に応じた学習内容の発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 章の冒頭の「○○を学習する前に」では、章の学習に関連する既習事項を確認し、本文の学習をスムーズに進んでいくことができるよう配慮されている。 ○ 資料や図は学習内容に適したものが精選されて使用されており、出所、出典も明らかである。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章ごとに「既習事項の確認」「基本の問題」「学習のまとめ」「章の問題」「学んだことを活用しよう」と配列されており、学習効果が上がるよう配慮されている。 ○ 小節ごとに具体的な学習内容や目標を明示し、生徒が見通しを持って学習できるように配慮されている。章の問題には評価の観点を示されており、自己評価できるように工夫がされている。 ○ 「例題」「たしかめ」「問」と段階的に配列することで、基礎的・基本的な内容の定着を図る構成となっている。 ○ 基礎的・基本的な内容や発展的な内容の他に、自分で取り組む問題や補充的な問題も充実しており、各学校の年間指導計画にも広く対応できるように配慮されている。 ○ 身近な課題や教材を数多く取り上げ、生徒の学習意欲を高めるとともに、生徒の生活の実態に対応できるように配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 素朴な疑問や重要な問いを「？」で示し、生徒が主体的に解決していくように配慮されている。また、学習した知識・技能にはどのようなよさがあるのか「！」で示し、知識・技能の使い方を身に付けることができるよう工夫がされている。 ○ 身近な課題や多様な考えが予想される問題では言語活動を設定し、問題解決の過程を細かく示すなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践ができるよう工夫がされている。 ○ 「補充問題」や「実力アップ問題」「数学の広場」等、生徒が主体的に学習できるページが充実しており、生徒の能力や興味・関心に対応できるよう配慮がされている。 ○ 「数学の広場」では、日常生活や社会に関する課題を取り上げ、他教科とのかかわりにも配慮することで、数学の世界を広げたり深めたりできるよう配慮がされている。 ○ デジタルコンテンツ「まなびリンク」では、動的な表現や3Dによる立体表現等を通して深い学習理解を促すことができる。QRコードからのアクセスも可能である。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文節のまとめりなどの読みやすい位置で改行したり、文章表現を簡潔にしたりすることで、理解しやすいように工夫されている。 ○ キャラクターを用いてポイントを見やすくしたり、身近な写真や挿し絵を用いて実生活と結び付けやすくしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを取り入れることで、色覚の個人差を問わず生徒が把握しやすいように統一されている。 ○ 資料や図表が効果的に色分けされ見やすく配置されている。さらに、中心的な内容と補足的な内容が区別されており、ポイントとなる部分の配色を変えるなど工夫されている。 ○ 印刷には再生紙と植物油インキを使用するなど、地球環境への影響が出ないように配慮されている。また、本文用紙は軽量化を図り、生徒への負担を軽減している。 						

種 目	数 学	発 行 番 号 の 略 称	6 1	教 科 記 書 号 の 番 号	数 学 7 0 5 8 0 5 9 0 5	書 名	未 来 へ ひ ろ が る 数 学 1 未 来 へ ひ ろ が る 数 学 2 未 来 へ ひ ろ が る 数 学 3
			啓林館				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で働かせた数学的な見方・考え方を振り返って確認できるよう「虫眼鏡」が設定されている。「虫眼鏡」は随所に配置されており、繰り返し確認することで自然に数学的な見方・考え方が意識できるよう配慮されている。 ○ 節の導入には「学習のとびら」が設定されている。身の回りの題材を扱うことで数学の有用性やよさを実感させ、主体的に学習に向かうことができるよう工夫されている。 ○ 各章に設定されている「数学ライブラリー」では、章で学習した内容に関連した身近な話題を紹介しており、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 問題解決の過程を身に付けるために、「利用」が随所に設定されている。主体的に問題を発見したり、解いた問題を更に発展させたりする力を育成するように配慮されている。 ○ 身の回りの事象を取り上げたり、具体物の写真やイラストを効果的に配置したり工夫がされており、資料や図の出所、出典も明らかである。 						
2 組 織 と 配 列 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を基に新しい学習内容へと発展させる「ひろげよう」や、既習事項と新しい学習内容を比較しながら考えられる「ふりかえり」等、学習内容の系統性に配慮されている。 ○ 数学的活動を取り入れた課題が充実しており、段階的に課題解決の過程が身に付くような配慮がされている。また、「説明しよう」「まとめよう」等、理解を深められるように工夫されている。 ○ 「みんなで学ぼう編」「自分から学ぼう編」の2部構成となっており、学校での学習と家庭等授業外での学習の両方を生徒の興味・関心に配慮しながら深められるように工夫されている。 ○ 「みんなで学ぼう編」では、基礎・基本の学習内容を確実に身に付けられるような問題が配置され、「自分から学ぼう編」では、生徒の個性や能力に応じて基礎・基本の力を活用したり深化発展したりできるような問題が配置されている。 ○ 各領域の内容が、各学年ともゆとりをもたせながら系統的・発展的に組織・配列されており、各学校の年間指導計画にも広く対応できる構成となっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」等、言語活動の場面が随所に設定されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践ができるよう配慮されている。 ○ 章末問題の「学びを身に付けよう」や「力をつけよう」では多面的に考えて解決する問題を取り上げ、思考力・判断力・表現力等が育成できるよう工夫されている。 ○ 「自分から学ぼう編」の「学びのあしあと」では、学びの記録を残すことができるように配慮されており、更にどのような数学的な見方・考え方を働かせたのか意識できるよう工夫されている。 ○ 「学びをいかそう」では、社会や他教科とのかかわり、プログラミング的思考の育成も意識した題材を取り上げ、数学の授業で育成した力を実社会で生かしていくことができるよう配慮されている。 ○ QRコードが掲載されており、教科書の内容に関するコンテンツを利用することができるように学習の助けになる教材を参照することができるように工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章表現が簡潔明瞭で、意味や文節で改行するなど内容が把握しやすいように配慮されている。 ○ 「みんなで学ぼう編」は、表の表紙から始まる横開き、「自分から学ぼう編」は、裏の表紙から始まる縦開きと工夫されている。「自分から学ぼう編」は、見開きで1つの学習内容が終了できるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントとカラーユニバーサルデザインを取り入れている。色だけで情報を判別するのではなく、文字情報や模様をつけるなどの工夫をしている。 ○ キャラクターのコメントや図表、写真等は、生徒の興味・関心を高めるとともに、生徒が課題を自力解決するためのヒントとして有効であり、適切に配置されている。 ○ 書き込み等の作業がしやすいように製本されており、体裁がよく、強度も確保されている。再生紙と植物油インキを使用しており、環境やアレルギーにも配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 番 号 の 略 称	1 0 4 数 研	教 科 記 号 の 番 号	数 学 7 0 6 7 0 7 8 0 6 8 0 7 9 0 6 9 0 7	書 名	これからの数学1 これからの数学1探求ノート これからの数学2 これからの数学2探求ノート これからの数学3 これからの数学3探求ノート
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師と生徒や生徒同士の対話が随所に設定されている。対話場面を通して問題解決のプロセスに焦点をあて、数学的な見方・考え方が働くよう工夫がされている。 ○ 各章の学習の前に既習事項の確認をしたり、各ページに関連した内容の部分に目印を配置したりする「ふりかえり」が設定されており、学習内容を統合的に捉えて学習を進めていけるよう配慮されている。 ○ 各章の導入では、「ふりかえり」で既習事項を確認するとともに、身近な題材を取り上げることで学習への抵抗感を抑えたり、学習意欲を高めたりできるよう工夫がされている。 ○ 巻末に各学年で学習した内容と関連した身近な話題を取り上げた「数学旅行」が設定され、数学のよさや有用性を感じることができている内容になっている。 ○ 全国の話題や福祉や地球環境などについて地域の偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典も明らかである。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入から活用まで「Q」や「TRY」を中心として学習動機が得られるように工夫されている。また、通常の「問」は基礎的・基本的な問題から思考力・判断力・表現力を必要とする問題まで適切に配置されている。 ○ 本冊と別冊の2部構成になっており、適切なタイミングで取り組むことで学習効果を上げるように配慮されている。 ○ 各項目ごとに具体的な目標や学習内容が記載されており、生徒が見通しを持って学習を進められるように配慮されている。 ○ 別冊の活用等、生徒の理解度に応じて選択できる要素が充実しており、各学校の年間指導計画にも広く対応できる構成となっている。 ○ 生徒の学習意欲を高めるため、導入で身近な題材を取り上げ、巻末「数学旅行」で数学と社会との関連について考察できるよう工夫して配列されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 随所に設定されている「見つけよう」「やってみよう」では、数学的活動を通して思考力・判断力・表現力を育成できるよう工夫されている。 ○ 生徒キャラクターの対話中に、誤答や新たな疑問を示すことで生徒に気づきを与え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践ができるよう配慮されている。 ○ 「問」「確認問題」「章の問題」「チャレンジ編」に加え、デジタルコンテンツでの補充問題など、量と質が充実しており、基礎・基本の定着を図ることができるよう配慮されている。 ○ 既習事項を振り返る機会が随所に設定されているとともに、先の学年の内容や高度な内容にも触れられており、生徒の能力や興味・関心に対応できるよう配慮されている。 ○ QRコードからデジタルコンテンツを使用することができ、動画やアニメーション、補充問題等、学習内容を定着させるための工夫がされている。また、Linkアイコンで全国学力・学習状況調査の問題につながることができ、効果的に学習を進められるように配慮されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年用については、小学校と同じ文末表現にして算数から数学に変わった抵抗感を抑えるよう配慮されている。 ○ キャラクターのコメントや学習のまとめ、重要事項等が色分けされて提示されており生徒が内容を把握しやすいよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインを採用しており、鮮明で見やすく、識別しやすい色使いになるように配慮されている。 ○ グラフや図をかく問題では、書き込みしやすくなるよう配置の工夫がされている。また、資料や図、写真等は生徒の興味・関心を高めるよう配慮して配置している。 ○ 重量を抑えるため本冊と別冊に分けられており、本冊、別冊とも堅ろうなつくりになるよう製本されている。また、軽くて丈夫な再生紙と植物油インキを利用しており、環境に配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 番 号 の 略 称	116 日 文	教 科 記 書 号 の 番 号	数 学 708 808 908	書 名	中学数学1 中学数学2 中学数学3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びを実現する数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通じた学習活動となるように工夫されている。 ○ 課題設定の工夫により生徒の学習意欲を喚起し、主体的な取組を引き出すことができるように問題解決の過程が示されている。 ○ 「次の章を学ぶ前に」で学習する内容につながる事項を確認し、「章の扉」では学びの必然性やストーリー性を重視した展開で、学習意欲を高めるよう配慮されている。 ○ 学習内容をまとまりのある単元に構成し、相互の関連や生徒の発達段階を勘案した配列になっており、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 身近な題材や生徒の興味・関心を高める内容や資料に偏りはなく、出所、出典ともに明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に既習内容や単元とのつながりが明記され、また、各章の前に「次の章を学ぶ前に」が配置されており、系統性や既習事項とのつながりを重視することで学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 1小節ごとに学習のねらいを明記し、1単位時間で見開き2ページで学習できる内容とすることを原則として構成され、学習の焦点化を図ることができるよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得・定着が十分に図れるように構成が工夫されており、また、学習したことを発展した学習に活用する場面も充実するなど配慮されている。 ○ 内容については学習の系統性を重視して焦点化を図る一方、実態に応じて扱うことができる問題や課題が豊富に設定されており、弾力的な年間指導計画に広く適合できるよう配慮されている。 ○ 章の導入で身近な題材を取り上げ、各小節には生徒の興味・関心を喚起し、生活に広く対応できるような学習活動が設けられている等配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」「話し合おう」「深めよう」の表示が付けられ、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることや「思考力・判断力・表現力等」の育成及び主体的な学習態度の形成を進められるよう配慮されている。 ○ 生徒が興味・関心を持てるような題材が選定されているとともに、問題解決的な授業展開の流れが明示され、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がなされている。 ○ 「数学のたんけん」や章末の「とりくんでみよう」、巻末の「対話シート」「数学マイトライ」等が用意され、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるように工夫されている。 ○ 道徳教育や他教科の学習内容と関連ある素材やキャリア教育、防災や安全教育、環境教育、国際理解、現代的な諸課題に関連する題材が取り上げられ、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 「WEB」マークの付いている箇所には関連したコンテンツが用意され、図表や写真等についても適切に配置されている。 						
4 表 現 と 関 係 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な正確さを重視しながら平易で読みやすい表現がなされ、必要に応じて理解を助ける式や図などが添えられており、学年に応じた表記、表現が配慮されている。 ○ 数学的な活動の楽しさや数学のよさが中学生のキャラクターの説明や話し合いの場面等で表現され、生徒が意欲的に取り組めるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントが全面的に使用され、カラーユニバーサルデザインに配慮するなど鮮明で見やすいように工夫されている。 ○ 図表等の大きさや配置、レイアウトやバランス等、まとまりや区切りが分かる枠組みや適度な余白により発達の段階を考慮する等工夫されている。 ○ 表紙に耐水性や堅牢性に優れた表面加工が施され、資源保護に配慮した再生紙や環境や人体への影響が少ない植物性インキを使用している等、環境への配慮がされている。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 理科

答申〈理科〉

中学校理科について5社の教科用図書を調査しました。各社とも、中学校理科の目標である「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する」に沿って、自ら進んで学習する意欲を高める工夫がなされています。特に、日常生活と関連付けた体験を重視した学習内容になっており、学ぶ意義を理解して主体的に学習に取り組めるように配慮されています。また、観察、実験においては、「課題・予想・仮説・結果・考察」といった探求のプロセスを重視した構成になっています。

発展的な学習については、各社とも読み物資料等が充実しており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされています。さらに、QRコード等を用いたデジタルコンテンツも用意されており、視覚的に理解させる配慮もなされています。

主体的・対話的で深い学びについては、各社ともイラスト等を用いた実践例を示すなど、意図的に場面設定をする工夫がなされています。

写真や図に関しては、各社とも生徒の興味・関心を引く素材を用いており、見て楽しい魅力的な教科書になっています。また、ユニバーサルデザインを取り入れた読みやすいつくりとなっています。

以上のことから、3社の教科用図書を選定しました。

第1位 東京書籍

鮮明な写真、わかりやすいイラスト、概念を定着させる図など、わかりやすく提示されている。また、観察、実験などは、課題設定から学習内容のまとめまで、的確に配慮されている。

第2位 学校図書

すべての観察、実験で「課題・方法・結果・考察」を見通して学習を進めることができ、探究する力が育まれる構成になっている。

第3位 啓林館

生徒の好奇心をくすぐる資料や、発展的な学習情報が充実しており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 理科

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	2	東京書籍	新しい科学1 新しい科学2 新しい科学3	鮮明な写真, わかりやすいイラスト, 概念を定着させる図など, わかりやすく提示されている。また, 観察, 実験などは, 課題設定から学習内容のまとめまで, 的確に配慮されている。
第2位	11	学校図書	中学校科学1 中学校科学2 中学校科学3	すべての観察, 実験で「課題・方法・結果・考察」を見通して学習を進めることができ, 探究する力が育まれる構成になっている。
第3位	61	啓林館	未来へひろがるサイエンス1 未来へひろがるサイエンス2 未来へひろがるサイエンス3	生徒の好奇心をくすぐる資料や, 発展的な学習情報が充実しており, 生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。

種 目	理 科	発 行 番 号 の 略 称	2 東書	教 科 記 号 の 番 号	理科 701 801 901	書 名	新しい科学1 新しい科学2 新しい科学3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の見方・考え方ははたらかせ、見通しをもって観察、実験を行い、探究的な活動を通して、科学的に探究するために必要な資質・能力が育成できるように配慮されている。 ○ 学習前後の「Before & After」によって、生徒が自らの成長を実感でき、学ぶ意欲や必然性を感じられるように工夫されている。 ○ 「問題発見：レッツスタート」「仮説：課題に対する自分の考えは?」「構想：調べ方を考えよう」「分析・解釈：考察しよう」などの探究の過程を重視した場面が設定され、科学的な思考力・判断力・表現力が育成できるように配慮されている。 ○ SDGsやESDについて、第1学年からコラム等を充実させ、持続可能性に対する意識が高められるよう配慮されている。 ○ 出所、出典が明示されており、写真等において地域や内容等がバランスよく提示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な題材を取り上げ、探究的な学習の流れになっている。 ○ 導入部分では、「レッツスタート!」やコラム等、身のまわりの事象について考えさせる場面が設定されている。 ○ 基礎的・基本的な学習内容が精選され、ゆとりをもって学習できるように作成されている。 ○ 「これまでに学んだこと」「この単元で学ぶこと」により学習内容の系統性が示されている。 ○ 分量や区分が各学校の年間指導計画に適合できるものになっている。 ○ 配列は、生活や各地域の実態に広く適合できるものであり、主体的・対話的で深い学びが実践できるように身近な題材からはじまり、専門性の高い題材へと配列が配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「例題」「練習」「確認」と繰り返し学習し、学習内容の定着を図る構成になっている。 ○ 学習前と後の自分の姿を考えたり、課題に対する自分の考えを表現したりする場面が設定されており、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう配慮されている。 ○ 学習の導入として、学習内容に関連する画像資料とともに「レッツスタート!」で、生徒の興味・関心を喚起する構成になっている。対話が広がる対話例や、深い学びの視点となる「科学のミカタ」「学びを生かして考えよう」等、対話的で深い学びが実現するよう配慮されている。 ○ 見開き一授業の構成で、学習の見通しが立てやすい。考察がスモールステップで構成されており、段階的に考えられるよう工夫されている。 ○ 他教科との関連は、デジタルコンテンツで取り上げている。SDGs、防災に関しては、資料が豊富に揃っており十分な配慮がされている。 ○ Dマークコンテンツ（デジタルコンテンツ）が充実しており、特にシミュレーションによる解説が生徒の理解を促す内容となっている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ A4スリム判でつくられており、図が大きく示されている。探究の過程が辿りやすい紙面構成になっているとともに、軽量化が図られている。 ○ 色覚デザインのために市民団体の協力を取り入れるなど、カラーユニバーサルデザインに配慮されており、本文が目に入りやすい色使いになっている。 ○ ページ下方に探究の過程が示されており、本文中のアイコンと対応することで、思考しやすくなっている。 ○ 再生紙を使用し、植物性のインクで印刷されており、無臭で、化学物質過敏症の生徒にも配慮がなされている。 ○ 折込みページがなく、各図表のタイトルも明瞭であり、生徒にページ数や学習項目を指定するのが容易である。 						

種 目	理 科	発 行 番 号 の 略 称	4	教 科 記 書 号 の 番 号	理 科 7 0 2 8 0 2 9 0 2	書 名	理科の世界 1 理科の世界 2 理科の世界 3
			大日本				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の学習の進め方」をもとに学習を進めることで、見通しをもって探究が進められるように配慮されている。 ○ 教科書全体に、写真やイラストなどのわかりやすい資料を掲載することで興味・関心を高め、自然の事物・現象に意欲的に関わろうとする態度が育まれるようにしている。 ○ 「環境」マークをつけて提示することで、SDGsやESDについて理解が図れるよう配慮されている。 ○ インターネット上のデジタルコンテンツが活用できるところにQRコード（URL）をつけて観察・実験器具の基礎操作や観察、実験のようすなどを視覚的に確認できるように配慮されている。 ○ 探究の過程で「比較する」「関係付ける」「条件を制御する」「多面的に考える」方法などにより、理科の見方・考え方をはたらかせることができるよう配慮されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「思い出そう」が記述されていることによって、学習内容のつながりを意識できる。 ○ 学習意欲が高まるように観察、実験や写真等に加え、読み物資料など発展的な学習ができるような工夫がされている。 ○ 単元はじめに、これまでの学習とこれからの学習の内容が端的に示されている。 ○ 1時間の授業ごとの課題が明示されており、学習者に授業のねらいを意識させやすく振り返りも行いやすい。 ○ 単元の最後に「まとめ」「単元末問題」が配置され、学習内容を確認できる。 ○ 「読解力問題」があり、知識・技能の定着だけでなく、生徒自らが課題を解決する力が身に付くように配慮されている。 ○ 実験の結果や考察についての記述もあり、自学できるようになっている。 ○ 分量や区分が各学校の年間指導計画に適合できるものになっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の流れに沿って学習に取り組むことで、基礎的・基本的な内容が定着する丁寧な構成になっている。単元末の「読解力問題」で思考力・判断力・表現力が養われるよう工夫されている。 ○ 「くらしの中の理科」で日常生活との関連が重視されており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。「問題をみつけよう」「結果から考えよう」「話し合ってみよう」という探究活動の過程が明確で、キャラクターの会話場面も効果的に取り入れられ、対話的な活動が促される工夫がされている。 ○ 「くらしの中の理科」「科学のあしあと」で、多様な個性やニーズに対応できるよう配慮されている。 ○ 単元の始めに既習事項が丁寧に掲載されている。他教科との関連も「つながる」と題して、丁寧に示されており配慮されている。 ○ 外部ウェブサイトや他教科の内容ともリンクしており、デジタルコンテンツが充実している。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ B判でコンパクトに装丁されているが、写真や図、グラフがはっきり示されているとともに、発展的な内容の解説を充実させるなど、内容量の充実が両立されている。 ○ UDフォントを使用しており、読みやすい紙面になっている。化学反応式が大きく表示されるなど、学習の要点となる部分が押さえやすくなっている。 ○ 再生紙と植物性インクを使用することで、軽量化が図られている。折込みページがなく、生徒に指示が出しやすい。 ○ 発展的な内容などが扱われている部分が明確に色分けや頁分けがされており、学習内容を生徒が把握しやすい。 ○ 放射線の利用や宇宙のひろがりなど、市民リテラシーとして重要な内容について詳しく取り上げられている。また、東日本大震災について扱うページにおいては、津波の写真に掲載しないなど、配慮が感じられる。 						

種 目	理 科	発 行 番 号 の 略 称	1 1	教 科 記 書 号 の 番 号	理 科 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	中学校科学 1 中学校科学 2 中学校科学 3
			学 図				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「ミッションX」により、学習内容と職業や日常生活との関連がわかり、科学を学ぶ意義や有用性を実感できるよう配慮されている。 ○ 科学を探究する方法が「理科のトリセツ」で解説されているなど、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方・考え方を養うように配慮されている。 ○ 学習のまとめや単元末問題に関するQRコード教材が用意されており、学習内容の定着が図られるように配慮されている。 ○ 単元末には、「学びを日常にいかしたら」が設けられており、全国学力・学習状況調査を意識した問題が用意され、学力向上が図られるように配慮されている。 ○ 日常生活や社会との関連が図られ、SDGsを各巻で取り上げるなど、環境保全を意識するよう配慮されている。 ○ 各学年の探究の重点に配慮し、「しっかり仮説」「しっかり計画」などといったマークが示され、学習の充実と発展を図ることができるように配慮されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間の授業ごとの課題、科学的な見方・考え方が明示されており、学習者に授業のねらいを意識させやすく、振り返りも行いやすい。 ○ 探究の進め方について、各学年のねらいがはっきりし、単元の目標を実現できるように工夫がされている。 ○ 単元の最後に「学びを日常にいかしたら」が配置され、学習した内容を日常生活に生かしながら確認することができる。 ○ 各学年の巻頭に、理科を学ぶ意義や学んだことが実生活でどのように生かされていくかについての提示がある。 ○ 「理科のトリセツ」は各学年の重点目標について書かれてあり、わかりやすくなっている。 ○ 分量や区分が各学校の年間指導計画に適合できるものになっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察、実験から考察までの一連の流れが丁寧に掲載されており、基礎的・基本的な知識・技能の習得から、思考力、判断力、表現力が養われる配慮がなされている。 ○ 中単元、観察、実験毎に「Can-Do List」が掲載されており、何を理解し、できるようになったかを明確につかむことができる。「主体的に学ぶ」「対話を通して深く学ぶ」方法や意義についての説明があり、学び方が明確になるよう配慮されている。 ○ 「探究の結果」のページに実験の「結果」と「考察」がわかりやすく示されている。「サイエンスカフェ」「発展」で、科学の利用について掲載されており、多様な個性に応じる工夫がなされている。 ○ 「ふり返ろう・つなげよう」「つながり」として、他の単元、他教科との関連が明示されている。巻頭折り込みの「ミッションX」では働く人を紹介し、社会とのつながりにも配慮されている。 ○ デジタルコンテンツは資料が豊富である。観察、実験の流れ、資料が非常に丁寧にわかりやすく工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストに生徒の吹き出しがあり、生徒自らが疑問に感じる点などをわかりやすくしている。キャラクターの色使いも淡く、本文や実験操作等が見やすくなっている。 ○ 図が劇的であり、モデルと図の対応が理解しやすいページ構成になっている。グラフや表なども大きく取り上げられているため、生徒が書き込んだりしながら理解しやすくなっている。 ○ AB判で装丁されるとともに、再生紙による軽量化がなされ、情報量と持ち運び時の生徒の負担軽減の両立が図られている。 ○ 実験装置や操作の説明図が簡素で見やすくなっていると同時に、探究の過程の中の観察・実験の位置づけが明確である。 ○ 巻末にホワイトボードがあり、意見交流に活用しやすいつくりになっており、対話的な学習を促進する工夫がなされている。 						

種 目	理 科	発 行 番 号 の 略 称	1 7	教 科 記 号 の 番 号	理 科 7 0 4 8 0 4 9 0 4	書 名	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3
			教出				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストで理科の見方・考え方ははたらかせる生徒の姿を示し、理科の学習の中で、生徒の参考となるよう配慮されている。 ○ 読み物「ハローサイエンス」等で、理科で学習する原理や規則性などが日常生活や社会で活用されていることにふれ、生活において重要な役割を果たしていることに気づかせるように配慮されている。 ○ 観察・実験において「目的」「準備」「方法」「結果」と細かく項目が示され、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。 ○ 実験器具や操作、技能などが「基礎技能」として本文とは区別され、わかりやすく図解になっており、前年度までの基礎技能も巻末にまとめられた配慮がなされている。 ○ SDGsに関連する内容を取り上げ、持続可能な社会をつくっていくことの重要性について認識できるよう配慮されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察、実験等に関する基礎的・基本的な知識・技能について、「基礎技能」としてそれぞれの観察、実験において記述し、さらに巻末にも記述されて常に確認できるように工夫されている。 ○ 巻末の資料「理科で使う算数・数学」や「単位について」は、非常に有用である。 ○ 「要点と重要用語の整理」や「基本問題」は、単元末の学習整理がしやすい。 ○ コラム「ハローサイエンス」等を通して、日常生活や他の教科、高校等との関連が図られている。 ○ 分量や区分が各学校の年間指導計画に適合できるものになっている。 						
3 学 習 と 関 指 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるために、「要点チェック」「重要用語整理」「基本問題」「学年末問題」と段階的に設定されている。中単元毎のまとめ「要点チェック」は、学習内容を説明する形式になっており、思考力・判断力・表現力の育成に配慮されている。 ○ イラストや写真、資料が多彩であり、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。「考えよう」「話し合おう」「活用しよう」の流れで、生徒の主体的・対話的で深い学びが促されるよう設定されている。 ○ 算数・数学科との連携を重視しており、理科で使う算数・数学や例題の線分図等工夫されている。 ○ 「これまでの学習（小学校との連携）」「発展（高校との連携）」等、学習のつながりを意識できるよう配慮されている。 ○ 挿絵、図表は豊富かつ見やすいサイズである。「まなびリンク」が巻頭に示されており、教科書の内容と関連のあるウェブサイトを一括してみることができる。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字が大きく、読みやすい構成になっている。重要用語は赤色にしたり、化学反応式などの中心学習事項を大きく示したりすることによって、はっきり分かりやすい。 ○ キャラクターが対話形式で示されており、生徒が具体的な授業場面をイメージしながら学習活動を行いやすくなっている。 ○ AB判で装丁され、図表が大きくゆとりをもって示されており、生徒が情報や数値等を読み取りやすく配慮されている。 ○ 本文横の側説部分がなく、本文を読むことで学習内容の全体を把握できるようにページ構成に工夫がなされている。 ○ 教科書の冒頭に「探究の進め方」が半ページで示されており、観察、実験時に常に開きながら行えるように配慮されている。 						

種 目	理 科	発 行 番 号 の 略 称	6 1	教 科 記 書 号 の 番 号	理 科 7 0 5 8 0 5 9 0 5	書 名	未来へひろがるサイエンス1 未来へひろがるサイエンス2 未来へひろがるサイエンス3
			啓林館				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書全体を通して、探究する意欲を喚起させる題材が取り上げられており「科学にアクセス」からは、探究する意欲を高める映像教材を視聴できる配慮がなされている。 ○ 単元末の「みんなで探Qクラブ」では、学習内容を活用して身近な疑問を解決するために働かせたい理科の見方・考え方が具体的に示されている。 ○ 観察、実験は「目的」「方法」「結果」「考察」で構成されており、見通しをもって生徒自らが観察、実験を行えるよう配慮されている。 ○ 巻末の「探Qラボ」を活用して、切り取り式のカードを使ったモデル実験などを一人一人が主体的に行えるよう配慮がなされている。 ○ 環境やエネルギー問題について、話し合いを行う構成になっており、持続可能な社会の実現に向けて、科学的な根拠に基づいて意志決定をする態度が育つよう工夫されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生命」「地球」「物質」「エネルギー」の4領域に分かれ、系統性を意識したつくりになっており、学習に取り組みやすくなっている。 ○ 理科の学習を進めるために「探究の過程」が示されており、各單元における学習活動がわかりやすくなっている。 ○ 学習の内容の習得を図るため、各單元に「学習のまとめ」が配置されている。 ○ 実験上の注意については、とくに各学年の「物質」の領域のはじめにまとめて示されている。 ○ 観察、実験を中心とした学習展開となっている。 ○ 分量や区分が各学校の年間指導計画に適合できるものになっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「例題」「練習」「なるほど（生徒の誤概念の取り上げ）」と段階的に理解が深まる構成になっている。「考えてみよう」「活用してみよう」では、思考力・判断力・表現が育成されるよう工夫されている。 ○ 「学ぶ前にトライ」で、身近な問いが導入部に設定されており、興味・関心を高め、学習に取り組みやすい工夫がされている。観察、実験では、探Qシートに書き込みながら進めることで、自然に対話が生まれ深い学びが実現できるように工夫されている。 ○ 「科学コラム」で「部活ラボ」「お仕事ラボ」等、身近な生活や社会と関連づけられた内容となっており、生徒の多様な興味、個性に対応する内容になっている。 ○ 他校種、他学年、他教科との関連が明示されており、「つながる学び」「思い出してみよう」では、既習事項も確認できるよう細かな配慮がされている。 ○ 挿絵、図表及び写真は大きく非常に見やすい。「科学にアクセス」（デジタルコンテンツ）も資料が豊富で理解に役立つ内容である。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す 裁 る 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 印刷が明瞭であり、文字も読みやすく、図表も劇的に表現されている。学年ごとに文字の大きさも変えられており、発達段階に配慮されている。 ○ キャラクターには吹き出しがあり、生徒が疑問に感じる点などをわかりやすくしている。制服以外の生徒の姿も描かれており、科学的な探究を実生活の中でも行うことが意識されるように工夫されている。 ○ 発展的な内容を示すアイコンが明確であり、生徒が基礎的な学習内容と発展的な学習内容を分けて把握しやすく配慮されている。 ○ A B版で装丁されており、図表等がダイナミックに掲載されている。また、学習項目ごとの囲み罫が明瞭であり、生徒が情報をつかみやすいように配慮されている。 ○ 単元ごとの導入動画等、ウェブ上のコンテンツが充実しているとともに、QRコードが表紙・裏表紙にも付してあり、生徒が使用しやすいように工夫されている。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 音楽

昨日から2日間にわたり、中学校音楽の委員2名で調査研究を行いました。
これから中学校音楽の調査概要を報告いたします。

【中学校 音楽】

2社ともに、学習指導要領に示された「主体的、対話的で深い学び」を目指し、表現、鑑賞、創作の学習内容が適切に精選、配列されています。また、三つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材を示した内容が配置され、音楽の学びが計画的に見通すことができるよう配慮されています。そして、どの教材においても、目標が見やすく提示され、その学習内容を発達段階に応じて発展的、補充的な学習ができるよう工夫されています。

西洋音楽から日本の伝統音楽まで多様な音楽が取り上げられており、その音楽の美しさやよさを味わえる内容となっています。

小学校で学習した内容を踏まえた教材も多く取り上げられ、その継続した学習内容をさらに発展できるよう組織的・系列的に配列されています。

[共通教材]が網羅されており、生徒の実態を踏まえ、各校の年間指導計画に広く対応できるよう工夫されています。また、歌唱・鑑賞教材以外にも気軽にゲーム感覚でできる教材も取り入れ、生徒の興味を喚起し、関心を高める教材もありました。

そして、外国語の歌唱教材や郷土芸能を取り扱うなど、他教科や総合的な学習の時間との関連にも配慮されています。

生徒が親しみを感じるような資料や写真、挿絵がバランスよく掲載され、色彩、印刷は鮮明で見やすく、活字の大きさや字体も適切になっており、生徒が主体的に学習できるように工夫されています。

2社とも再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮がなされています。また、ユニバーサルデザインを意識した作りとなっており、多くの人に見やすい配慮がなされています。

以上のことから、選定順位といたしましては、

第1位 教育芸術社

題材や指導事項が計画的にバランスよく配置され、目標や具体的活動例、資料等が豊富である。そのため、学校や生徒の実態に応じて学習を進めていくのに適している。

第2位 教育出版

学習過程で発展的に活用できる資料や写真が豊富にあり、幅広い学習に対応できる。表現、鑑賞、創作の学習のバランスに配慮されており、学習の見通しを持って進めるのに適している。

となりました。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 音楽

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	27	教育芸術社	中学生の音楽1 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下 中学生の器楽	題材や指導事項が計画的にバランスよく配置され、目標や具体的活動例、資料等が豊富である。そのため、学校や生徒の実態に応じて学習を進めていくのに適している。
第2位	17	教育出版	音楽のおくりもの 中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの 中学器楽	学習過程で発展的に活用できる資料や写真が豊富にあり、幅広い学習に対応できる。表現、鑑賞、創作の学習のバランスに配慮されており、学習の見通しを持って進めるのに適している。
第3位				

種 目	音 楽 (一般)	発 行 番 号 の 略 称	2 7 教 芸	教 科 記 書 号 の 番 号	音 楽 7 0 2 8 0 3 8 0 4	書 名	中学生の音楽1 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている各学年の目標及び内容を踏まえ、豊かな情操を培うために、幅広い活動ができるよう工夫されている。 ○ 我が国や郷土の伝統音楽を学習する際に、生徒が親しみや実感をもって音楽に接することができるよう、歌ったり手を打ったりする体験活動が示されている。 ○ 各教材において、歌詞や楽曲の内容、音域等、生徒の心身的な発達段階を適切に考慮されており、意欲をもち主体的に学習できるよう工夫されている。 ○ 幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも総合的に捉えられるよう工夫されている。 ○ アジアや世界の音楽文化を扱った教材等、多様な音楽活動が選択できるよう、教材が適切に配置されている。また、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校とのスムーズな連携が図られ、学習の系統性が考慮された内容となっている。更に基礎的な学習内容が確認、発展できるよう工夫されている。 ○ 各教材のねらいが明確化されており、表現教材と鑑賞教材を関連させながら、効果的に学習が進められるよう、工夫された配列になっている。 ○ 楽典事項や「音楽を形づくっている要素」のページにより、基礎的・基本的な内容の確認や反復学習ができるよう適切に配慮されている。 ○ 学習することができ、必要に応じて発展的学習もできる配列となっている。 ○ 生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、題材に束縛されないようになっており、学習活動の分量を弾力的に増減できるよう配慮されている。 ○ 生活や社会と音楽とのつながりを実感できる教材を多く取り上げ、生徒や地域の実態に応じて音楽活動ができるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「思考、判断、表現」を行うためのヒントを示す等、主体的な学習態度の形成を進められるよう配慮されている。 ○ 「深めよう！音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えを持ち、友達と交流することを通して、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、工夫がなされている。 ○ 明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう、多様な教材が用意されており、生徒の多様な能力や特性に広く対応している。 ○ 作曲者の生まれた国の様子が詳しく明記され、また活躍した年代やその時代の日本の様子との比較ができる等、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 挿絵・図表・写真がカラーで印刷されており、生徒がイメージしやすいよう配慮されている。また、学習に役立つコンテンツがQRコードで示されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の分かりやすさが、学年に応じて配慮されており、難しい文字にはルビが振られる等、生徒が学習しやすいよう工夫されている。 ○ 補助資料として、多くの演奏家の写真やメッセージが提示してあり、生徒が魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 色彩、印刷は鮮明で見やすく、活字の大きさや字体も適切になっており、ユニバーサルデザインを意識した構成となっている。 ○ 図表や写真の配置が適切で、楽譜や歌詞も読みやすい。また、レイアウトやバランスが適切で、美しく統一感がある。 ○ 再生紙を使用しており、環境にやさしい配慮がなされている。また、ユニバーサルデザインを採用しており、多くの人に見やすい配慮がなされている。 						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発 行 番 号 の 略 称	2 7	教 科 記 号 の 番 号	音 楽 7 5 . 2	書 名	中学生の器楽
			教 芸				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている内容を踏まえ、身に付けたい資質・能力を具体的な学習項目と〔共通事項〕との関わりを一覧として明示している。 ○ 「アンサンブルセミナー」というセクションが設けられており、〔共通事項〕と関連させながら、基礎的・基本的な学習事項の習得ができるよう工夫されている。 ○ アルトリコーダーの他、箏や尺八等の和楽器やギター等、数多くの楽器の奏法が丁寧に説明されており、学習意欲が高められるよう工夫がされている。 ○ 独奏から多人数のアンサンブルまで幅広い器楽の学習ができ、生徒の実態に合わせた楽曲を選択することで、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 我が国及び諸外国の楽曲がバランスよく取り扱われており、写真や教材の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識と技能を関連づける学びの順番が整理されており、段階を追って学習活動に取り組ませることで学習効果が上がり、豊かな表現活動を行えるよう工夫されている。 ○ 「各部の名称」「姿勢と構え方」「楽器の奏法」等、学習内容が楽器ごとにまとめられており、生徒が学習のねらいを明確に把握できるように配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な奏法を取得するために、多くの写真を掲載し、丁寧な説明もなされており、生徒が興味・関心を持って取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 教材が豊富で、楽器の奏法とアンサンブルの曲を分けて配列されており、各学年の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 多様なジャンルの楽曲が取り上げられ、更に楽器の組み合わせが自由に変更できる楽曲も掲載されており、生徒の日常生活や社会の実態に対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各楽器の紹介や奏法が適切に表現され、また鑑賞教材との関連も明示されており、基礎的・基本的な知識の習得、主体的な学習態度の形成につながっている。 ○ 「深めよう！音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して主体的・対話的な深い学びが実践できるよう配慮されている。 ○ 関連する鑑賞教材が紹介される等、多様な生徒の学びに対応した記載があり、活用場面を広げ発展した学習ができるように工夫されている。 ○ 和楽器が数多く取り上げられ、我が国の音楽や文化に触れることができ、総合的な学習の時間等との関連が図れる工夫がされている。 ○ 学習に役立つコンテンツが自由に見ることができるよう、対応する楽曲のページにウェブサイトの紹介が記載されており、関連した学習が進められるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラストが多く用いられ、生徒が学習しやすいように難しい言葉や英語にもルビが振られており、表記や表現に配慮されている。 ○ 写真やメッセージには、若手の演奏家や著名な方を採用しており、生徒が憧れや親しみをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォント等を使用し、サイズや楽譜も鮮明で読みやすく表記され、配色もコントラストを明確にした色覚特性に配慮されている。 ○ 楽譜と説明のバランスが適切であり、リコーダーの運指と楽譜が同時に見ることができ、楽譜の構成間隔が適切にとられる等、使い易さに配慮した配置になっている。 ○ 再生紙や植物油インキを使用しており、環境にやさしい配慮がなされている。また、中綴じで開きやすいつくりになっている。 						

種 目	音楽 (一般)	発行 番号 の・ 略称	17	教科 記号 の・ 番号	音楽	701 801 802	書 名	中学音楽1 中学音楽2・3上 中学音楽2・3下	音楽のおくりもの 音楽のおくりもの 音楽のおくりもの
			教出						
1 内容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された教科の目標を踏まえ、多種多様な音楽文化に触れ、様々な音楽活動に取り組めるように工夫されている。 ○ 表現と鑑賞の関連を図った幅広い音楽活動を通して、音楽科の目指す目標を達成することができるように工夫されている。 ○ 我が国と諸外国の音楽文化を関連づけて取り扱い、その共通性や固有性に興味を持たせることで、学習意欲を高めるよう工夫している。 ○ 学習内容において、歌唱、創作、鑑賞の分野がバランスよく取り扱われており、学習活動が適切に展開できるよう工夫されている。 ○ 多様な音楽活動が選択できるよう、音楽の特徴が捉えやすい学習内容となっており、教材や写真の出所、出典が明示されている。 								
2 組織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で学習した内容を踏まえ、学習の積み重ねと系統性が考慮された内容になっており、小学校とのスムーズな連携が図られている。 ○ 音楽の表現、鑑賞活動を3つの分野に分けてバランスよく配列し、「学びのユニット」によって生徒が見通しを持って取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 教材ごとに〔共通事項〕を基にした学びのポイントが明示されており、深い学びに向けた手掛かりを基に、発展的な学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 地域や学校の実態、生徒の発達段階に応じて、多様な構成を検討できるように工夫されている。 ○ 地域や学校の実態、生徒の発達段階と学習に応じて、多様な構成が検討できるように配慮されている。 								
3 学 習 と 関 指 導 す る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知識」及び「技能」に関する内容を「思考力・判断力・表現力等」の育成と関わらせて習得できるようにアドバイスを提示する等の工夫がなされている。 ○ 「ACTIVE!」のページでは具体的な学習内容を丁寧に示し、感じ取ったことをまとめ交流できるよう工夫されている。 ○ 「比べてみよう」「深めてみよう」の活用により、生徒の多様な能力や特性に広く対応できる内容となっている。 ○ 我が国の自然や文化、日本語の美しさを感じ取れる教材や音楽療法の紹介等道德教育やキャリア教育等との関連が図られている。 ○ 学習に役立つ情報を教材に合わせて利用できるように「まなびリンク」等を配置し、ウェブサイト上の様々な情報との関連付けを図るような工夫がされている。 								
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現が簡潔であり、難しい言葉には振り仮名がつけられる等、分かりやすく工夫されている。 ○ 楽曲のもつ魅力や音楽によって描かれる自然の美しさを表す資料や写真、挿絵がバランスよく掲載されている。 ○ 印刷は鮮明で全体的に見やすく、活字にはユニバーサルデザインフォントを用いている。また、カラーユニバーサルデザインに基づく色使いが配慮されている。 ○ 分かりやすい紙面とレイアウトで、生徒が自分の考えを書き込む部分が多く配置されており、音楽活動をよりスムーズに行えるように配慮されている。 ○ 環境に優しい再生紙と植物油インキを使用しており、印刷においては、バイオマスで発電されたグリーン電力を使う等環境保護に配慮している。 								

種 目	音楽 (器楽合奏)	発行 番号 の 略 称	17 教 出	教科 記 号 の 番 号	器楽 751	書 名	中学器楽 音楽のおくりもの
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている内容を踏まえ、音楽の多様性を理解し、音楽に親しみながら創意工夫を生かした技能を身につけることができるよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識や技能を身につけるために、「学びのねらい」が毎頁ごとに上部に明記されており、それらを活用した表現の学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 古典から現代までの幅広い教材が取り上げられており、我が国の音楽及び諸外国の多様な音楽に親しみ、意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 表現学習の後に、奏法が近い他の楽器との共通性や固有性について聴き比べる構成がある。領域の横断的な学習を通し、学びに深まりが持たれるよう工夫がなされている。 ○ 歌唱共通教材や鑑賞教材として学習した曲が多く取り上げられ、内容と資料が適正に構成されている。教材の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ユニットにより「吹く楽器」「弾く楽器」「打つ楽器」に分けられており、学習の見通しを踏まえた計画的な学びを展開できるよう整理されている。 ○ 学習内容が楽器ごとにまとめられており、楽器の扱いや姿勢、奏法等、学習のねらいを明確にして進めることができるよう工夫されている。 ○ 「演奏の仕方を身につける」部分と「合わせて演奏する」部分の二部構成になっており、基礎的知識や技能を身につけ、発展的学習で活用できるよう配慮されている。 ○ 演奏の基礎を習得するための教材が豊富で、発展学習にも応用でき、年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 音楽を愛好する心情を育てる観点から、各地域における社会生活と音楽の関わりや我が国や郷土の伝統文化に触れる点に至るまで、広く対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに「学びのねらい」「学びのポイント」「まとめの曲」で構成され、見開きごとに見通しを持って学習を確実に進めるための工夫がなされている。 ○ 既習曲や耳馴染みのある楽曲が取り上げられ、動機付けに配慮されている。また、学ぶべきポイントの明記が、生徒の主体的・対話的で深い学びにつながっている。 ○ 和楽器における口唱歌の比較ができたり、諸外国の楽器の響きを聴き、文化や伝統に触れることができる頁があり、生徒の多様性に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 第一線で活躍している演奏家のメッセージの掲載は、文化や社会とのつながりについて深く学ぶことができ、道徳や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 「まなびリンク」等を多くの教材に配置し、ウェブ上の様々な情報との関連付けを図っており、学習を進める上で利用できるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 奏法を示す写真が豊富で、具体的に説明を入れるなど、演奏のイメージがつかみやすいよう配慮されている。また、振り仮名等の表記や表現にも工夫がある。 ○ 世界の様々な楽器の演奏形態や、演奏者の写真・メッセージを効果的に配置し、生徒の関心を高め、親しみをもてるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインによる色使いで、全体的に見やすく、全ての生徒が学習しやすいように工夫されている。 ○ 五線の間隔が広く取られ、楽譜が読みやすいだけでなく、楽器の運指と楽譜が同時に見られるようなレイアウトになっており、演奏者への配慮がなされている。 ○ 製本は堅ろうであり、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。印刷では、バイオマスで発電されたグリーン電力を使用しており、環境に配慮されている。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会
専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 美術

中学校美術科

3社とも、新学習指導要領に則り構成されており、生徒の発達段階に応じて内容が配列されていました。各題材の目標は、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に基づいて示されており、生徒に身に付けさせたい力が明確であるため、生徒自身が自主的に振り返りをできるように構成されていました。

各題材のページに表現と鑑賞が相互に関連していることを表すインデックスマーク等が示されており、表現活動にも鑑賞が含まれていることを意識することができ、相互の関連を図った授業展開ができるように配慮されていました。また、各題材にQRコードが掲載されており、学習指導の際に活用することで、立体作品を様々な角度から鑑賞したり、技法の動画を見たりすることができ、鑑賞や表現活動の幅が広がる工夫がされていました。巻末には、「学びを支える資料」として技法や鑑賞資料が豊富に掲載されており、技法や用具の使い方などの〔共通事項〕を中学生が取り組みやすい具体例を示しながら丁寧に解説されていました。

さらに、多くの題材で他教科との関わりが明記され、横断的な学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動が行えるように配慮されていました。また、日本の伝統的な美術作品のよさや価値を理解しやすく解説してあるとともに、西洋と日本の美術作品の対比や日本の浮世絵が西洋の美術作品に影響を与えた経緯も詳しく解説しており、総合的な学習にも関連した配慮が見られました。

以上のことから、3社の美術科用図書を選定しました。選定順位といたしましては、

第1位 日本文教出版

全ての題材に3つの柱に基づく「学びの目標」が具体的に明記され、題材ごとに身に付けさせたい力が分かりやすく示されている。また、原寸大の作品が多く掲載され、実際の作品に近い迫力や感動を味わえるように工夫されている。

第2位 光村図書

全ての題材に鑑賞と表現の図版が示されており、生徒が主体的、対話的な深い学びができるよう工夫されている。また、図版の配置が見やすく、また、ライン等で区切られていることで見る視点や順番が分かりやすい。

第3位 開隆堂出版

学習の目標が3観点で明記されており、生徒に育成したい資質・能力が分かりやすく示されている。また、発想や構想の方法が、各題材に明記されており、学習の手がかりとなるよう配慮されている。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 美術

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	116	日文	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来	全ての題材に3つの柱に基づく「学びの目標」が具体的に明記され、題材ごとに身に付けさせたい力が分かります。各題材に表現と鑑賞の相互の関連を図った授業展開ができるよう配慮されている。 原寸大の作品が多く掲載され、実際の作品に近い迫力や感動を味わえるように工夫されている。
第2位	38	光村	美術1 美術2・3	全ての題材に鑑賞と表現の図版が示されており、生徒が主体的、対話的な深い学びができるよう工夫されている。 図版の配置が見やすく、また、ライン等で区切られていることで見える視点が分かりやすい。
第3位	9	開隆堂	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承	学習の目標が3観点で明記されており、生徒に育成したい資質・能力が分かりやすく示されている。 発想や構想の方法が、各題材に明記されており、学習の手がかりとなるよう配慮されている。

種 目	美術	発 行 番 号 の 略 称	116 日 文	教 科 記 書 号 の 番 号	美術 703 美術 803 美術 804	書 名	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての題材に3つの柱に基づく「学びの目標」が具体的に明記され、題材ごとに身に付けさせたい力が分かりやすく示されている。 ○ 「造形的な視点」が各題材にあるので、生徒がどこをポイントに見ればよいか分かりやすいよう配慮されている。 ○ いろいろな角度から捉えられる題材が扱われていて、内容や資料ともに各学年の関連が図られている。 ○ 「作者の言葉」「制作のコラム」「参照」が掲載されていることで生徒の主体的な活動を推進したり制作過程での思いを伝えるものになっている。 ○ 国内外の多様な方法で表現された作品が示されており、生徒の感受性、興味・関心、発達段階に考慮した内容になっている。また、より本物らしさを追求するため、実物と同じ大きさの作品を提示している。資料の出所・出典について明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図画工作から美術へのつながり、3年間を見通せる工夫がされている。 ○ 各題材のページに表現と鑑賞が相互に関連していることを表すインデックスマークが配置されており、表現活動にも鑑賞が含まれていることが分かり、相互の関連を図った授業展開ができるように配慮されている。 ○ 美術1では、図画工作とのつながりと、美術との出会いを意識した配列になっており、基礎・基本的な内容が充実している。美術2・3上では、より内容を深め、生活や社会との関わりを意識した内容となっており、美術2・3下では多様な価値観を理解し、創造的な未来のあり方を探れるよう配列されている。 ○ 各題材のページに学びの繋がりが感じられる。 ○ 評価の観点が明記され、各題材が何をねらいとしているのかが生徒にわかるように具体的な言葉で示されている。 ○ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びを支える資料」の三つで区分され、提示されている題材も生徒の身近にあるもの、出来事、地域にある素材を生かし、幅広く展開することができる。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びを支える資料、技法や鑑賞資料が充実している。 ○ 作家の発想方法が紹介されていたり、アイデアスケッチや生徒作品が掲載されていることで、発想や構想の手がかりとなるよう工夫されている。 ○ QRコードを用いて立体作品を様々な角度から見るなど、鑑賞や表現活動の幅が広がる工夫がされている。 ○ 他教科との関わりが明記され、横断的な学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動が行えるように配慮されている。 ○ 生徒作品にも作者の考えを掲載して、何をねらっているのかを明確にしている。自分では気づくことのできない視点や捉え方、価値観等を語り合う対話活動を意識した学習がしやすいように配慮されている。 ○ 「造形的な視点」を意識した発問が設けられ、具体的な問いかけにより、生徒が主体的に考えたり、他者との対話で学びを深められるよう工夫されている。 ○ 短時間題材が掲載されており、生徒の実態等に応じて活用できるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図版や写真が充実しており、資料が豊富。色彩も鮮やか。多様な表現に触れられる。 ○ 教科書の判型がA4ワイド版であり、見開きのページが充実しており、レイアウトも工夫されている。 ○ 原寸大の作品が多く掲載されており、浮世絵などの色彩では本物と近い色味で表現されていることで、実際の作品に近い迫力や感動を味わえるよう工夫されている。 ○ 屏風の奥行きや見え方の違いを実感できるように、実際に折って立てて鑑賞できる造本になっており、紙も厚い用紙を使用するなど、鑑賞での活用が配慮され、生徒の興味・関心が高められるよう工夫されている。 ○ 生徒が興味をもつ、入りやすい題材名が工夫されている。タイトル文字を大きく表示し、見出し文字の大きさや色を変化させ、ユニバーサルデザインにも配慮し、色覚の個人差にも対応できるようカラーユニバーサルデザインにも配慮されている。 						

種 目	美術	発 行 番 号 の 略 称	9 開 隆 堂	教 科 記 書 号 の 番 号	美術 7 0 1 美術 8 0 1	書 名	美術 1 発見と創造 美術 2・3 探求と継承
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の目標が3観点「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」で明記されており、生徒に育成したい資質・能力がわかりやすく示されている。 ○ 生徒が主体的に取り組むための工夫として、視点を変える方法や、生徒の内面に迫りながら主題設定を行う方法など、具体的な学習を示しており、教科の目標を的確に反映している。 ○ 一つの題材に関連したページが掲載してあり、生徒が発想を広げ、主体的に創作活動に取り組むための工夫が見られる。「学校教育の方針と重点」の趣旨の実現に対応している。 ○ 様々な視点や心情の捉え方を示して、多様な表現ができるように配慮してあり、学習内容の充実と発展を図るための工夫がされている。 ○ 美術作品や文化遺産を他方面から掲載し、美術作品の見方や文化遺産の価値を学び、深めることができるように工夫されており、資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的な学習を重視した題材の構成がされており、学習内容が精選されている。 ○ 国内外の造形や現代的な話題を取り上げ、生徒の関心を高められる題材設定になっており、地域や学校の実情に合わせた配列になるように配慮されている。 ○ 題材の表現方法に関連した鑑賞題材を掲載して、表現と鑑賞を関連付けて指導できるように配慮されており、組織的かつ系統的に題材が配列されている。 ○ 美術1では、基礎的・基本的な題材を中心に取り扱い、美術2・3では、学習と社会との繋がり、未来への継承を意識した内容が配列されている。 ○ 2年と3年の教科書が一冊にまとめられており、2年間で柔軟に題材配列が組めるように配慮されている。各学校の年間指導計画に柔軟に対応できる構成である。 ○ 身の回りの廃材を利用した作品を取り上げリサイクルについて考えさせることで、社会問題に焦点を当て、生活に沿った題材を掲載している。また、地域の実態に広く対応できる題材の配列が見られる。 						
3 学 習 と 関 指 導 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードが充実しており、学習指導の際に活用し、解説動画や資料を効果的に提示できるよう工夫されている。 ○ 美術用語について示され、学習の理解を深めるための工夫がされている。 ○ 発想や構想の方法が、各題材の制作ページに明記されている。制作時の手順やヒントが示されており、学習の際の手がかりになる。 ○ 日本と西洋の美術作品を対比した鑑賞の作品を掲載して多面的に学習できるように配慮されている。 ○ 生徒作品に「作者の言葉」を添えて、共感や作品制作の意欲付けを図れる工夫が見られる。技法の解説も写真や絵で掲載し、分かりやすく、自主的な活動ができるように工夫してある。 ○ 一つの題材に幅広い表現方法を提示して、多種多様な材料や用具の活用にも配慮している。また生徒の思いや多様な表現に対応できるよう工夫されている。 ○ 日本の伝統的な美術作品のよさや価値を理解しやすく解説してある。西洋と日本の美術作品の対比や日本の浮世絵が西洋の美術作品に影響を与えた経緯も詳しく解説してあり、総合的な学習にも関連した配慮が見られる。 ○ 知識・技能の習得を助ける資料ページが充実しており、学習を深めたい生徒やつまづいた生徒の手がかりとなるよう工夫してある。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解説文は平易な文体で、生徒の発達段階を踏まえている。カラーユニバーサルデザインの認証を得ており、個人の色覚にも対応しており、見やすい色彩構成である。 ○ タイトル文字はゴシック体で大きく見やすく表記してあり、題材に親しみが持てる。図版にも番号が振ってあり、生徒を図版に注目させやすい。解説等の文章には中学校以上で習う漢字にふりがなをつける総ルビになっており、多様な生徒に対応している。生徒が興味・関心を持って取り組みやすい作品を中心に掲載している。 ○ 原寸ギャラリーのページを設けて、実際の作品の大きさを感じながら学べるように工夫してあり、レイアウトや作品のバランスが適切である。 ○ 表装はとても堅牢で丈夫である。印刷も反射を抑えて見やすく、環境に配慮したインキを用いている。 ○ 作品の色彩が鮮やかに印刷されている。 						

種 目	美術	発行 番号 の・ 略称	38.	教科記 書の・ 番号	美術 702 美術 802	書 名	美術1 美術2・3
			光村				
1	内容に 関する こと						
2	組織と 関係す ること						
3	学習と 関係す ること						
4	表現と 関係す ること						

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 技 術

⑦ 技術・家庭科（技術分野）

調査結果

3社の教科書ともに学習指導要領のねらいを踏まえて、技術の見方・考え方が身につく内容になっている。生活や社会と技術との関わりを理解、課題を解決する力の育成、実践的・体験的な学習を通じた知識や技術の習得、技術の適切な活用と評価などの内容について系統的な配列となっている。また、難易度や材料等が異なる豊富な実習題材例が取り上げられており、生徒の発達段階、学校や地域の実態、指導計画などに合わせて指導の工夫改善ができるよう配慮されている。

各領域の内容については、3社ともに問題解決の基本となる問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作・制作・育成、評価、改善・修正という一連のプロセスを統一的に示している。各領域を通じて問題解決を主体的に進めていく能力を育成できるよう配列されている。また、教科書全体を通じて、随所に大きく鮮明な写真、イラストや図表を掲載することで、生徒の学習への意欲の喚起や内容の理解、課題解決の手がかりとなるように工夫されている。

3社とも、小学校や他教科との関連を示し、学習の連携が取れるように配慮されている。さらに、実習や実験、保守点検における安全や衛生のポイント、環境や防災、伝統文化、情報モラル等との関連についてもマークで示され、横断的に学習を深められるよう工夫されている。また、授業をサポートするデジタル教科書にも対応し、無償のデジタルコンテンツが準備され、授業で活用できるよう工夫されている。なお、1社はARアプリによるコンテンツ、2社はQRコードを用いたデジタル資料を公開しており、タブレットPC等のICT機器を用いた学習にも対応している。さらに、1社は基礎技能をまとめた別冊のハンドブックが付属している。

書体は全てユニバーサルデザイン書体を使用し、配色やデザイン、学習を進める際のレイアウトに配慮がなされている。また、3社とも植物油インキが使用され、うち2社は再生紙が使用され、化学物質に過敏な生徒や環境保全にも配慮してある。

選定順位は、

第1位 開隆堂、第2位 教育図書、第3位 東京書籍といたしました。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 技術・家庭科 (技術分野)

順位	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な実習例を掲載している。実践的・体験的な学習活動が設定され、教科の目標を的確に踏まえている。 ・巻末資料やQRコンテンツで手厚くフォローしているため、問題解決に取り組みながらも、無理なくプログラムミングについて理解を深めることができるよう工夫されている。 ・活字の大きさは見やすく、基礎的・基本的な事項から発展的な事項まで色彩が目によしく、印刷も鮮明である。また、カラーユニバーサルデザインに配慮し、生徒に見やすいものになっている。 ・実習で使用する工具・道具や材料は、特殊なものを使用せず、プログラミング言語についてもQRコードを示し、無償でダウンロードできるように配慮されている。
第2位	6	教育図書	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されており、目に優しい色遣いで、写真や図が分かりやすい構成となっており、印刷も鮮明である。
第3位	2	東京書籍	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	<ul style="list-style-type: none"> ・各編が技術の見方・考え方のつながりを意識したストーリー性のある授業展開を考慮した内容となっており、技術の原理・仕組みといった知識の習得から問題解決、発展という配列となっている。また、具体的な問題解決のプロセス、問題解決の過程ごとに「問題解決カード」が示され、主体的に問題解決的な学習を進められるよう配慮されている。

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 番 号 の 略 称	6.	教 科 記 号 の 番 号	技術 702	書 名	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
			教 図		技術 703		New 技術・家庭 技術分野 明日を創造するハンドブック
1	内容に 関すること						<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの内容とも写真や製作題材が例示されており、教科の目標を的確に捉えている。 ○ 実習題材のページに実際に製作できる題材例や作業手順が数多く掲載されており、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。 ○ 設計・計画の流れを各編で共通の4ステップでまとめてあり、生徒が問題解決の力を養えるように配慮されている。 ○ 生徒が生活の中で活用できると思える実験や実習例が掲載してあり、「作りながら学べる」充実した内容となっている。 ○ 作業手順や工具の使い方について、写真や資料を多く用いて示し、生徒が主体的に問題解決的な学習を進められるよう配慮されている。
2	組織と 配列に 関すること						<ul style="list-style-type: none"> ○ 1章から3章までを通して、学習指導要領で示された資質・能力を育む構成となっており、製作や実習等の実践的・体験的な学習活動が示されている。3章は、社会の技術を「評価」して自ら工夫・創造する内容であり、学びを深め生かす内容となっている。 ○ 基礎的・基本的な事項が「学ぶ」「基礎技能」に明確に示されている。さらに発展的な学習題材を掲載して、発展的な学習にも対応できる配列である。 ○ 編の構成が各章で統一され、学習指導要領の(1)(2)(3)に対応することで、指導と評価を一体化させやすいように配慮されている。 ○ 本文にユニバーサルフォントを使用し、イラスト・写真・図表などが適切であり学習内容に密着している。手順が分かりやすく丁寧に示されており、大きく見やすいレイアウトである。
3	学習と 指導に 関すること						<ul style="list-style-type: none"> ○ 「技能チェック」の項目が示されており、生徒が自分自身で自己評価し、課題を解決できるよう工夫されている。また、「安全」や「防災」等の表記があり防災教育への関心が持てるよう配慮されている。 ○ 「見つける」「見つめる」「学ぶ」「振り返る」が設定されており、指導内容の明確化と観点別の評価の一体化について配慮されている。また、各編末に「まとめ問題」が掲載されており、3観点別の評価ができるように構成されている。 ○ 専門用語等について注釈で示し、学習の進行を助けるよう配慮されている。 ○ 実習題材の作業手順が丁寧に示してあり、教科書通りに作業を進めることで、学習内容をとらえた実習ができるように配慮されている。 ○ 実習で使用する工具・道具や材料は、特殊なものは使用せず、プログラミング言語についてもQRコードを示し、無償でダウンロードできるよう配慮されている。
4	表現と 体裁等 に 関すること						<ul style="list-style-type: none"> ○ 重要語句は青色太字で表記されている他、文章も簡潔に表現されており、漢字にルビがふられている等の発達段階を踏まえた配慮が見られる。 ○ ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されており、目に優しい色遣いで、写真や図が分かりやすい構成となっており、印刷も鮮明である。 ○ ページの各要素への視線の移動がスムーズになるよう紙面に適度な余白があり、写真やイラストが過密にならないよう配慮されている。 ○ 製本は3年間の使用に耐えられる丈夫なつくりである。また、表紙には防水加工がされており、汚れにくい。本文用紙には、植物性インキを使用し、環境に配慮したつくりである。 ○ 別冊資料として基礎技能をまとめた「技術ハンドブック」が付属しており、補助的な資料集として使用できる。実習作業を考慮して防水加工が施されている。

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行 番号 の 略 称	2	教科 記号 の 番 号	技術701	書 名	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの内容とも、技術の見方・考え方を働かせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、将来にわたって必要な問題解決能力が培われるよう示されている。 ○ 各編、各章・節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。 ○ 社会で活躍する技術者の問題解決の工夫や技術に対する思いを掲載し、ものづくりにおける責任感や倫理観、工夫・創造することの大切さを伝えるとともに、社会と学習とのつながりを意識できる内容となっており、キャリア教育にも活用できる。 ○ 学習を深めるための資料が充実しており、最新技術の特集が多数掲載されている。また、持続可能な社会の構築のために、技術を評価し、選択、管理・運用する力、技術を改良・応用する力について指導・学習できるよう示されている。 ○ 難易度や材料等が異なる豊富な実習題材例が取り上げられており、生徒の発達段階、学校や地域の実態などによって選択し、指導の工夫改善ができる内容となっている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書全体が学習指導要領に沿った配列で構成されており、生活や社会と技術との関わり方の理解、実践的・体験的な学習を通して問題解決できる資質・能力を育成できる系統的な配列となっている。 ○ 各編が技術の見方・考え方のつながりを意識したストーリー性のある授業展開を考慮した内容となっており、技術の原理・仕組みといった知識の習得から問題解決、発展という配列となっている。また、具体的な問題解決のプロセス、問題解決の過程ごとに「問題解決カード」が示され、主体的に問題解決的な学習を進められるよう配慮されている。 ○ 各内容の分量は、時数、学期、学年配分などから見て偏りがなく、座学と実習のバランスを考慮しながら学校の実態や生徒の個性に応じて、見方・考え方を働かせて施行し、深い学びができるよう工夫されている。 ○ 本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成である。指導計画等に応じて活用できるよう、図表の資料が充実している。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的、体験的な学習を通して、生徒の学習意欲を引き出し、習得した基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決する力を育むように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な学習内容は漏れなく押さえられていて、その他の豊富な資料や問題解決例は本文ページと明確に区別し、かつ選択性を持たせるよう工夫されている。 ○ 編の導入では「この編で学ぶこと」、各節の冒頭には「目標」という学習目標がはっきりと示し、見通しを持って学習を進めることができるように工夫されている。 ○ 問題解決例は、様々な題材を取り上げ、生徒や学校の実態に応じて選択できるよう配慮されている。 ○ 実習や実験、保守点検における安全や衛生のポイントが示され、安全・安心な実習が行えるようにしている。 ○ さまざまな思考ツールを取り上げ、生徒が主体的に学習活動に取り組めるように配慮されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストや写真、レイアウトを楽しい紙面になる工夫されている。大きく鮮明な写真や図版を多数掲載し、生徒の学習への意欲を喚起するように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な学習とその他と資料や実習例の内容をしっかりと区別し、見やすい構成にしている。大きく鮮明な写真や図表を多数掲載し、生徒の学習への意欲を喚起するよう配慮されている。 ○ 本文・イラスト・写真・図表等配分は適切で、かつ関連を持たせるように工夫されている。また、文字の書体や大きさ、行間は読みやすさに配慮されており、ふり仮名は丸ゴシックを用いて余も読みやすいように工夫されている。 ○ レイアウトは「目標」「始めの活動」「まどめに活動」などを、全ページ見開き同じ位置で配置してあり、生徒が混乱しないよう、見やすい工夫がされている。キャラクターのせりふはすべて文節で改行し、読みやすさに配慮されている。 ○ 書体は全てユニバーサルデザイン書体を使用し、また、配色やデザイン、読み進める際のレイアウトが配慮されている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 番 号 の 略 称	9	教 科 記 号 の 番 号	技術 704	書 名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望を載せて
			開隆堂				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を図る内容となっている。 ○ 身近な題材を取り上げ、生徒の生活と関連させる内容となっている。また、学習の流れを主題材で見通し、作業方法が分かるように示されている。 ○ 実習の流れを明確にするとともに、生徒に考えさせるためのヒントが随所にちりばめられているため、問題解決能力を高める工夫がされている。 ○ 技術の「見方・考え方」を身につけながら、その活用方法について考えることを通して、技術と将来にわたってかかわり続け、社会に対応するための態度が身に付くように配慮されている。 ○ 多種多様な実習例を掲載している。実践的・体験的な学習活動が設定され、教科の目標を的確に踏まえている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な事項を習得する上で適切な内容に精選され、学習内容を深める小題材などが示されている。 ○ 生徒の実態に即した内容や活動が準備されており、授業時数や多様な指導計画に柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 内容は全体として系統的・発展的に組織されており、分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに対応できるよう考慮されている。 ○ 基礎・基本から発展への流れが明確になっており、「導入」「基礎学習」「展開」「まとめ・評価」の順で多様な指導に弾力的に適應できるように工夫されている。学習内容の精選と重点化の中で社会的な課題も学習できるように工夫されている。 ○ 学習のまとめごとに「振り返り」が設定され、各内容の終わりには「学習を振り返ろう」が設定されていて、文章によって表現できるようになっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な生活から課題を提示し、問題を解決する学習活動ができるように配慮されている。 ○ 基礎・基本、発展、探究的な事柄が掲載されとり、生徒の個性・能力に応じて題材を選択できるよう工夫されている。 ○ 理解を助けるQRコードが掲載されており、教科書の内容と関連するコンテンツをWEBページ上で数多く提供し、学びが深まるように工夫されている。 ○ 制作の目的や問題解決の視点、プログラミングの例などを掲載しているため、見通しをもって双方向性のあるコンテンツのプログラミングに取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 巻末資料やQRコンテンツで手厚くフォローしているため、問題解決に取り組みながらも、無理なくプログラミングについて理解を深めることができるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容とも、基礎的・基本的な事項を習得できるように、要点を押さえて系統的かつ詳しく丁寧に記述されている。 ○ レイアウトは、見開きを有効に活用しており、本文および参考などの資料との区別も明確である。 ○ 各ページの下部に豆知識が設けられていて、生徒が興味関心を持ちながら知識を習得できる。 ○ 活字の大きさは見やすく、基礎的・基本的な事項から発展的な事項まで色彩が目優しく、印刷も鮮明である。また、カラーユニバーサルデザインに配慮し、生徒に見やすいものになっている。 ○ 全頁カラー印刷で、美しく印刷されている。用紙は写真や色彩の再現がよいものが採用されている。 ○ 単語が途中で改行されないようにすることで、単語を認識しやすく工夫されている。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 家庭

2. 中学校 教科 家庭科

3社ともに学習指導要領のねらいを踏まえて、3つの領域「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」に共通する生活の自立と共生に必要な基礎的・基本的な知識および技術の習得を中心に目標が明示され、それを実現できるような豊富な導入課題、まとめ、発展などが配置されています。小学校で学習したことを基礎とし、3つの領域で問題意識をもって、よりよい生活ができるように、実習例や課題などが工夫されており、生徒の興味・関心や地域や学校の実態、指導計画などを踏まえた指導の工夫改善ができるよう配慮されています。さらに、学習した知識と技術などを活用し、これからの生活を展望する能力と実践的な態度を育む必要性から「生活の課題と実践」に関する事項が、進め方とともに実践例が領域別にまとめて示されています。

すべての領域で、防災や環境教育、持続可能な社会の実現（SDGs）に関連性をもたせ、課題をもって取り組めるよう工夫されています。さらに、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」（アクティブラーニング）の視点で、学習に取り組むことで考えを深めることができる構成になっています。また、日本の伝統的な食文化である和食が無形文化遺産に登録されたこともあり、地域の食材や郷土料理が豊富に盛り込まれています。

表現や体裁については、写真や図、イラストなどを適切に用いています。特に、QRコードを活用することによって、生活経験の少ない生徒に対応できるように、動画や資料で確認できるように工夫されています。

また、3社ともサイズがワイド版になっており、見開きのページに作業の手順が横並びに配列され、見通しをもって学習に取り組めるように、わかりやすく配置されています。また、文字や色、他の教科や領域との関連性が図れるように「マーク」などで示されています。文字は、ユニバーサルデザインを全ページに取り入れ、環境にやさしい用紙やインクを使用しています。

ただし、学習の流れが見やすく、分かりやすいレイアウトである。新設された内容については、活動例や実習例が丁寧に解説してある。家庭における基礎技能の定着が図れるようQRコードを掲載し、動画で確認できに工夫されている。

したがって、選定順位といたしましては、

第1位 東京書籍、第2位 教育図書、第3位 開隆堂といたしました。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 技術・家庭科 [家庭分野]

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	2 家庭 701	東京書籍	新しい技術・家庭 自立と共生を目指して 家庭分野	<p>○学習の流れが見やすく、分かりやすいレイアウトである。ユニバーサルデザインを使用した文字の書体やカラー、さらに図、写真、イラストなども分かりやすく実感を持って学べる資料が充実しているため、学習意欲を喚起させる構成になっている。</p> <p>○新設された内容も活動例や実習例でも取り上げ、丁寧に解説している。</p> <p>○生活経験の少ない生徒に対応できるように、家庭においても基礎技能の定着が図れるようQRコードを掲載し、動画で確認できるよう工夫している。</p> <p>○教科書サイズもAB版であり、見開き構成で学習の流れが分かりやすい。</p>
第2位	6 家庭 702	教育図書	New技術・家庭 くらしを創造する 家庭分野	<p>○生徒自身が身近な生活の中から問題を発見し解決できるような学習の例を多く示し、主体的に知識や技能が身に付けられるよう配慮されている。</p> <p>○QRコードが掲載されており、動画や参考資料を見ることができるよう工夫されている。</p> <p>○実習題材は、環境に関連性を持たせたものが多く、掲載されている。</p>
第3位	9 家庭 703	開隆堂	技術・家庭 生活の土台 自立と共生 家庭分野	<p>○実習や製作は横流れに沿ったレイアウトで、生徒が主体的に学べるような配慮がされている。</p> <p>○QRコードが掲載されており、基本的な切り方や縫い方などを動画で確認することができる。実習では</p>

種目	技術・家庭 (家庭分野)	発行番 号の・ 略称	2 東京書籍	教科記 書号の・ 番号	家庭 701	書 名	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された「目標」や「内容」を踏まえ、多様な実習例を多く取り上げ、学校や生徒の実態に応じた、実践的・体験的な活動が行えるよう工夫され、主体的に取り組めるように構成されている。 ○ 身近な内容を題材として扱い、生徒の興味・関心を高め、実践的・体験的な学習を通して知識や技能を習得し、生活に生かそうとする実践的態度を育てるよう工夫されている。 ○ 家庭分野のガイダンスを巻頭に設け、生徒が書き込めるページもあり、生徒が3年間見通しを持って取り組めるよう工夫されている。 ○ 各編の導入には、小学校での学習内容が示されており、学習の関連性を図ることができ、基礎的・基本的な学習内容を踏まえた発展的な学習内容が掲載され、内容を深められるように工夫されている。 ○ 食品成分表や資料・図表等は、新しいものを用いて適切に掲載されている。また、どの資料にも出所、出典が適切に明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの編は、「編の導入」「基本のページ」「学習のまとめ」の構成で系統的学習が進められるように配列されている。 ○ 各編と各節に「目標」が明示されており、課題意識を持って学習に取り組め、学習内容にもまとまりがある。 ○ 各編に「学習のまとめ」「生活に生かそう」を設け、基礎的・基本的な内容の定着から、発展的な学習が進められるように記述されている。 ○ 各内容は、各学校の年間指導計画に対応できるように、時数、学期、学年配分など、柔軟に題材を選択し作成できるように配慮してある。 ○ 地域性、学校の実態、他教科と関連付けた学習に合わせて学習を深める、広げることのできる題材例が豊富に掲載されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自ら身に付けた知識・技能を生活に生かすことができるように「生活に生かそう」「まとめよう」が掲載されている。生徒自身が主体的に課題解決に取り組む力が身に付くよう工夫されている。 ○ 課題に対して考えたり、まとめたりする際に、有効的な「思考ルーツ」を取り上げ、生徒が主体的、対話的な活動を通して学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 生徒の興味・関心に応じて、実習題材を選ぶことができるように、幅広い難易度の実習題材を掲載している。 ○ 「リンク」「他教科」「小学校」マークが付いているため、他の分野との関連が図れるよう工夫されている。 ○ 基礎技能について写真を多く取り入れ、ポイントを捉えて表示している。作業工程の手順を横並びに配列するなど、学習内容が見通しを持って学習できるように配置されている。デジタルコンテンツは、授業や家庭での実践で活用できるように工夫されている。 						
4 表現と体裁に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校以降で学習する常用漢字には、全て振り仮名が付され、専門的な用語についても、簡潔な表現で解説がある。 ○ イラストや写真、キャラクターを用いて、生徒に親近感を持たせる工夫がされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを使用し、文字や写真の配色やデザインに配慮されており、見やすい印刷になっている。 ○ 実物大写真や折り込みページ図版を多数掲載しており、生徒の興味・関心を高め、学習意欲を喚起する工夫がされている。 ○ 再生紙や植物油インキを使用しており、化学物質に過敏な生徒や環境に配慮されている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発 行 番 号 の 略 称	6 教育図書	教 科 記 書 号 の 番 号	家庭 702	書 名	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
1 内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、「生活の営みに係る見方・考え方」の観点を確認しながら、実践的・体験的な活動例が多数掲載され、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 身近な題材や内容を取り上げ、これまで学習した知識や技能を活用し、実生活の中で実践しようとする態度を育むよう工夫されている。 ○ 中学生の視点で考えられるように、各編の導入で「自立度チェック」や「思い出してみよう」等を掲載し、さらに生徒が興味・関心を高めながら主体的に取り組めるように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、実生活の課題について取り組めるように配列されている。 ○ 様々な視点から考えられるよう図表や実物大写真等の資料、イラストが豊富に示されており、資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容は、知識・技能を身につける「やってみよう」と、思考力・表現力などを養う「学びを生かそう」で構成されており、系統的に学習に取り組めるように配列されている。 ○ 編、節の始めに「めあて」が明示してあり、ふり返りは教科書に書き込めるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な知識や技能が身に付く内容と題材、さらに、実践的・体験的な活動を通して学ぶことのできる活動が取り上げられている。 ○ 各編と章、節の構成は、内容と分量は適切であり、各学校の実態に応じた年間指導計画の作成に対応できるように配慮されている。 ○ 豊富な実習題材と体験活動を取り上げ、地域や学校の実態に合わせて学習できるように配慮されている。 						
3 学習と指導に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つめる」「学ぶ」「振り返る」の流れを繰り返す構成になっており、基礎的・基本的な知識や技能の習得が身に付けられるよう工夫されている。 ○ 「考えてみよう」「話し合ってみよう」などのアクティブラーニング的要素が多数掲載されており、実践的・体験的な活動を通して学びを深めることができる。 ○ 「学習の振り返り」では、学習したことを自己評価し、課題を見つけ、興味・関心に応じて、さらに、課題解決していく手順や方法が示されている。 ○ 小学校での学習や他教科との関連性がわかるように「リンクマーク」が掲載されている。 ○ イラスト、写真、図を多く使用し、生徒が楽しく学習できる動機付けとなるように適切に配置されている。また、実習内容の動画などを参照できるようにQRコードが掲載されている。 						
4 表現と体裁に等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、文字の大きさや行間に余裕を持たせ、音読のしやすさを考慮した簡潔な文章で読みやすさに配慮している。 ○ 親しみを持てるようなイラストや写真、図を多く使用し、吹き出しは口語的な表現でフォントに変化を持たせるなど、生徒の興味・関心を引くよう工夫されている。 ○ 目に優しい色遣いとフォント、余白のバランスや図の見易さなどが工夫されている。 ○ 本文と他の資料の地の色を変え、資料等も適切に配置する等の工夫がある。また、重要語句は太字、青色で表記し、読みやすさ、分かりやすさにも配慮している。 ○ 製本は堅ろうであり、ユニバーサルデザインの考えに基づいて編集されている。また、環境に配慮し、再生紙、植物油インキを使用している。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発 行 番 号 の 略 称	9 開隆堂	教 科 記 書 号 の 番 号	家庭 703	書 名	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
1 内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の「目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」が明確に整理され、個に応じた学習指導が展開できる構成になっている。 ○ 「小学校での学び」で既習内容を確認し、「やってみよう」「話し合ってみよう」などの実践的・体験的学習を通して、基礎・基本の定着を図る内容になっている。 ○ 「生活の課題と実践」では、家庭や地域で実践できるように進め方やまとめ方が掲載されており、課題例も豊富で、課題設定と実践のイメージをもちやすいよう工夫されている。 ○ 学習のまとめごとに「ふり返り」「生活にいかそう」が設けてあり、学習の自己評価ができるよう工夫されている。 ○ 資料の出所、出典が明示され、写真や資料等も見やすい大きさと、バランスよく配置されている。 						
2 組織と配列に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容は、「導入」「基礎的・基本的な学習内容」「振り返り」「生活に生かす」と一連の流れで系統的に学習できる構成になっている。 ○ 各内容、項目ごとに「学習の目標」が示してあり、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 各内容、項目とも、基礎的・基本的な内容に加え、豊富な実習例や問題解決的な学習、発展的な学習へと系統的に学習を進められるように配列されている。 ○ 各内容は、各学校の実態に合わせて年間指導計画を作成、実践できるように配慮されている。 ○ 地域や学校の実態、指導計画に合わせて取り組める資料が掲載され、幅広く指導できる内容になっている。 						
3 学習と指導に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な学習態度の形成に向けて、習得した知識や技能などを実生活で活用するための多種多様な課題が掲載されている。 ○ 「話し合ってみよう」「考えてみよう」などでは、生徒同士で対話したり意見を交換したりすることによって、生徒自らの考えを広げて深められるように掲載されており、アクティブラーニングが随所で取り入れられている。 ○ 現代的な話題や課題などを取り上げ、生徒の多様な興味・関心に対応して学習に取り組めるように工夫がされている。 ○ 「小学校での学び」「リンク」「他教科」マークが付いており、関連が深い内容を「発展」させて扱うことができるよう示されている。 ○ 課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける、図表、写真、イラストが適切に配置されている。実習、製作のページにはQRコードが掲載されており、主体的に学習に取り組める工夫がされている。 						
4 表現と体裁に等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文では文節が途中で途切れないような分かち書きされており、生徒が読みやすく、特別支援への対応も配慮されている。また、「小学校での学び」として、小・中の連続がスムーズにいくよう既習内容を確認しやすくするなど工夫されている。 ○ 内容のまとめごとに色を変え、学習しているところが常に分かるように工夫されている。また、ページ右上には、学習内容に関連する写真、ページ下の「豆知識」には、小項目の学習内容に関連した情報を取り上げるなど、学習意欲が向上するよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインを使用し、読みやすい書体、大きさと、鮮明な印刷である。 ○ どのページにも、図・イラスト・写真が豊富に使用され、ポイントとなる部分が拡大され、生徒の視点に沿うように構成されている。特に、折り込み項の実物大の食材写真が鮮明で、食品の大きさや概量が見て分かるように工夫されている。 ○ 表紙は、撥水に強い加工が施され、環境に配慮した用紙とインクを使用している。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会
専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 保 体

中学校 保健体育

中学校保健体育については、令和3年度の新学習指導要領完全実施に向けて、合計4社の教科用図書を調査いたしました。

各社とも、新学習指導要領の主旨を踏まえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現を目指すことができるように生徒一人一人の多様な個性に幅広く対応し、主体的に学習に取り組むことができるような内容構成になっています。また、オリンピックやパラリンピック、スポーツ科学などの資料に加え、中学生の活動の様子を取り入れた写真も数多く掲載されるなど、生徒が興味・関心を持って意欲的に学習に取り組める工夫もされています。なお、各社ともに学習内容や資料に偏りはなく、出所、出展が明示されています。

組織と配列に関しては、学年毎組織的に配列されており、学習指導要領の標準時数内での構成で、各学校の実情に合わせて柔軟に対応できるような配慮がされています。各社ともに基礎的・基本的な内容の定着と発展的な学習が進められるように段階的な課題提示がなされています。

学習と指導に関しては、主体的・対話的で深い学びを目指し、従来の課題学習、ブレインストーミング、ロールプレイング、実験・実習などの活動に加え、1単位時間の中に話し合い活動が多く取り入れられるなどの工夫が見られます。さらにデジタルコンテンツサイトのQRコードやURLが掲載されており、ウェブサイトを活用して深い学びにつなげていることも特徴的です。

体育分野と保健分野に関連性を持たせ、健康なライフスタイルを確立できるように工夫されていることに加え、防災教育との関連を強く意識した教科書もあり、地域の特性を考慮し、どの地域、どの学校でも取り扱いやすい配慮がなされています。また、カリキュラムマネジメントの観点から他教科との関連も図れるよう工夫がなされ、各社の意図や工夫が感じられます。

表現や体裁については、重要事項が太字での表記に加え、常用漢字に振り仮名がふられているなど、生徒が読みやすい内容となっています。ユニバーサルデザインを考慮したフォントやマークの使用、誰もが見やすい色彩と色調、適切な大きさの資料や写真など、読みやすさ見やすさを重視しています。本文と資料のバランスもよく、レイアウトに統一感があり適切なものになっています。また、各社とも3年間の使用に耐えるための丈夫な表紙、配慮したインキや再生紙の使用など環境にも配慮しています。

以上のことから3社の保健体育用教科書を選定しました。選定順位としましては、

- 第1位 東京書籍 ねらいが明確で、4つのステップで見通しを持ち、主体的に学習を進めることができる工夫がなされ、資料も適切でより教科横断的な学習に適した作りになっている。
- 第2位 大修館書店 挿絵や図などの資料が豊富で見やすく掲載されており、興味・関心を持てる内容構成である。また、生徒一人一人の多様な個性や能力に幅広く対応できる配慮がなされている。
- 第3位 大日本図書 見開きページで、本文と資料の参照性に優れた紙面構成と対話的な学びになるような工夫、配慮がなされている。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 保健体育

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	2	東京書籍	新しい保健体育	ねらいが明確で、4つのステップで見通しを持ち、主体的に学習を進めることができ、また、主眼がなされた、資料も適切でより教科横断的な学習に適した作りになっている。
第2位	50	大修館書店	最新中学校保健体育	挿絵や図などの資料が豊富で見やすく掲載されており、興味・関心を持てる内容構成である。また、生徒一人一人の多様な個性や能力に幅広く対応できる配慮がなされている。
第3位	4	大日本図書	中学校保健体育	見開きページで、本文と資料の参照性に優れた紙面構成と対話的な学びになるような工夫、配慮がなされている。

種 目	保健体育	発 行 番 号 の 略 称	2 東京書籍	教 科 記 号 の 番 号	保体 701	書 名	新しい保健体育
1. 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育てることができるよう4つのステップで構成され、目標達成のための工夫がされている。 ○心身の健康の大切さを認識し、生涯にわたって健康なライフスタイルを確立する学習内容で今日的課題にも対応している。 ○学習意欲を高めるための豊富な読み物資料や巻末資料で個に応じた学習につなげ、発展的な学習ができるよう配慮されている。 ○内容が精選され、学習の流れが明確で見開きページが1時間の内容になっており、簡潔明瞭である。章末「学習のまとめ」で習得状況を確認でき、さらなる学びにつなげる「活用問題」で充実した学習ができるよう配慮がなされている。 ○学習内容に対する資料が適切に配置されており、巻末に出所・出典一覧を設け、学習効果が上がるような配慮がされている。 						
2. 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容が学年毎に保健編、体育編の順に組織的に配列されている。各章の扉には小学校、中学校、高校で学習することが明示されており、系統性のある指導ができるよう配慮されている。 ○各章のはじめに「学習すること」、1時間毎に「学習課題」が示されており、ねらいが明確で見通しを持って学習できるよう工夫されている。 ○各章末に知識の習得状況を確認できる「学習のまとめ」がある。知識を活用してより深く思考力・判断力・表現力を身に付けるための「広げる」活動が毎時間配置されている。 ○学習指導要領に示された標準時数内での構成で、単元によって配当時数に幅を持たせ、各校の実情に合わせて柔軟に対応できるように配慮されている。 ○学習内容に関する資料が適切に配置され、宮城県の事例が掲載されているため生徒の興味・関心を高め、自身の生活や地域と結びつけながら学習を進めることができるよう工夫されている。 						
3. 学 習 と 関 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○1時間の学習内容が見開きページになっており、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の学習の流れが明確で、生徒自らが学習する主体的学習態度を育成する配慮がなされている。 ○保健体育の学習方法として課題学習、ブレインストーミング、ディスカッション、実習・実験、ロールプレイングなど多彩な方法を用い、思考力・判断力・表現力を育成する学習展開が図れるよう工夫されている。 ○挿絵や写真での男子女子の表現などに固定的なイメージでの性の区別がされないよう男女比率や役割に偏りがないよう配慮がなされている。 ○各章の扉に道徳との関連が示されている。他教科と関連する箇所にはリンクマークが付けられ、また随所に教科書内リンクもあり、学びを広げていける工夫がされている。 ○巻頭口絵に教科書の使い方が掲載され、挿絵や図表、写真が学習内容に応じて適切に配置されている。学習内容に関する動画や他教科の教科書紙面を参照できるDマークコンテンツが設けてあり、QRコードとURLで直接アクセスできるよう工夫されている。 						
4. 表 現 と 関 体 裁 す る 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○中学以降に学習する常用漢字に全て振り仮名がふられてあり、本文は簡潔明瞭な表現で学年に応じて適切である。 ○挿絵は学習内容を的確に表現しており、親しみやすいもので口絵や巻末資料では今日的課題に関わる資料を数多く掲載し、魅力が感じられるよう配慮されている。 ○全ページカラー印刷で目に優しいつや消し用紙を使用し、本文は明朝体、重要語句はゴシック体に統一され、ユニバーサルデザインフォントで読みやすい。 ○図表の大きさ、写真が効果的に配置され、本文ページレイアウトが4ステップに統一されており、バランスよく学習の流れが分かりやすい。 ○3年間の使用に耐えられるよう丈夫な表紙に防水、強度加工が施され、植物油インキを使用している。針金を使わず開きやすく、再生用紙で環境にも配慮がなされている。 						

種 目	保健体育	発行 番号 の 略 称	4 大日本	教 科 記 号 の 番 号	保体 702	書 名	中学校保健体育
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示されている内容のすべてにおいて、理解と知識を適切に実践していくための資質や能力を育成できるよう内容構成に工夫がなされている。 ○心身の健康の大切さを認識させ、生涯にわたって健康なライフスタイルを構築できる学習内容になっている。 ○1時間の学習内容が見開きになっており、「ミニ知識」や内容に応じたトピックスを掲載するなど、生徒の興味が沸くような内容で学習意欲を喚起する工夫がなされている。 ○学習内容が明確に解説されており、内容の確実な習得が図られるよう配慮がされ、「話し合ってみよう」「活用して深めよう」など多様な学習活動を通して発展的学習が図られるよう工夫されている。 ○学習内容にあった適切な資料が多数掲載され、知識を深める資料の出所や出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○指導内容が学習指導要領に合わせて、学年毎、体育編、保健編の順番で系統的に配列されており、小中高で学習する内容も明示され系統性にも配慮されている。 ○各章、各単元のねらいが課題文形式で明確に示されており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○章末に「重要な言葉」を掲載し、基礎的・基本的事項の確実な定着を促すよう配慮され章末資料には発展的学びが進められるよう「学びに生かそう」が配置されている。 ○学習指導要領に示された標準時数内での内容となっており、各学校の年間指導計画に幅広く適合できるよう配慮されている。 ○学習内容が1単位時間毎にまとめられており、時期を問わずに指導でき、内容に関連深い読み物資料も掲載され、生活や地域に結びつけることができる工夫がされている。 						
3 学 習 と 関 指 導 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きページで、本文が左ページに簡潔にまとめられ、右ページに関連する資料が配置してあり、本文と資料の参照性が高い。「話し合ってみよう」が1時間毎に設けてあり対話的な学びになるよう配慮されている。 ○章末にまとめ問題として、ウェブサイトアクセスして深い学びができる工夫がされている。 ○「他教科」と関連するリンクマークを用い、環境や安全、食育、生命の尊重と言った今日的課題において、他教科や地域家庭とつながり、広がりのある学習ができるよう工夫されている。 ○巻頭に学習の手引きが配置され、様々な挿絵、図表、写真等を内容に応じて適切に配置している。 ○「中学校保健体育WEB」のウェブページのQRコードから動画や資料を使った補充、発展的な学習ができるよう配慮してある。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生～3年生まで読みやすいよう振り仮名を付け、難しい用語にはそのページ内に脚注が入るよう配慮がなされている。 ○アスリートやオリンピック・パラリンピックの関連記事や写真を豊富に掲載し、挿絵にも柔らかな親しみやすい印象がもてるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインフォントを用い、読みやすい工夫がされている。重要語句は太字にしてあり、色彩も鮮明で見やすい工夫がなされている。 ○読みやすい位置での文節改行で読みやすい。学習内容と資料とのレイアウトが統一されていてバランスよく配置されているため見やすい紙面になっている。 ○表紙が丈夫な素材で作られていて汚れにくい加工が施され3年間の使用に耐えられる。化学物質に敏感な生徒に配慮して植物油インキを使用し、用紙も環境に配慮したものを使用している。 						

種 目	保健体育	発 行 番 号 の 略 称	50	教 科 記 書 号 の 番 号	保体703	書 名	最新中学校保健体育
			大修館				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な写真や図が用いられており、生徒が様々な角度から体育・保健に関して見方、考え方を働かせることができる。生徒自らが課題を発見し、合理的な解決の方法を考えられる構成となっており、教科の目標達成のために工夫されている。 ○健康なライフスタイルを確立するために、自らの生活との関連を考えられる内容がどの單元においても盛り込まれており、県教育委員会の「学校教育の方針と重点」に沿っている。 ○今日的課題や自己の課題を確認できる資料が多く掲載され、またオリンピックなどスポーツの魅力伝える資料を活用することができ、学習意欲を高められる内容である。 ○学習内容がよく精選され、1単位時間が「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という順番で構成され、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○各単元で本文の記述を裏付ける豊富な資料が掲載されており、資料の出典一覧がページ毎にわかりやすく明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○体育理論、保健の順番で掲載されている。学習指導要領に示された記載順に沿って、学年別に構成されており、学習効果が上がるような配慮がされている。 ○見開き2ページを1単位時間で学習する構成になっており、単元毎にねらいがはっきりと明確化されており、学習内容もまとまったものになっている。 ○本文の内容に資料との関連を示すマークがあり、資料やコラムを活用して知識を広げられるように工夫されている。さらに、「学習のまとめ」や「クローズアップ」で発展的な学習に結びつけられるように配慮がなされている。 ○重要事項が資料によくまとめられており、学習しやすい内容となっている。学習指導要領で示された標準時数内で指導できる構成であり、各校の指導計画にも幅広く対応できるように配慮されている。 ○生徒の生活に即した学習内容となっており、地域に生きる一人の人間として自分にできることを自覚し、主体的に考えることができるように工夫されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の学習のまとめにおいて「話し合い」「確認」「生かす」活動を行ったり、実習を通したりすることで思考力・判断力・表現力の育成及び主体的な学習態度の形成が進められるように配慮されている。 ○主体的・対話的で深い学びを実践するために、自己の生活を振り返りながら、他者と話し合う学習が多く盛り込まれており、学習したことを実生活に生かすことができるように工夫されている。 ○スポーツへの多様な関わり方や健康の保持増進のための様々な課題が数多く取り上げられており、生徒の多様な個性や能力に幅広く対応できる内容になっている。 ○他教科との関連がすぐにわかるように関連箇所にはマークで示されている。 ○図や写真などの資料が本文と関連付けられて、大きく見えやすく掲載されており、適切に配置されている。また「WEB保体情報館」のQRコードを活用して、参考になる資料を閲覧することができる。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○本文と資料がバランスよく配置されており、見やすく色分けされて掲載され、生徒が理解、納得しやすいように表現されている。 ○有名なアスリートや中学生の活動の様子を写した写真などを多く掲載しており、生徒が親しみや魅力を感じるように配置されている。 ○タイトルや本文の字の大きさや太さが適切で見えやすく表現されている。またどの生徒にとっても見えやすいよう全体が色彩鮮やかになるように工夫されている。 ○図表や写真は生徒に見えやすいような大きさや色鮮やかなカラーで表現され、レイアウトやバランスも適切である。 ○ユニバーサルデザインフォントで表現され、環境に配慮した植物油インキを使用している。 						

種 目	保健体育	発行 番号 の 略 称	224 学 研	教科 記 書 の 番 号	保体704	書 名	中学保健体育
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたって健康を保持増進するために必要な基礎的・基本的な内容が重視され、豊かなスポーツライフを実現させる資質や能力を育成できるような内容となっている。 ○健康なライフスタイルを確立するために必要な知識を習得できるような資料が多く掲載されており、県教育委員会の「学校教育の方針と重点」に沿った内容になっている。 ○オリンピック、パラリンピック、スポーツ科学など魅力ある写真が掲載されており、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○授業1時間の流れが「目標」「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という順番で構成され、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○学習内容に沿った新しい資料が豊富に掲載されている。また資料の出所や出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 す 列 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○体育編、保健編の順番で構成され、小中高の系統性を意識した構成になっている。相互の関連が十分に図られ、学習効果が上がるように配慮されている。 ○各単元においてねらいがはっきりと明示され、自己の課題解決に向けた学習活動が適切に展開できる内容になっている。 ○基礎的・基本的な知識を習得するための本文と資料で構成され、「探求しようよ」で発展的な内容に結びつけられるような構成になっている。 ○学習すべき内容が簡潔でわかりやすく掲載されており、学習指導要領に示された授業時数内で指導できる内容構成であり、各学校の指導計画にも幅広く対応できる。 ○自然災害に関する単元に多くのページを要しており、東日本大震災を経験した宮城県などの地域の生徒にとっても幅広く対応できるよう工夫されている 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の内容に加え、各資料によって基礎的・基本的な知識の習得が図れる内容になっている。それらの知識を活用するために「考える・調べる」の場面で、思考力・判断力・表現力を育成することができる構成になっている。 ○各単元のまとめで、習得した知識を深める活動が盛り込まれており、さらに「もっと広げる深める」のページを活用することで深い学びを実践する工夫がされている。 ○能力の向上のみならず、様々な角度からスポーツの楽しみを感じることができる内容になっており、生徒の多様な興味・関心や能力に対応できる内容になっている。 ○話し合い活動を行う場面が多く取り入れられており、道徳教育等との関連も図りながら学習を行えるような工夫がなされている。 ○情報サプリの紹介やウェブサイトのQRコードを配置し、関連する資料を閲覧できるような配慮がなされ、多様に準備されたマークを活用しながら学習が進められるような工夫がなされている。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○本文は生徒が理解しやすい、平易な文章で表現されている。また振り仮名をつけるなど生徒が読みやすく理解しやすいような文章になるように配慮されている。 ○スポーツの分野で活躍する人物を多く紹介することによって、スポーツへの興味・関心が湧き、親しみや魅力を感じることができるような配慮がなされている。 ○重要語句がゴシック体で太く、力強く表現され見やすい。写真や絵も鮮やかで生徒が理解しやすい配慮がされている。 ○豊富な情報量の中から生徒にとって必要な資料が端的にまとめられている。本文と資料もバランスよく配置され見やすい工夫がなされている。 ○環境に配慮した紙、インキ、印刷方法を使用して作られた教科書で、カラーユニバーサルデザインに配慮して作製されている。 						

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 英語

<中学校英語>

本英語部会では3名で6社から提案された令和3年度実施学習指導要領に準ずる教科用図書について、教科用図書採択基準に基づいて調査いたしました。

内容に関することでは、学習指導要領に示されている外国語の目標達成に向け、各社来年度より改訂される4技能5領域が適切に配置され、コミュニケーションを図る資質・能力を高める内容になっております。

何ができるようになるか各社ともCAN-DOリストとして一覧表を巻末に掲載したり、全学年のCAN-DOリストを掲載したりするなど、県教育委員会が示す方針に合致しており、生徒が自分の学びを確認できるように工夫されております。

題材は、学校生活や日本文化、宮城出身の人物や英語圏のみならず、世界各国各地域にわたり幅広く取り上げております。SDGsの各分野について考えさせる題材も含まれており、生徒の知識・見識を広げ深め学習意欲を高め、学習の充実を図れるよう工夫されております。

題材配列に関しては、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、新出表現を活用した反復学習が充実しており、単元の最後には学習した表現を含む4技能5領域を駆使した言語活動が設定されております。

学習指導に関しては、QRコードを設定し音声や動画をICT端末で各自がダウンロードし、生徒一人一人が主体的に学習を進められる工夫が見られます。また職場体験学習や防災訓練など他教科領域と連携を図ることができる題材も配置され生徒の多様性に対応できるようになっていたり、他教科で学んだことを、英語を用いて学ぶCLILを取り入れたり工夫が見られます。さらに、複数の単元のまとまり毎に、文法事項を振り返ったり、辞書の引き方や単語の学習方法など学習の手引きとして示したり、生徒の基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得につながっています。

表現と体裁については、各社ともカラフルなデザインやイラストを採用しており生徒が親しみを感じるように配慮されています。使われている文字は手書き風の文字を使用したり、英語の4線ノートの線の幅を広げたりするなど、小学校との連携を意識した作りとなっており、抵抗なく学習が進められる工夫がみられました。また各社ともユニバーサルデザインを採用しており個々の生徒に対応しています。教科書の大きさは1社がA版サイズで、他の5社がB版サイズであり、書き込みスペースを設けるなどの工夫が見られます。紙質製本等は再生紙を用い植物油インキを使用するなど全社堅牢な作りとなっており、環境への配慮も伺えます。

以上の調査を踏まえ、本英語部会では東京書籍出版の英語教科用図書を選定いたしました。選定順位は次の通りです。

- | | | | |
|-----|------|-------------|---|
| 第1位 | 東京書籍 | New Horizon | ○段階を踏んだ新出表現習得構成になっており、4技能5領域をスモールステップで無理なく習得することができる構成されている。 |
| 第2位 | 光村図書 | Here We Go! | ○Partごとにバランスよく4技能5領域を扱った学習活動が示されており、UnitのGoalを目指して活動できるような工夫がされている。 |
| 第3位 | 三省堂 | New Crown | ○各パートにPOINTとして扱う新しい表現が明記されており分かりやすい。付随したDrillの絵も多く基礎的・基本的な内容の定着が図られている。 |

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 英語

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	2	東京書籍	NEW HORIZON English Course	<ul style="list-style-type: none"> ○段階を踏んだ新出表現習得構成になっており、4技能5領域をスモールステップで無理なく習得することができ構成である。 ○身近な話題について自己表現ができる仕組みがあり、学習の動機付けや主体的・対話的で深い学びへとつながっている。 ○QRコードやデジタルコンテンツが充実している。 ○Partごとにバランスよく4技能5領域を扱った学習活動が示されており、UnitのGoalを目標として活動できるような工夫がされている。 ○音声・映像を視聴することができQRコードや英語学習のポイントYour Coachが英語学習への一助となっている。
第2位	38	光村図書	Here We Go! ENGLISH COURSE	<ul style="list-style-type: none"> ○各パートにPOINTとして扱う新しい表現が明記されており分かりやすい。付随したDrillの絵も多く基礎的・基本的な内容の定着が図られている。 ○QRコードが示されており、本文の音読を自分で行ったり、題材に関する動画を視聴したりすることもでき、主体的に学習できる。
第3位	15	三省堂	NEW CROWN English Series	

種 目	英 語	発 行 番 号 の 略 称	2 東 書	教 科 記 書 号 の 番 号	英語 7 0 1 8 0 1 9 0 1	書 名	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を通して「目的・場面・状況」が示され、4技能を用いて互いの気持ちや考えを伝えあう言語活動が設定されており、コミュニケーション能力・資質を高める工夫がされている。 ○ 教科書の巻頭に「学びのロードマップ」が各学年示されている。また、各Unitの始めにはUnitで何ができるようになるか「Goal」が示されており分かりやすい。 ○ 1年生は各パートStoryと表し会話为主体、2・3年生はSceneと表し会話とレポートが一緒に取り上げられ、発達段階に応じた配列になっている。 ○ 落語や日本伝統芸能や俳句から環境問題や平和などのSDGsを中心とした題材が幅広く配置されており、充実した学習が期待できる。 ○ 欧米だけでなく、アジア、アフリカ等、様々な国や地域の人々が紹介され、多様な文化を理解し尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。読み取りや聞き取りのための資料には、出所、出典が明記されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携を意識し、1年生にUnit[0]を設けている。内容は小学校の学習スタイルに合わせて音声から始まり、小学校の表現を用いて文法構造を押さえる効果的な構成になっている。各学年とも、巻頭で目標を確認し巻末で振り返る設定になっている。 ○ 全学年各Unitの目標がGOALとして示されており、分かりやすい構成になっている。また巻頭には該当学年のCAN-DOリストが示されており、学年全体を見通して内容を把握することができる。 ○ Practice, Mini Activity, Unit Activityと段階を踏んだ新出表現習得構成になっており、4技能5領域をスモールステップで無理なく表現を習得することができる。 ○ 英文の分量や語数が学年に応じて適切に配置され、各学校の年間指導計画において弾力的な運用ができるよう配慮されている。 ○ 災害時の内容を取り上げられている。本県においてはとても大切であり、生徒にとっても必要な学習内容が配列されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生において、小学校の表現を繰り返し用いるEasy Communicationが設けられ、繰り返し学習することで定着を図ることができるようになっている。また、各Unitの最後にはUnitで学習した表現を駆使して行う総合的な言語活動が設定されており、4技能5領域が総合的に高められるように工夫されている。 ○ 即興的なやり取りの力を育てるLet's Talkが設定されており、生徒はその場で自分の考えを発表するなど生徒の興味に応じた学習を工夫できるように配列されている。 ○ いくつかのまとまり毎にGrammar for Communicationが設定されており、文法事項をまとめて学習できるようになっている。また、QRコードやデジタルコンテンツも用意され生徒の多様性に対応している。 ○ 職場体験学習や防災訓練などと連携した題材が配置されており、カリキュラムマネジメントで他教科・領域と連携が可能である。また、他教科で学んだことを英語の視点で学ぶCLILを採用している。 ○ 豊富な写真やイラストが適切に配置され、英文や題材への理解の一助となるような工夫がされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生は、文字を書きやすいように第2線と第3線の間を少し広げている。小学校からの指導の継続がしやすくなっている。また、手書き風のフォントを使用しており見やすい。 ○ 3年間同じキャラクターを使用し、なじみやすい設定になっている。また、表紙の色使いがカラフルで生徒の興味を引きやすい。 ○ 本文に用いられている活字の字体については、1年生は手書き風のフォントを使用しており、説明のフォントは手書き風ではないため、違いが分かりやすく見やすい。 ○ 各ページにおける文量に対する図や表の割合は、文を読む際に図や表が煩わしく感じることなく、適切と考える。 ○ 再生紙、植物油インキを使用し、環境への配慮が見られる。また、製本も堅ろうな作りとなっている。 						

種 目	英 語	発 行 番 号 の 略 称	3 8	教 科 記 書 号 の 番 号	英語	書 名	Here we Go! 1 Here We Go! 2 Here We Go! 3
			光 村		7 0 5 8 0 5 9 0 5		
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各Unitにおいて、4技能5領域がバランスよく配置されている。また、生徒の実生活に即した場面や多様なものの見方を育む題材が数多く扱われている。 ○ 巻末にCan Do リストが示されており、繰り返し自己評価を行うことで、学習目標と到達度を確認することができるようになっている。 ○ 1学年のUnit3までは、漫画で読み進めるようになっており、読む負担を軽減する工夫がなされている。また、ストーリーが自分事に置き換えて読むことができる内容となっており、生徒の興味・関心を引き出すように工夫されている。 ○ Unitの始めに学習目標を確認し、PartやGoalで段階的に学習を進め、学期末に行うYou Can Do Itで思考力・判断力・表現力を総合的に活用できる仕組みになっており、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 日本の文化や異国の文化を取り上げ、広い視野を持たせながら、様々な文化や考え方に触れられるようになっている。出典は巻末に記されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Partごとにバランスよく4技能5領域を扱った学習活動が示され、UnitのGoalを目指して活動することで、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ Unitの始めに4領域の中で重点を置いているGoalが示されており、ねらいにそって学習できるようになっている。 ○ Unitごとの間に、Daily LifeやWorld Tourなどの小教材が設定されており、Unitで学習したことを活用して、発展学習につなげることができるようになっている。 ○ 1年生100時間、2学年108時間、3学年95時間と配当時間が設定されており、各学校の実態に応じて年間指導計画を柔軟に作成できるように配慮されている。 ○ 生徒の実態に応じて学ぶことができるよう、帯活動や小中接続期教材が効果的に扱われている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各Unitの内容を写真やイラストを使いながら自分の言葉で伝えるStory Retellingを配置し、「話す」表現力の育成が図られるように工夫されている。 ○ 生徒にとって記憶に残りやすいようなストーリーの内容にし、生徒の興味・関心を引き出している。また、QRコードにおいてアクセスできるコンテンツ（音声・映像）が多く、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。 ○ 英語学習を深めるYour Coachや読む力を育むLet's Read Moreなど、付録や巻末付録が充実しており、生徒の能力に広く対応できるように工夫されている。 ○ 異文化理解や安全・防災、人権・共生といった多岐にとんだ分野の題材が取り上げられており、他教科と関連付けられるようになっている。 ○ 紙面のコードを読み取り、Listen/Watchの音声・映像を視聴することができるQRコードやYour Coachで、英語学習のポイントが載せてあり、英語学習への一助となっている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年巻頭に設けられたLet's Be Friends!が充実しており小・中学校の円滑な連携が図られている。Unitに入ってから小・中学校での既習表現が繰り返し用いられているので定着に役立つ。 ○ 1学年のUnit3までは文字数が少なくマンガで表されているので、生徒の負担感が軽減でき、無理なく英語学習に入ることができるようになっている。 ○ カラーユニバーサルデザインに関して配慮しており、文字は鮮明で発達段階を考慮している。 ○ イラストや写真などを、バランスよくレイアウトしており、生徒が内容をイメージしやすいように工夫されている。 ○ 表紙カバーは厚くて丈夫である。環境に配慮した紙と、環境と健康にやさしい植物油インキで印刷されている。 						

種 目	英 語	発 行 番 号 の 略 称	1 5 三省堂	教 科 記 書 号 の 番 号	英語 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	NEW CROWN English Series 1 English Series 2 English Series 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の4技能(読む・聞く・話す・書く)が各Lessonに万遍なく配置されている。また、Lesson始めの「とびら」には、学ぶ内容が明示され、生徒がゴールと見通しを持ち主体的に学習が進められるように配慮されている。 ○ 教科書の巻末にCAN-DOリストが示されており、学年始め、終わりに一覧で確認することができるようになっており、生徒の学びの主体性を育むよう工夫されている。 ○ 1年生は日常生活や学校生活など身近な題材を扱い、2年生では日本及び日本以外の国々の文化について、3年生では社会問題や芸術スポーツなど無理なく幅広い題材が配置されている。 ○ それぞれのLessonで学んだことを生かして学習の充実と発展を目指すGet Plusが1年生では学期に1つ、2・3年生は年間6回、発達段階に応じた配置になっている。 ○ アジア諸国や、日本の伝統文化や現在芸術などを取り上げており、SDGsについて知識や考えを深めようとしている。出所、出典は巻末に記されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各LessonにGetとUseが設定されており、生徒が学び理解する内容と、活用する内容が分かりやすく配列され、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、主体的な学習態度の育成につながっている。 ○ Lessonの始めにはLesson全体を通しての質問が日本語で示されており、これから学ぶ内容を想像することができるように工夫されている。Lessonのまとめでは、バランスよく4技能5領域の活動が取り入れられている。 ○ 各パートにPOINTとして大きく、そのPARTで扱う新しい表現が明記されており分かりやすい。また、POINTに付随したDrillの絵も多く、基礎的・基本的な事項の定着が図られるようになっている。 ○ Get PlusやTake Actionは学期末や学年末に指導するなど比較的自由度がある。各学校の実情に合わせた年間指導計画を組み立てやすい。 ○ 1年生は自己紹介に始まり、友達、家族、自分の町を紹介する順になっており、広がりのある配列になっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードが示されており、本文の音読を自分で学んだり、題材に関する動画を視聴したりすることもでき、主体的に学習できるように工夫されている。 ○ 各学年にProject単元が設定されており、生徒が互いに、意見を交換しながら学習を進めていく興味深い構成になっている。 ○ 科学分野や芸術分野などSDGsを中心に多様な内容が配列されており、生徒の個性を引き出すことができる。 ○ 教科だけでなく、道徳の人命尊重について連携して取り扱うことができる題材を配列している。それ以外にも、各学年で教科領域と連携できる題材を配置している。 ○ 付録に辞書の引き方、単語の学習方法等があり、主体的に学習を進めることができるように工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生で用いられる文字は小文字指導にあわせて、第2線と第3線の間が広く、小学校からの連携が図られている。2、3年生はユニバーサルデザイン書体を用いている。 ○ 表紙は各学年異なった色、デザイン、近未来を思い出させるようなイメージで生徒の興味を引くようになっている。また、学習内容を理解する補助的な手がかりとなるイラストやマークも適切に用いられている。 ○ 活字の大きさは適切である。色彩は彩りが豊かである。 ○ 各Lessonの図や表は内容に関するものとなっており有効であると感じられる。 ○ 環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。表紙は丈夫で汚れにくいものとなっている。 						

種 目	英 語	発 行 番 号 の 略 称	9	教 科 記 書 号 の 番 号	英語	書 名	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
			開隆堂		7 2 8 8 2 8 9 2 8		
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各PROGRAMごと、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、4技能を総合的に身に付ける内容となっており、コミュニケーション能力の基礎を養う工夫がされている。 ○ 学期ごとの大目標と、それに向けての各PROGRAMの目標が明確に示されており、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 入門期には、小学校外国語活動との接続を意識したListeningやSpeakingの活動が豊富に取り入れられ、学年が進むにつれ「国際協力」「自然環境」「日本文化」「人権」等が取り上げられるなど、生徒の発達に応じた内容となっている。 ○ 身近な会話から、物語、時事的な読み物まで、バランスよく取り上げられ、学習内容の充実と発展を図るよう工夫されている。 ○ インド、韓国、トルコ等、幅広い地域が題材に取り上げられており、異文化や歴史的な関わりを知るとともに、国際貢献等について考えることができるよう配慮されている。また、落語や白川郷の「結い」を題材にして取り上げるなど、自国の文化や生活に改めて目を向けさせるよう工夫されている。出典は巻末に記されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本文の導入が本文の前に設定されている。その後、練習、本文での活用、自己表現という構成となっており、学習事項の確実な定着のための工夫がなされている。また、3年間を通して、基本文の配列が生徒にとって理解しやすいものになっている。 ○ My Projectという大目標に向け、各Programでの目標が明記され、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮されている。また、巻末の「できるようになったことリスト」では、自身の目標到達度を図ることができ、学習の振り返りに活用できる。 ○ My Projectでは、各Programで学習した内容を生かして、発展的な内容に取り組むような配列になっており、生徒が英文を構成する技能を身に付けながら表現力を高められるような工夫がなされている。 ○ 英文の分量や語数が学年に応じて適切に配置され、各学校の年間指導計画に幅広く対応できるよう配慮されている。また、入門時は小学校の外国語活動・英語との接続を意識した活動が多く取り入れられており、3年生では読み物教材の分量が高校への接続に対応できる量である。 ○ セヴァンスズキさん、マララさんのスピーチの他、宮城県出身の佐藤真海さんを取り上げる等、地域に関連した題材も取り上げられている。 						
3 学 習 と 関 指 導 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容の補足説明や自己チェック表、巻末資料が充実しており、主体的な学習態度の形成を図られるよう配慮されている。 ○ 有名人へのインタビューや食べ物のことなど、生徒にとって身近な話題が取り上げられており、読み物教材の内容も興味を喚起されるようなものが多い。 ○ Listen, Speak, Tryと段階を踏んだ学習ができるような内容になっており、生徒の能力や特性に広く対応できる。また、Power UpやExtensive Readingのページが設定され、発展的な内容にも対応できる。 ○ 職場体験や美術・社会で学習する「鳥獣戯画」を題材とする等、他教科との関連に配慮されている。 ○ 図表、写真などが効果的に配置され、題材への興味の喚起や読み物教材の読解の手掛かりとして効果的である。 						
4 表 現 と 関 体 裁 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生で使用されている文字はブロック体を主体とし、活字体が生徒の学習の負担にならないように配慮されている。 ○ 各学年の表紙にはテーマが設けられ、国際社会を意識したデザインとなっている。イラストやレイアウトが見やすく、書き込みをするページは、生徒が記入しやすいような用紙の幅となっている。 ○ 生徒がつまづきやすい英語の語順や単語の種類等が色分けして示され、視覚的に理解しやすいよう配慮されている。 ○ A・B版のワイドな紙面構成により、グラフ等の図表が見やすく示され、内容をイメージしやすいよう配慮されている。 ○ 環境に配慮した用紙やインクを使用している。生徒が記入しやすいような用紙の材質である。 						

種 目	英 語	発 行 番 号 の 略 称	6 1	教 科 記 書 号 の 番 号	英語	書 名	BLUE SKY English Course1 BLUE SKY English Course2 BLUE SKY English Course3
			啓 林		7 0 6 8 0 6 9 0 6		
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材内容に関する情報をNotesというコーナーで紹介しており、生徒は学習を進めながら様々な情報も得ることができ、学習意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 食文化、科学、歴史、環境などそれぞれの分野において関心を寄せる内容が取り上げられており、災害に備えてという本県においては重要な内容も取り上げており、学習の充実が期待できる。 ○ 巻末のCan-Doリストで、3年間で何ができるようになったか、生徒が自身の学習を振り返り、確認できるように工夫されている。 ○ 各Unitで4技能5領域を総合的に身に付けられるようになっており、コミュニケーション能力の資質向上に向け工夫されている。 ○ 巻頭に教科書に登場する国・地域が明記されており、世界各国各地域が偏りなく取り上げられている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の入門期に“Let’s Start”を配置し、小学校での外国語活動の内容を考慮し、音声を中心とした活動をしながら、文字に親しめるよう構成されている。 ○ 各UnitのとびらのページにUnitの目標が習得する文法事項とともに示されており、分かりやすくなっている。 ○ Get Ready→Practice→Useと段階を踏みながら新出表現の定着を図る構成になっており、生徒は無理なく学習できる。Read&Thinkでは、Unitのテーマに沿った新出表現を含む長文が扱われており、生徒の読解力を高める工夫がなされている。 ○ Let’s Talk, Let’s Read, Let’s Listenなど技能毎の学習ページが確立されており、各技能を集中して学ぶことができるよう工夫されている。 ○ 職場体験学習や立志式、防災訓練など学校生活に適應できる教材が各学年に配列されており、本県の実態にも適合している。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Targetで文法について詳しい解説がなされている。また、QRコンテンツで本文と新出語句が収録されており、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。 ○ 生徒が親しみやすい挿絵や写真が適切に配置されており、生徒が内容を読み取る際のヒントとなるよう工夫されている。 ○ Express Yourself では、3ステップでミニスピーチを作成できるようになっておりどの生徒でも取り組めるように配慮がなされている。 ○ 学期末の学習としてProjectが設けられており、複数のUnitで学習した文法事項を活用した4技能統合型の言語活動を通して、生徒の「思考力・判断力・表現力等」を養えるように工夫されている。 ○ 自然・動物との共存、反戦・平和、生命の尊さ、SDGs等、他教科等と連携を図った指導ができるように配慮された題材が盛り込まれている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年のはじめに小学校との接続ページが設けられ、小学校での既習事項を丁寧に復習することができるように工夫されている。 ○ 第1学年はユニバーサルデザインフォントを使用している。学年が進むにつれ、様々な字体を用いており、英文表記に慣れさせる配慮がされている。 ○ 登場人物に3年間を通して生徒と同年代のキャラクターが登場し、生徒が親しめるよう工夫されている。 ○ Unitの本文の状況や内容を示す写真やイラストが用いられ、生徒の興味・関心を高め読解をサポートするよう工夫されている。シンプルなデザインで学習のポイントや授業の流れを把握しやすい。 ○ 再生紙や植物油インキが使用され、環境やアレルギーに配慮されている。繰り返しの使用に対応できるよう製本も堅ろうである。 						

種 目	英語	発 行 番 号 の 略 称	1 7	教 科 記 書 号 の 番 号	英語	7 0 4 8 0 4 9 0 4	書 名	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3
			教 出					
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれのLesson及びPartに4技能が盛り込まれており、コミュニケーション能力・資質を高める工夫がされている。 ○ 1年間の学びのロードマップが各学年の教科書のはじめのページに記されており、ゴールを見据えた配置に工夫がある。また各学年の教科書には全学年のCAN-DOリストが掲載されており、卒業時にできることが確認できるようになっている。 ○ 1学年は学校生活や日常生活、日本の文化など、2学年では福祉、文化、3年生では環境問題などSDGsを意識した配置となっている。生徒にとっては無理なく意識を高めることができる配置になっている。 ○ Lesson毎にProjectやReadingが設けられており、学習した内容についてより充実、発展できるような配置になっている。 ○ 日本だけでなく、世界各地各地域の題材を取り上げている。しかし、出典は分かりやすく明示されていない。 							
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法表現とLessonの内容の関連が図れるように配置されている。しかし、1年生で一般動詞学習後過去形続いて現在進行形の配列は時制を理解する際に困難になることも考えられる。 ○ Lessonのはじめは英語で単元と貫く質問が明記されており、Lesson内の各PartにはPartごとのゴールが明記されており、生徒にとって分かりやすい構成になっている。 ○ 各PartにKey Sentencesが示されており、それを元にした練習課題が設定されており基本的な事項が定着できる配置となっている。 ○ 1学年は身近な題材を取り扱っている。しかし、Lessonの最後はゴミ問題となっており、当地区地域であれば、災害について扱ったりしてもよいのではないかと考える。 ○ 第1学年巻頭の「Springboard」では小・中の英語学習をスムーズに接続できるよう配慮されている。 							
3 学 習 と 関 指 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lessonを通した課題が設定されており、Lessonの最後には、学んだことを活用して自分で調べたり、考えたりしたことを伝える構成になっている。 ○ 日常生活や学校行事に密着した題材配列となっており、生徒の興味関心を引きやすい配置である。必ず伝えるPartがあり、生徒が自分の考えを発表しやすい配列である。 ○ SDGsを中心とした題材を取り上げている。そのために幅広い分野内容が盛り込まれており、生徒の持っている個性能力にあった題材が見つかると思われる。 ○ SDGsの内容が多いため、他教科や特に総合的な学習の時間の内容と関連づけやすい。しかし、教科書には具体的に他教科との関連は示されていないので指導者の工夫が一層必要である。 ○ QRコードで音声データや教育出版のウェブサイトアクセスでき、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。 							
4 表 現 と 関 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の入門期はフォントのポイントが他学年より大きめになっており見やすい。また、Goalに示してある日本語は短く端的に表現されている。 ○ 3年間学習を紹介する全学年共通のキャラクターがおり、親しみやすさを感じる。また教科書を3冊学年毎に並べると一つの絵になり生徒の興味関心を引く。 ○ 1年生前半では小学校の教科書で使用されている書体を使用されている。後半からは実社会で使用される割合が多いローマン体を使用されており、発達年齢に応じた配置となっている。 ○ ユニバーサルデザインの観点から配置された図や表が配置されている。また、新しいLessonは奇数ページより始まっており、扉を開く形式である。 ○ 大きさはBサイズ、植物油インキを使用している。 							

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

中学校 特別の教科 道徳

答申文

特別の教科 道徳
担当 船迫中 菅原

1 はじめに

昨日から二日間にわたり、中学校道徳3名の委員で中学校特別の教科道徳の調査研究を行いました。

これから、中学校特別の教科道徳の調査概要を報告いたします。

2 調査概要

特別の教科道徳について、計7社の教科用図書を調査いたしました。

各社とも、現行の教科書から改善を加えておりました。学習指導要領の改訂に鑑み、道徳教育の具現を目指した工夫がなされ、生徒が主体的に学んでいけるように発問を改善した内容になっております。

また、すべての教科書において、現代社会の大きな課題であるいじめ問題や情報モラルについての教材は生徒の目線に立って作成されており、指導の時宜を逃さないための配慮も見られました。

さらには、道徳ノートを付した教科書では、あえて記述欄を空欄にしたり、学期ごとに学習の記録、自己評価を残せるよう配慮したりと、指導する側が生徒の学習の様子や成果を計画的に記録し、成長の跡を累積できるようにできる配慮も見取れ、甲乙つけがたい印象をもっております。

3 選定順位

以上、三社の道徳教科用図書を選定しました。選定順位といたしましては、

- 第1位 東京書籍 道徳科の授業を体現するための工夫が施され、多面的・多角的な思考を持てるような題材を選定しており、生徒の目線をもって作成されている。
- 第2位 学研 それぞれの教材にステップが設けられ、生徒が主体的に考え、考えを交流しようと思える構成の工夫に優れる。
- 第3位 日本文教出版 教材における発問の意図が明確で、経験値の少ない教員も授業をしやすい文言となっている。

専門員調査報告

【選定順位】

中学校 種目 (教科) 特別の教科 道徳

	発行者番号	発行者	書名	選定理由
第1位	2	東書	新訂 新しい道徳1 新しい道徳2 新しい道徳3	道徳科の授業を体現するための構成がなされ、工夫が施されている。多面的・多角的な思考を持てるような題材を選定しており、授業者と生徒の目線をもって作成されている。
第2位	224	学研	新・中学生の道徳 明日への扉1 新・中学生の道徳 明日への扉2 新・中学生の道徳 明日への扉3	それぞれの教材にステップが設けられ、生徒が主体的に考え、考えを交流しようと思えるような構成になっている。生徒と授業者の立場に立って作成されており、全体の工夫が顕著である。
第3位	116	日文	中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート1 中学道徳 あすを生きる2 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート2 中学道徳 あすを生きる3 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート3	教材における発問の意図が明確で、経験値の少ない教員も授業しやすい文言となっている。また、道徳ノートの継続的活用によって、授業の記録や生徒の成長の跡を見取れるように配慮されている。

種 目	道徳	発 行 番 号 の 略 称	2	教 科 記 号 の 番 号	道徳 7 0 1	書 名	新訂 新しい道徳 1
			東書		8 0 1		新しい道徳 2
					9 0 1		新しい道徳 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるため、一つの事象について仲間と意見交換し、問題解決を図る教材が配置されている。 ○ 情報モラルやいじめなど現代的な課題に関する教材が、各学年の段階に応じて配置されている。 ○ 小中の連携を図った教材や、学年の発達の段階を考慮した教材を配置するなど、学年ごとに深まりのある内容になるように工夫されている。 ○ 各教材の冒頭に示されているテーマに基づいた設問が教材末に2問設定されている。また、「PLUS+」について考えることにより、価値観を深めることができる。 ○ 教材は、日常的な事柄から現代的な課題まで様々な内容が偏りなく掲載されており、生徒作文や漫画などジャンルも多種である。出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の発達段階を踏まえて教材が配置され、系統的に学べるよう配慮されている。 ○ 各教材冒頭にテーマが設定され、導入でテーマについて話し合う流れが作られているため、一つのテーマで教材を一貫して扱うことができる。 ○ 各学年で22の内容項目全てををれなく扱い、「いじめ」や「いのち」などの大切な項目はユニットを組むことで、集中して学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 各学年28テーマ、35教材を配置し、さらに付録に5教材があることで、補充・深化の役割が果たせるようになっている。学校や教室の実態に合わせて柔軟な指導ができるように配慮されている。 ○ 実際の行事の時期などを考慮して生徒作文を取り上げたり、全国の地域を扱った教材を配置したりすることで、生徒の生活や各地域の実態に即した内容になっている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングを「アクション」として配置して、体験的な学習を通して仲間と意見を交換し、問題解決を図ることができる教材が配置されている。また、各学年末に自己評価用紙が用意されており、自己を見つめられるようになっている。 ○ キャラクターが学習の流れを案内し、生徒が主体的に活動できるように工夫されている。「つぶやき」コーナーや書き込み欄を活用することで、話し合いの材料とすることができ、巻末の心情円やホワイトボードで考えを可視化することができる。 ○ 人間としての生き方についての考えを深め、他者を尊重する態度を養えるように、教材としてさまざまな人物を取り上げている。また、指導者用研究編DVDには、教科書紙面の総ルビ・分かち書きPDFファイルなどの支援ツールがある。 ○ 各教科等と関連する教材には、教科マークを教材冒頭の右下に配置している。教材によっては、デジタルコンテンツとして、関連する他教科の教科書紙面をPDFで確認することができる。 ○ 学習に関連する映像や他教科紙面、Webサイトなどの資料が、教科書裏表紙の二次元コードから見るることができる。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生にとって難しい表現は避けて、なるべく分かりやすい表現を用いている。 ○ 各学年で漫画教材を取り上げ、中学生にとって親しみやすい口語体の教材に触れられるように配慮されている。 ○ 活字は一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを採用している。また、全ページにわたって配色や色に関わる表現を点検し、色覚特性への配慮がなされている。 ○ 「感動・畏敬の念」を扱う教材は大きい写真を掲載し、身近な教材では親しみやすいイラストを載せるなど、生徒の興味・関心を高める工夫をしている。 ○ 製本は大きく紙面を開くことができる堅牢なあじろ綴じで、再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーに配慮している。 						

種 目	道徳	発 行 番 号 の 略 称	1 7	教 科 記 書 の 番 号	道徳 7 0 2	書 名	中学道徳 1 とびだそう未来へ
			教出		8 0 2		中学道徳 2 とびだそう未来へ
					9 0 2		中学道徳 3 とびだそう未来へ
1	内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心を引き出す教材，心揺さぶる教材，現代的な課題を考えていく教材，中学生の発達段階や環境を踏まえた身近な教材などを幅広く取り上げ，「特別の教科道徳」の目標達成のために内容が工夫されている。 ○ 「考えたい」「語り合いたい」を引き出す工夫が見られ，「考え・議論する道徳」を実現し，生徒が多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深められるようになっていく。 ○ 学校生活（行事・学級活動・部活動）や情報機器を通じた人との付き合い方に関わる場面を取り上げ，生徒に身近で興味関心もてるよう工夫されている。 ○ 内容が精選されており，学習指導要領の内容が過不足なく押さえられている。 ○ 4つの視点ごとに教材の色と絵柄を変え，内容項目を区別しやすくなっている。また学期ごとに偏りのないように，バランスよく教材が配置されている。各教材の出所，出典も明示されている。 					
2	組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生では自分自身に関すること（Aの視点）の教材の比重を大きくし，学年が上がるにつれて，人との関わり（Bの視点），集団や社会との関わり（Cの視点）を増やしていき，学習の効果があがるように配慮されている。 ○ 「特別の教科道徳」の目標を踏まえた教科書作成の意図が見取れる。教材のねらいが明確で，生徒も教員も見通しをもって学び，道徳的価値をしっかりとつかめるように構成を意図していることを見取れる。 ○ いじめや差別のない社会について深く考えるユニット，生命の尊さについて深く考えるユニットが各学年に配置されており，重点的に扱えるようになっていく。 ○ 各学年とも，本教材3.0本，補充教材5本の掲載である。学習指導要領に定められている内容は本教材で充足されており，必要に応じて地域教材などの多様な教材の活用が柔軟にできるようになっている。 ○ 生徒の発達段階や生活の実態，学校行事の時期などを考慮した配列になっている。 					
3	学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材に「導入」と「学びの道しるべ」が設けられており，道徳的諸価値に関わる問題意識を明確に捉え，自分自身に引きつけて考え，その理解を図れるように工夫されている。 ○ 教科書の巻頭詩や「道徳科で学びを深めるために」のページがあることで関心を高められるとともに，授業へのイメージをもちやすい内容となっている。 ○ 内容が把握しやすい短めの教材，見てわかる教材を多く掲載し，どの生徒にも「じっくり考える」「十分話し合う」時間がもてる工夫がされている。また，現代的な課題を考えていく教材（人権や性差，LGBT）も配置されており，多様な個性の理解につながる配列の工夫が見られる。 ○ 各教科や特別活動などの実施学年や学習時期を考慮した教材配列となっており，学校行事や他教科との関連が図りやすい構成である。 ○ 読み物だけでなく，挿絵，図表及び写真等が内容理解を促している。また，「まなびリンク」の印やQRコードなどが適切に配置されている。 					
4	表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は理解しやすい文体で書かれている。補足が必要な用語は，下部に説明が書かれており安心して読み進めることができる。 ○ 表紙を含め，教科書の全体的な色味が明るく，期待感を感じられる。また，フォントやカラーにユニバーサルデザインが取り入れられており見やすい。 ○ 小学校からのスムーズな接続を意識し，1学年では前半と後半でフォントのサイズを工夫している。また，行数にも数字が付されるなど読み取りやすい工夫がなされ，どの部分を話題にしているか理解しやすい。 ○ 写真や図の提示の仕方のバランスがよい。また，それぞれに意図が感じられ，題材の内容項目に迫りやすい工夫がされている。 ○ B5サイズで軽量である。紙質もよく，製本が堅牢であり手に取りやすい。 					

種 目	道徳	発 行 番 号 の 略 称	3 8	教 科 記 書 号 の 番 号	道徳 7 0 3	書 名	中学道徳 1 きみがいちばんひかるとき
			光村		8 0 3		9 0 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことをねらいとするための教材の配置、発問の工夫を見取れる。 ○ 多様な感じ方や考え方ができる主体的な言語活動が可能で、情報モラルやいじめ問題等、現代的な課題の扱いにも留意している。また、教材は31教材、付録は4教材であることから、本県としては「みやぎの先人集」を付録教材の代わりに扱うことも可能である。 ○ 発達段階に即した効果的な学びを可能とするように内容項目が3つのシーズンに分けて配置され、それぞれに学びのテーマを設定している。また学年間のつながりを意図して段階的に内容項目を扱うことで指導内容に発展性を持たせるなど配慮されている。 ○ 内容項目はそれぞれの学年において網羅されている。それぞれの教材末には「てびき」が設けられ、教材の読み取りに偏ることなく「考え、話し合う」活動を可能としている。 ○ 読み物資料だけではなく、視覚的に生徒の意欲を喚起できる絵本や漫画形式の教材、データと資料を複合的に扱う教材など多様な教材を位置づけている。出所や出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題や生命尊重の教材をユニットとして扱う等、テーマに合わせて教材をまとめており、系統性・連続性のある学習を可能としている。 ○ 「よりよく生きる」ための思考を伸長するため、教材末に「つなげよう」という質問を設け、学びが授業にとどまらず他教科や日常生活につながるよう配慮されている。 ○ 同じ内容項目を扱う教材は、生徒の発達段階に合わせて学年ごとに重きを変えた配当となっている。また「生命尊重」の重点項目を複数教材で扱う等、一連の学びが確かな学習経験となるように配置されている。 ○ 内容項目の配列を最終ページに一覧としてまとめている。教材数も1時間で扱いが可能な35教材となっており、各校で年間指導計画を作成する際に適合できる。 ○ 職場体験学習や修学旅行など、行事に関連した教材を配している。全学年の巻末付録に日本の伝統文化や先人の偉業が紹介されており、「みやぎの先人集」との関連を図れるとともに、学校独自の教育課程に合わせた教材の入れ替えを可能としている。 						
3 学 習 と 関 指 導 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年5か所に設けられているコラム「広げよう」は、教材と合わせて考えられる資料となっている。物事を一方向からではなく、多面的・多角的に考え、思考を深めることができるように配慮されている。 ○ 自我関与・問題解決的な学習・体験的な学習に配慮し、学校生活における生徒の実態に合わせた教材が配列されている。年間を通して、行事や生徒の成長に合わせて時宜をとらえようとする意図を感じる構成となっている。 ○ 文字の書体を始め、色使いやデザインなど、読みやすさ、理解しやすさに配慮されている。色を見分けづらい生徒を意図した色使い、中学校以上配当の常用漢字に振り仮名が付してある等、教材に円滑に思考を引き込むような工夫を見取ることができる。 ○ 教材末のてびき「つなげよう」を用いて他教科で学習する内容と関連を図り、関連図書を紹介したり、伝統文化や社会貢献、異文化理解などに視野を持たせたりと、広い視野で考えられる題材が配されている。 ○ 学習の手引き・挿絵・図表及び写真等を適切に配し、学習意欲を喚起できる工夫がされている。QRコードを用いたウェブページの閲覧も可能で、可視化・音声化することで思考を妨げない等、教師も生徒も教科書を扱いやすいよう配慮されている。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読みやすさを考慮し、熟語の混ぜ書きを極力避けている。文字の大きさも学年によって配慮されている。 ○ イラストや写真、漫画教材に印象的・抽象的な素材を用い、イメージの幅が広がるように表現されている。生徒が新鮮な驚きをもって引き込まれる工夫を施している。 ○ 文字の大きさ、書体、配置、写真や色使い等、支援が必要な生徒も理解しやすく魅力的に感じられるような、ユニバーサルデザインの理念に基づいたデザインである。 ○ イメージを広げる絵や写真を適所に配し、本文を解説するためのグラフや図表を必要な箇所に的確に付してある。 ○ 表紙はPPラミネート加工を施して折れにくく、製本は堅牢である。エコマーク認定の植物油インキで印刷され、環境に配慮した紙を使用している。 						

種 目	道徳	発 行 番 号 の 略 称	116	教 科 記 書 号 の 番 号	道徳 704 705 804 805 904 905	書 名	中学道徳 あすを生きる1 中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2 中学道徳 あすを生きる2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3 中学道徳 あすを生きる3 道徳ノート
			日文				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領で育成が目標されている資質・能力の「三つの柱」を踏まえ、生徒の心身の発達や段階・特性を配慮して指導できるように構成が工夫されている。 ○ 主体的な言語活動が可能で、情報モラルやいじめ問題等、現代的な課題の扱いにも留意されている。また、各学年とも35の教材が配されており、本県において教材として取り扱いたい「みやぎの先人集」を差し替えることも可能である。 ○ 身近な生活場面や活躍中のスポーツ選手の教材、漫画形式やグラフを扱う教材などに配慮し、生徒の発達段階に即した効果的な学びを可能とするように配置されている。特に「いじめ問題」については、データに即して指導の時宜を外さないよう、長季休業後の時期にユニット化された教材を配置している。 ○ 内容項目はそれぞれの学年において網羅され、「命の大切さ」「安全に生きる」「情報モラル」等の重点的なテーマについては系統的・発展的に学習できるよう配慮されている。 ○ 食育・消費者教育・法教育といった資料が豊富で、漫画形式の教材、データを扱う教材など多様な教材が位置づけられている。出所や出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の発達段階を「1年『であう』」「2年『みつめる』」「3年『ひらく』」とそれぞれ設定し、系統的・発展的に学習できるよう配列している。また「いじめ問題」等の重要なテーマでは、複数の教材をユニット化するなど学習効果が上がるよう配慮されている。 ○ 「よりよく生きる」ための思考を伸長するため、「自分に+1」という発問を配し、授業で学んだことをこれからの自分の生活に生かしていけるように配慮されている。この発問によって道徳的判断力・心情、実践意欲と態度を育てられるように工夫されている。 ○ 重点項目として配した「自主自律」「思いやり・感謝」「生命尊重」などは複数教材で扱い、ユニット化したり、補助資料をもって説明を加えて思考を広げさせたりと、内容項目を関連的・発展的にとらえさせるように配置されている。 ○ 教科書で扱う内容項目に重点的な扱いがあるため、その一部の教材を差し替えて各校の年間指導計画に合わせ適合させることが可能である。 ○ 職場体験学習に関連したコラムや教材を配置し、震災やえりもの森など、全国に関わった地域に係るテーマを教材やコラムで扱っている。「みやぎの先人集」との関連を図れるとともに、学校独自の教育課程に合わせた教材の入れ替えを可能としている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習や体験的な学習に適する教材に配された「学習の進め方」では、写真で対話的・協同的な学習の例を示し、生徒が多面的・多角的に学習できるように配慮されている。 ○ 授業で考えを深めていくため教材の冒頭に主題を提示し「考えてみよう」「自分に+1」と構成されているため、経験の浅い教員でも授業におけるルーティーンを構築しやすい。 ○ 多くの教材に補足説明資料を付し、難解な語句や固有名詞などには振り仮名が振られており、読みの抵抗を軽減するような工夫がある。登場人物の性別やイラストにおける発言比率も人種や身体的な特徴に偏りが出ないように配慮されている。 ○ 教科横断的な視点で資質・能力を育むことができるように、また、各教科における道徳教育の指導を道徳科において補ったり深めたり、統合・発展させたりすることができるよう、巻末に各教科との関連を示している。 ○ 別冊「道徳ノート」を付している。このノートでは発問欄を空欄にしていることから、年間を通した授業の経過・累積を確認できる。もくじにはウェブページとQRコードが表示され、閲覧することもできる。挿絵や図表・写真等は原色で鮮やかである。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な文章表現で、中学校で学ぶ漢字や固有名詞には振り仮名を振っている。文字の大きさも学年に即して配慮されている。 ○ イラストや写真は大きく取り扱っており、生徒に関心を持たせようとする意図を持って構成していることが見取れる。発問をイラストの中学生が行うことで、学習する生徒に親近感を持たせようとする意図を感じる。 ○ UDフォントを用い、文字の大きさ、書体、配置、写真など、支援が必要な生徒も理解しやすく魅力的に感じられるような工夫を見取ることのできるデザインである。 ○ イメージを広げる絵や写真が適所に配され、本文を解説するためのグラフや図表が必要な箇所に付してある。 ○ 製本はあじろ綴じで堅牢である。植物油インキで印刷され、印刷は色鮮やかである。環境に配慮した紙が使用されている。 						

種 目	道徳	発 行 番 号 の 略 称	2 2 4	教 科 記 号 の 番 号	道徳 7 0 6	書 名	新・中学生の道徳 明日への扉1
			学研		8 0 6		新・中学生の道徳 明日への扉2
1	内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「プラス思考」と「未来志向」を備えた生徒の育成を目指し、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自らの生き方について考えを深める学習ができるように配慮されている。 ○ 「いじめ」を自分のこととして向き合い、考え、議論しながら、いじめを生まない力を育む教材が、様々な内容項目において用意されている。また、情報モラルでは、発達段階に合わせて系統的に各学年2教材ずつ用意されている。 ○ 同じ内容項目を扱う教材は、生徒の生活実態や発達の段階を考慮し、内容の深まりや視野の広がりなど、学年ごとの工夫が見取れる。 ○ 読み物だけでなく、絵や写真、図やグラフ等で構成した「新感覚教材」が豊富で、生徒の自由な発想を促し、豊かな学習を展開することができる。 ○ SDGsや情報モラルなどの現代的な課題や、様々な生き方を学べる先人たちの教材など偏りなく配置されている。出所、出典も明示されている。 					
2	組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の発達の段階を踏まえ、教材内容の深まりや視野の広がりなどに考慮して配列されている。 ○ 学年ごとに特定の内容項目と重点的に連動して、よりよい生き方についての考えを進展させていく教材構成になっている。 ○ 重点テーマを「命の教育」と「いじめ防止」としている。他の内容項目とともに「命の大切さ」を考える教材も複数あり、「命」について多面的・多角的に考えることができる。 ○ 内容項目の数や分量は偏りなく組織されている。また、各学年35教材が準備され、各学校の年間指導計画に適合しやすいうように配慮されている。 ○ 日本の各地域に関連した内容を掲載し、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を積極的に取り入れている。 					
3	学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「SDGs」と「キャリア教育」については、全学年でユニット学習としている。視点や内容項目の異なる複数の教材に関連させ、広い視野で考えさせることができる。 ○ 冒頭に「考えを深めるための4つのステップ」を明示している。特設ページ「深めよう」にはステップごとに具体的な例が提示してあり、生徒が主体的に課題を発見し、考えを深めるための工夫がされている。 ○ 様々な分野で活躍する人たちに関係する教材や先人たちに関係する教材、長く評価された教材から、よりよく生きることの魅力や意味を考えることができるように、教材の選定に工夫が見られる。 ○ 各学年に各教科等での道徳性の育成につながる教材を用意し、関連付けて指導できるように構成されている。 ○ 各教材に学習の手引き、挿絵、図表及び写真等が掲載されている。デジタルコンテンツとして、QRコードでインターネットの補助教材にアクセスすることができる。 					
4	表 現 と 関 体 裁 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校で学習する漢字や固有名詞にふりがなをつけるなど、漢字の学習状況に関わらず、読み進めることができるように配慮されている。 ○ 挿絵や写真、図版などを活用し、A B版の判型を採用して生徒の感性や学習意欲に訴えかけるように工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、活字は大きく、見やすい書体を使用している。温かみのあるデザイン、色使いで、カラーユニバーサルデザインに配慮し、生徒が抵抗なく学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 図表や挿絵、写真の配置は、視覚的に捉えやすいよう、本文との関係性に配慮されている。理解を助け、生徒が親しみを持てる挿絵を掲載している。 ○ 製本は無線綴で開きやすく、特殊加工により堅牢である。印刷には、環境に配慮した紙、植物油インキ、環境負荷の小さいCTP方式を採用している。製本は、リサイクル性の高いPURのりを使用している。 					

種 目	道徳	発 行 番 号 の 略 称	2 3 2	教 科 記 号 の 番 号	道徳 7 0 7 7 0 8 8 0 7 8 0 8 9 0 7 9 0 8	書 名	中学生の道徳 自分を見つめる1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる1 中学生の道徳 自分を見つめる2 中学生の道徳ノート 自分を見つめる2 中学生の道徳 自分を見つめる3 中学生の道徳ノート 自分を見つめる3
			廣 あかつき				
1	内容に関する こと						<ul style="list-style-type: none"> ○ 本冊と別冊「道徳ノート」の2冊を併用することで、道徳科の目標達成に迫れるよう構成している。多様で魅力ある教材を取りそろえ、各教材に配した「考える・話し合う」において、生徒の主体的・対話的で深い学びを促すような工夫が施されている。 ○ 感動教材、人物教材、いじめに対する教材、現代的な課題を扱った教材において、「考え・議論する道徳」が実現できるよう工夫され、生徒が多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるように配慮されている。 ○ 教材の本文の長さについて考慮されている。学年が進むに従って、道徳的価値そのものを深く考えられるように構成されている。 ○ 4つの視点(A・B・C・D)の教材数は3学年を通して均等である。教材の特質を踏まえて選定されており、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を、バランスよく養うことができるよう配慮されている。 ○ 長く読み継がれてきた名作から新作まで配置され、出所、出典が明示されている。
2	組織と配 列に こと						<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒自らが道徳的価値を見だし、そのよさに気づく」ことができる教材や問いが吟味され、発達段階に応じて道徳的な思考が深まるように編集されている。 ○ 各教材に「考える・話し合う」の項目があり、ねらいを明確にするための工夫がみられる。何をどのように考えればいいのか、それぞれの教材に手がかりを挙げており、生徒が学習の見通しをもって取り組むことができるように配慮されている。 ○ 4つの内容項目(A自主・自立、自由と責任、B思いやり・感謝、C生命の尊さ、Dよりよく生きる喜び)を重点項目と位置づけたり、複数の内容項目に渡って指導できる教材を取り入れたり、重点的な取扱いの工夫ができるように配慮されている。 ○ 各学年とも、本教材35を掲載している。学習指導要領に定められている内容は本教材で充足されていることから、教材の選定が可能であり、コラムthinkingや巻末を扱いながら各学校の年間指導計画に適合させることができる。 ○ 季節や行事などの内容的、時期的関連が考慮され、掲載順に取り扱うことで効果的な学習が期待できるよう配列が工夫されている。
3	学習と関 指す 導に こと						<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科の特質を踏まえ、各教科の学習内容や他の教育活動などの時期的・内容的な関連が考慮されている。「いじめ」に関する教材を用いた授業は、学級内の人間関係がある程度形成された段階で実施できるように、6月中旬に学習できるよう配列されている。 ○ 「ともに考え、話し合う」ことができるよう、多様な教材が取り上げられている。また各教材の「考える・話し合う」の項目によって生徒の主体的・対話的で深い学びが促され「学習の手がかり」をもとに、活発な対話がなされるようにする等、人間としての自己の生き方について考えを深められるように工夫されている。 ○ 「いじめ」や「人権」に関する課題を、道徳の内容に示された4つの視点から捉えて考えを深めるページが各学年の巻末に特設されている。また、本文に加え、挿絵や写真、グラフやアンケート結果、歌詞などを掲載し、内容理解を促すような配慮がなされている。 ○ 各教科の学習で生かせる教材が選定されており、別冊のノートには他の教育活動とともに連携を図りながら活用できるページを設けるなど、授業が教育活動全体を通じて行う道徳教育の要となるように配慮されている。 ○ 挿絵、図表及び写真等は内容の理解を妨げないよう、配慮した掲載方法である。また、学習に関する資料活用のためQRコードやURLは目次のページに記載されている。
4	表現と関 体す 裁る 等 こと						<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み取りに差異が出ないよう、未習の漢字には振り仮名を記している。また、説明を要する文語や固有名詞には脚注がつけられている。 ○ イラストを大きく扱い、生徒にとって見やすく親しみやすい紙面となるように工夫されている。 ○ 発達段階に応じ、第1学年の文字サイズを大きくしている。白を基調としたゆとりのある紙面で圧迫感がないよう構成されている。 ○ 挿絵や図表が効果的に配置されており、生徒が内容を理解しやすいように配慮されている。 ○ 別冊ノートを本冊に収納できるよう工夫し、利便性を図っている。別冊中とじの針金に安全性が考慮されている。印刷には植物油インキを用い、再生紙を使用するなど、環境にも配慮している。

種 目	道徳	発 行 番 号 の 略 称	2 3 3	教 科 記 書 の 番 号	道徳 7 0 9	書 名	道徳中学 1	生き方から学ぶ	
			日科		8 0 9		道徳中学 2	生き方を見つめる	
								道徳中学 3	生き方を創造する
1	内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の表し方がシンプルで、読み手や指導者にとって、思考の幅が与えられているため、「深く考える」ことや「活発に議論する」ことが期待できる。人間としての生き方についての考えを深められるよう、学年ごとにテーマを「生き方から学ぶ」、「生き方を見つめる」、「生き方を創造する」と設定している。 ○ 「いじめ問題」に真剣に向き合えるよう、関わりの深い内容項目B(8)、C(11)は他の内容項目より多く配置されている。 ○ 1学年の題材は、本文の量が少なめで、内容理解をしやすいように配慮されている。また、発達段階に応じたストーリー性のある読み物資料で生徒の興味・関心を高めるように配慮されている。 ○ 表紙が過去と未来を想起させるものになっており、内容もそれに合わせ精選されている。学習の充実と発展を図れるようコラム等も10程度掲載されている。 ○ 目次のページで、4つの視点、22の内容項目が明記されており、読み物資料、人物教材、感動教材、現代的な課題に関する資料など、偏り無く取り上げられており、出典が明示されている。 							
2	組 織 と 関 配 す 列 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年「生き方から学ぶ」、2学年「生き方を見つめる」、3学年「生き方を創造する」というテーマに基づき、発達段階に応じて系統的に学習できるように配慮されている。 ○ 巻末には内容項目別教材一覧を掲載し、ねらいを明確にして指導できるように配慮されている。 ○ 重点的に取り扱う道徳的価値が、学年の段階に応じて、自己から他者、他者から社会へと発展し、より深く自分の生き方について考えられるようになっていく。 ○ 内容項目順に教材が配置してあり、各地域、各学校の特色や方針によって自由に教材を組み替えることができるため、年間指導計画に広く適合できるようになっている。 ○ 各学年の初めに「心の成長を目指して」を設置し、学校、家庭、社会の中で道徳的価値について考え、学校以外の生活からも道徳的態度を養うように工夫されている。 							
3	学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先人や歴史的な出来事の教材から現代社会の問題まで幅広く扱われており、生徒が道徳的価値を理解し、人としての生き方について考えを深められるよう工夫されている。 ○ 教材ごとに「考え、話し合ってみよう」として、「ふかめよう」が設定してあり、2つの発問が用意されている。1つめは、多様な考え方や感じ方に触れる発問、2つめは、自分の生き方を見つめる発問になっており、生徒の深い学びにつながるよう工夫されている。 ○ 生徒が1年間の自己の成長や学習の足跡を理解しやすいように教科書の巻末に振り返りのページが設定されている。書式も記入しやすいものとなっており、多くの生徒に配慮していることが伝わってくる。 ○ 社会科や総合的な学習の時間と関連が図れる教材が取り扱われている。生徒の実生活に近い教材もあり、教育活動全体を通じて行う道徳教育の特質に配慮されている。 ○ 巻頭には教科書の使い方と、すべての学年で学ぶ意義と学習の手引きが掲載されている。挿絵や図表および写真が、本文の妨げにならないように配慮されており、適切に配置されている。 							
4	表 現 と 関 体 す 裁 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にとって難解な語彙や人物については下段に説明を加えている。また、各学年の学習状況に応じて適切な言葉を使用している。 ○ 強く提示したい自然や人物の写真を大きく掲載し、迫力あるページとなっている。また、生徒が親しみやすいイラストを挿入するなど、場面を想像しやすくする工夫がなされている。 ○ 内容項目が4つの視点ごとに色分けされている。字体については、本文とコラムが異なるように工夫されている。印刷は鮮明で見やすい。 ○ 図表の大きさは適切であり、バランスよく配置されている。適当な余白を確保してレイアウトがされている。 ○ 丈夫な表面加工が施されており、氏名欄も記入しやすいように加工されている。製本は堅牢である。 							

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）

小学校

小学校特別支援学級部会では、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書)77冊について調査・研究いたしました。

小学校学習指導要領及び特別支援学校学習指導要領においては、インクルーシブ教育システムの構築を目指した改善事項として、発達障害を含む多様な障害、教育的ニーズに応じた一人一人の十分な学びを確保していくことや、将来的な自立と社会参加を見据えた指導・支援の充実を図ることなどが示されています。また、カリキュラム・マネジメントの推進に努めることが求められています。

特別支援学級に在籍する児童一人一人が、自立と社会参加を目指し学習活動に取り組む充実感や達成感をもちながら「生きる力」を身に付けていくためには、一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程と児童にとって使いやすく、分かりやすく、そして学ぶことへの興味・関心を喚起できる教科用図書が不可欠です。私たち4人はそのような視点をもちながら調査・研究を進めてまいりました。

その結果、小学校教科用図書(一般図書)全77冊において、適切であると判断いたしました。

採り上げている題材にやや古さを感じる図書もありましたが、児童にとって読みやすく、分かりやすいものになっています。

また、それぞれの図書には児童の学習への興味・関心を喚起し、学習内容をよく理解できるような工夫や、将来の社会的自立に向けて身に付けるべき力の育成につながる工夫がなされていると判断しました。

具体的には、児童が目で見ただけではなく、触ってその感触を味わったり、音を聞いて確認できたりと、五感を十分に使って学習に取り組める図書や、ルビ付きで大きいサイズの文字や豊かな色彩の挿絵などを活用した図書、DVDやQRコードが付いた図書など、ICT環境の変化やユニバーサルデザインに配慮して制作された図書がありました。

また、児童が自主的に考え学べるような構成にしたり、指導者や保護者が児童の実態に応じた指導や配慮をするための資料が用意された図書もありました。

他にも、特別支援学級に在籍する児童に適したキャリア教育や志教育につながる内容の図書、社会人として身に付けるべきマナーを示した図書がありました。

そして、日常生活における危険を予防的に回避できるよう具体的な場面を示した図書、自然災害への備えや具体的な対応の仕方を学習できる図書もありました。事件・事故・災害・感染症の拡大が起きている見通しのもちにくい状況の中で、自らの命、周囲の人の命を守る力を具体的に育てることに役立つ図書を採択することには大きな意義があると考えます。

最後に調査・研究を通して、児童の教育的ニーズに応じた指導や、将来的な自立を見据えた教育の実践には、「内容」、「組織と配列」、「学習と指導」、「表現と体裁」の4つの観点から総合的に判断した適切な図書を採択することが重要であることを改めて感じました。

今回得られた学びを、各所属においてはもちろんのこと、管内におけるネットワークも生かしながら、教育課程の改善や一人一人に応じた教科用図書の活用につなげていきたいと考えます。

以上で小学校特別支援学級部会の報告を終わります。

種目	生活	書名	No.1 はっけんずかん どうぶつ改訂版	発行者名	学研				
評 価	<p>(1) 内容に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の大自然での生活の様子を見開きで紹介し、興味・関心をもって学ぶことができる内容になっている。 動物の特徴や生活の様子など、動物について様々な視点から学習できるように配慮されている。 <p>(2) 組織と配列に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の生活の様子が環境場面ごとに紹介されており、動物と環境との関連が理解しやすいよう配列されている。 見開きのページの次には、その場面に出てきた動物の説明が書かれており、説明を見てからもう一度、前のページに戻って説明の内容を確かめることができる。 陸上や海中の動物、ほ乳類、両生類等、動物全般を網羅した配列になっている。 <p>(3) 学習と指導に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童自身で自然の中の動物たちが描かれた扉をめくり、2枚の絵を見比べることで場面の前後の様子を把握できる内容となっている。 「なぜ?」「なに?」などと書かれた吹き出しが興味や関心を喚起する。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙が厚く、装丁もしっかりしている。 絵と写真及び説明文がバランス良く組み合わせられており、動物についての疑問を解決したり、知識を身に付けたりする上で効果的な構成になっている。 <p>(総評)</p> <p>様々な動物の特徴が、児童に親しみやすい絵と、簡潔で分かりやすい内容の説明文で表現されている。動物の写真も豊富で児童の探求心や知的好奇心を喚起する内容となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1168 1025 1481 1182"> <tr> <td data-bbox="1168 1025 1327 1070">B</td> <td data-bbox="1327 1025 1481 1070">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1168 1070 1327 1182">○</td> <td data-bbox="1327 1070 1481 1182">◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	生活	書名	No.2 みちかなかがくシリーズ 町たんけんーはたらく人みつけたー	発行者名	福音館書店				
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町探検の様子を採り上げていく中で、吹き出しや挿絵を効果的に使い、町で暮らす人や町で働く人々の生き生きとした姿を分かりやすく捉えることができる内容となっている。 いろいろな生活場面を具体的に描くことで、自立や社会参加に向けて、身の回りの生活に適應する力を養うことができる内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の生活や地域に結び付く場面が、広角とクローズアップの視点で採り上げられており、系統的に学習を進める上で効果的な配列となっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が探検しながら町の様々な場所を巡っていく展開となっており、児童の興味・関心を喚起するように工夫されている。 町の中の施設や商店、会社、屋外で働く人たちなど、豊富な職種を採り上げることで、それぞれの職業を理解したり、人々との触れ合いに気付いたりしながら、他の教育活動へも発展させて学習することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特徴を捉えつつ、細部まで詳しく色彩豊かに描写され、児童にとって親しみやすく、様々な仕事の様子が捉えやすくなっている。 紙質が良く、堅ろうな装丁になっている。 <p>(総評)</p> <p>町の様子やいろいろな職種で働く人たちの姿が絵で克明に描かれ、日常生活が分かりやすく表現されている。地域について調べる学習に活用できる上に、様々な職業について知ることでもある。</p> <p>町並みの様子や販売形態に古さを感じる部分がある。</p> <table border="1" data-bbox="1177 1868 1490 2024"> <tr> <td data-bbox="1177 1868 1337 1912">B</td> <td data-bbox="1337 1868 1490 1912">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1177 1912 1337 2024"></td> <td data-bbox="1337 1912 1490 2024">○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種目	生活	書名	No.3 福音館の科学シリーズ 道ばたの四季	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに道端にある身近な植物と虫や鳥と一緒に描かれ、身の回りの自然やその変化について年間を通して学習できる内容である。 野外での体験活動を促したり、自然への興味・関心を喚起したりできるような内容で網羅されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きで季節ごとに身近な植物や虫、鳥の様子が紹介されており、季節と動植物との関連が理解しやすいように配列されている。季節ごとの分量は適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きから更に観音開きになるページもあり、季節ごとの植物や虫、鳥の様子と四季の変化を眼前の風景のように捉えることができるよう工夫されている。 季節や場所に応じて虫や鳥の生態、植物の育つ様子が豊富に紹介され、児童の発達段階などに応じて発展的、応用的な学習ができるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写実的で色彩豊かな絵は、植物の特徴を捉えており、実際の場面を想起させる視覚的効果がある。 表紙が厚く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>絵が豊富に掲載されており、児童が興味をもって学習できる内容になっている。道端の風景の中によく見られる植物や虫、鳥について、正確な名称が示されているが、絵の中の文字は小さく、見えにくい面がある。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A		○
B	A								
	○								
種目	生活	書名	No.4 幼児絵本シリーズ くだもの	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な果物の特徴や名前について理解することができる内容である。 切ったり、皮をむいたりして食べることでできる状態になった果物の絵が示されており、食への興味・関心を高めることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏の果物から始まり、秋、冬、春と季節に応じた果物が順序よく配列されている。 それぞれの果物について、そのままの状態の絵の次に、切るなどして食べることができるようにした状態を絵で示すパターンで配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きで大きく写実的な絵が描かれていて、見やすく分かりやすい。 平易な言葉がリズムよく繰り返され、児童が期待感をもって聞くことができるように工夫されている。 果物を差し出す様子が描かれており、読み手とのやり取りにも発展させることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 淡い色彩だが、背景が白になっているため形が捉えやすい。 果物の名前と呼び掛けでは書体を変えたり、最終ページは皮をむくことができた子どもの絵が描かれたりと、児童が親しみやすい工夫が随所になされている。 表紙が厚く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>身近な果物の名前や特徴について、理解することができる。また、文中の言葉を動作にし、児童とやり取りしながら、食への興味・関心を高めることができる内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	B	A	◎	
B	A								
◎									

種目	生活	書名	No.5 くまのがっこう ジャッキーのトマトづくり	発行者名	ブロンズ新社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「トマトづくり」という体験活動を通して、植物の生長について関心を高めることができる内容となっている。 トマトを大切に育てる主人公の様子から、植物に対する愛情を感じさせることができる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童にとって身近なトマトの生長の様子を、順序よく読み進めることができる。 植物の栽培や調理の経験を想起しながら、児童が集中して読むことができる分量で表現されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一生懸命にトマトの栽培をする様子が豊かな表情や動きで表現されており、児童の興味・関心を喚起することができるように工夫されている。 児童の実態に応じて栽培や調理、食事といった学習に発展させることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙が厚く、装丁がしっかりしている。 活字は小さめであるが、すべて平仮名と片仮名で書かれている。 キャラクターは児童が親しみをもてるものとなっている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>一生懸命にトマトを育てる主人公に共感しながら読み進めることができる内容である。児童の発達段階に応じて自分で読み進めたり、読み聞かせを楽しんだりと多様な活用方法が考えられる。トマトの生長が分かりやすい挿絵で描かれており、食への関心も高めることができる内容になっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	生活	書名	No.6 単行本 さわってあそぼうふわふわあひる	発行者名	あかね書房				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 色や形を認識したり、素材の感触を指で楽しんだりしながらページ内に隠された動物を探す内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7種類の色、形、感触で構成されており、動物の名称や感触などを表す擬態語が平仮名や片仮名で表現されている。 本の内容に関する質問が巻末に書かれており、今まで読み進めてきた内容を振り返ることで、より確実な理解へとつなげることができる構成となっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きで一つの色と形を学習することができる。感触の違いを楽しむページを通して、擬態語を学習することができるように工夫されている。 仕掛けのページをめくることで、色、擬態語、感触に該当する動物を当てる面白さがあり、興味をもって学習できる。 視覚に障害がある児童にとっても、感触を楽しみながら学習を進めることができるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1ページあたりの文字数が少なく、平仮名の学習を始めたばかりの児童でも負担なく学習できるようになっている。 仕掛けのあるページが右側に設けられており、分かりやすい。 紙質が良く、装丁もしっかりしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>色や形、動物の名前、擬態語について、見たり、触ったりしながら楽しく学習を進めることができるように工夫されている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					○			
○									

種目	生活	書名	No.7 えほん よんで!② 「おいしいおと なあに?」	発行者名	あかね書房
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物が飲んだり食べたりする様子に擬音語が示され、実際の場面を想像しやすく表現されている。 児童にとって身近な食べ物が登場するので、楽しみながら読み進められる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きで、左ページに平仮名で擬音語が書かれ、右ページに擬人化した動物の食事風景が描かれるというパターンで配列されている。そのため、擬音語から食べ物や食べる様子を想像したり、挿絵から擬音語を考えたりすることができるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べるときの擬音語と調理するときの擬音語が併記されており、身の回りの音を言葉で表現する学習をより深めることができるように工夫されている。 子どもが好きなメニューが採り上げられ、日常の食事や調理に関心をもつことができる内容となっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙が厚く、装丁がしっかりしている。 平仮名表記で、文字が大きく読みやすい。 食事をしている動物のキャラクターが、ユーモアを交えながら生き生きと描かれており、児童が楽しみながら読み進められる表現の工夫がなされている。 				
価	<p>(総評)</p> <p>擬音語を学びながら、食べ物や調理に関する学習に関連付けることができるように工夫されている。動物の食事風景が楽しく描かれており、児童が興味・関心をもって食について学習することができる内容になっている。</p>				
				B	A
				◎	
種目	生活	書名	No.8 かばくん・くらしのえほん・2 かばくんのおかいもの	発行者名	あかね書房
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 母親との買い物を通して、社会生活への関心や意欲を喚起する内容となっている。 いろいろな店で扱っている商品について、その名称などを確認したり受け答えしたりしながら学習が進められる内容になっている。 日常生活でよく使われる会話文が挿入されており、実生活に役立てることができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家を出るところから、買い物をして帰宅するところまでの流れを、順序立てて読み進めることができる構成になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 店の絵が大きく描かれ、店ごとに扱う商品が分かりやすく採り上げられており、児童が様々な商店に興味・関心をもてるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙が厚く、紙質も良い。 淡い色合いの絵が多いが、背景が白色のため一つ一つの形をしっかりと捉えることができるように工夫されている。 				
価	<p>(総評)</p> <p>児童が身近な社会に興味をもち、生活に関連付けて考える意欲が喚起されるような構成になっている。店で扱う商品が分かりやすく表現されている。「金物屋」など一部、時代にそぐわない内容も見られる。商品名の表記がないので、児童とやり取りしながら商品について説明する必要がある。</p>				
				B	A
				○	○

種目	生活	書名	No.9 創作絵本 いちねんめいろ	発行者名	ほるぷ出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節の特色に関連付けた迷路遊びや、絵探し遊びを楽しむことができる内容である。 各月や季節の行事の特色について理解を深めることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節的行事と季節を表す特徴的要素が整理され、適切に配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 迷路遊び、絵探し遊びに数的要素も加えられ、発展的な学習ができるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物や動物などの表情が豊かで、鮮明な色彩で描かれており、児童が親しみやすく、興味・関心をもって見ることができる。 補助的なクイズの字が小さく線も細いので、何が書かれているか見にくい面がある。 しっかりとした装丁で仕上げられている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>迷路遊びや絵探し遊びを楽しみながら、季節的行事や季節の特色が理解できるように工夫されている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A		○
B	A								
	○								
種目	生活	書名	No.10 改訂新版体験を広げることものずかん1 どうぶつえん	発行者名	ひかりのくに				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物園で飼育されている動物を絵や写真で紹介し、生き物に興味・関心をもつことができる内容になっている。 動物の特徴や生活の様子など、動物について様々な視点から学習できるように配慮されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識を身に付けるだけでなく、主体的に調べることができるように、きめ細かな内容が組織的に配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊富な写真や解説は、児童の興味・関心や特性に応じて活用できる。発展的な学習につなげるために、巻末の資料や随所にある豆知識などの記述を活用することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵と写真及び説明文がバランスよく組み合わせられており、動物について疑問を解決したり、知識を身に付けたりする上で、効果的な構成になっている。 絵が写実的で個々の動物の特徴が分かりやすく表現されている。 紙質も厚く、装丁もよい。 								
価	<p>(総評)</p> <p>児童になじみのある動物が、写真と絵で豊富に紹介され、動物の理解が深まるよう工夫されている。情報量が多く漢字表記も多いため、理解の早い児童の使用に適している。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A		○
B	A								
	○								

種目	生活	書名	No.11 202シリーズ たべもの202	発行者名	ひかりのくに				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べ物が五十音順に写真と平仮名で示されており、食への関心も高めることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べ物が五十音順に写真と平仮名で掲載され、食べ物の名称と平仮名での表記を結び付けながら学習できるように配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べ物の特徴を捉えやすい鮮明な写真が使われ、児童の興味・関心を喚起しやすいように工夫してある。 平仮名の筆順が示されており、書写指導に関連付けることができる。 1から202まで、全ての食べ物に番号が記載されており、数に関する指導に関連付けることができるように工夫されている。 クイズコーナーがあり、児童の意欲を喚起しながら学習を進めることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字、写真が大きく鮮明で視覚的に分かりやすい。 紙が厚く、しっかりした装丁である。 <p>(総評)</p> <p>食べ物だけでなく平仮名や片仮名、数についても楽しみながら学習できるように工夫されている。採り上げた食べ物の挿絵や写真にやや古さを感じるが、200種に及ぶ食べ物の掲載は、食に関する学習において十分に活用できる内容である。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								
種目	生活	書名	No.12 ちびまる子ちゃんのあんぜんえほん4 どうしたらいいの？じしん・かじ	発行者名	金の星社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> アニメのストーリーを通して、火事や地震への備え方、避難の仕方などについて親しみを持ちながら学習することができる内容である。 火事や地震への備え方と対応についての具体的な行動が紹介されており、家庭生活や学校生活で実際に役立つことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「火の用心」、「避難訓練」、「地震への備え」の三つの内容でまとめられており、実態に応じて活用できる。 三つの内容について、それぞれ8ページずつ簡単なストーリー形式で説明されており、分量が適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> なじみのあるアニメキャラクターが登場することで、児童が興味・関心をもって防災意識を高めることができる。 登場人物の表情が豊かで、動作や状況が分かりやすく描写されており、理解しやすいように工夫されている。 災害時に注意することのポイントが、主人公の言葉で分かりやすく示されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな色彩で描かれており、文字も見やすい大きさである。 しっかりとした装丁で仕上げられている。 <p>(総評)</p> <p>防災意識を高め、具体的な児童のとるべき行動について学ぶことができ、実際に役立つことができる内容である。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	生活	書名	No.13 やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなってるの？	発行者名	金の星社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活で感じる体への疑問を、分かりやすい挿絵と簡単な言葉を使って解説している。 ・ 体の仕組みや健康についての関心を高めることに適した内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男の子、女の子の体の紹介に続き、骨格、血液、呼吸、消化・吸収、排泄の説明が、見開き1ページで分かりやすく示されており、内容が組織的、系統的に配列され分量も適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみやすく単純化した挿絵で体の仕組みが表現され、複雑な体の働きを分かりやすく説明できるように工夫されている。 ・ 男女の体の違いから性に関する指導に取り組んだり、消化・吸収の学習から食育に取り組んだり、発展的な学習につなげられるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷が鮮明で、装丁もしっかりしている。 ・ 本の向きを上下の見開きにすることで、縦長の人体を理解しやすく表現している。 <p>(総評)</p> <p>体について親しみやすい挿絵と簡単な文章で分かりやすく説明してあるので、児童が興味をもって学習することができる内容である。体の各部位の名称から体の内部の構造や働きについてまで、児童の発達段階に応じて学習することができる。</p>								
			<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>		B	A		◎	
B	A								
	◎								
種目	生活	書名	No.14 パノラマえほん でんしゃのたび	発行者名	ひさかたチャイルド				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海辺の町から山間の町まで走る電車を、鳥瞰図を用いてダイナミックに描いている絵本である。 ・ その地域の街並みや自然の様子、産業、季節の変化に関心をもつことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海辺の町、都市部、農村、山間の町などの町並みが描かれ、いろいろな地域の実態に応じることができるように配慮された構成になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海、川、湖、山などの自然の様子やその周辺に住む人々の生活が描かれており、想像力を働かせながら読み進めることができるように工夫されている。 ・ 町並みや風景が詳細に描かれており、絵を見ながら乗り物や動物、施設などの学習をすることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見開きページが更に観音開きになり左右に大きく開くページ構成や、後ろからも読むことのできる構成は、児童の興味・関心を喚起することに適している。 ・ 表紙は堅ろうで、しっかりした装丁である。 <p>(総評)</p> <p>走る電車に沿った風景が詳細に描かれ、様々な町並みからいろいろな産業を知ることができる。そこに住む人々の生活を想像しながら、多様な学習に関連付けることができる。</p>								
			<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>		B	A	○	◎	
B	A								
○	◎								

種目	生活	書名	No.15 しんかんせんでいこう	発行者名	ひさかたチャイルド				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本全国の新幹線の路線図を、鳥瞰図を用いながら描いた絵本である。 日本の地理について学ぶことができ、地域の特徴について関心をもつことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙から読み始めると北海道から九州、裏表紙から読み始めると九州から北海道というように、どちらから読んでもつながるよう配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとに、地域の特徴を大まかに捉えることができる内容である。日本の各地域の社会や自然の特色が描かれているので、そこに住む人々の生活の様子などを想像力を働かせながら読み進めることができるように工夫されている。 各地域の名所や在来線、私鉄なども描かれているので、児童の興味・関心を発展的に広げることができるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 観音開きで左右に大きく開くページがあることや、前からも後ろからも読むことができる構成は、児童の興味・関心を喚起することに適している。 表紙は堅ろうで、しっかりした装丁である。 								
価	<p>(総評)</p> <p>日本の北と南の自然の違いを理解することができる。また、地域の特徴を楽しく学習できるように配慮されている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	生活	書名	No.16 ARで英語が聞ける はじめてのえいご絵じてん	発行者名	三省堂				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活に身近なものの名前や言葉、親しみやすい歌やゲームが採り上げられている。 英単語は、「よみ」、「つづり」、「意味」がセットで表示されており、すべての音声をAR(拡張現実)アプリによってタブレット端末で聞くことができる仕組みになっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語から会話文へと段階的に広がっていき、途中で覚えた言葉を使ってクイズに挑戦するコーナーがある。楽しみながら読み進めていくことができる。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活に身近なものの名前や言葉が多く採り上げられており、英語学習を通して、あらためて語彙の拡大につなげることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵が単純な線で描かれていて、見やすく、親しみやすいものになっている。色彩も鮮やかである。 								
価	<p>(総評)</p> <p>身の回りのものや言葉について興味・関心を持ち、英語に親しみやすい配慮がなされている。また学習内容を通して、挨拶など基本的な生活習慣や身近な人との関わり合いなど、コミュニケーション力につながる学習が期待できる。 *QRコードあり。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	生活	書名	No.17 りかのこうさく1ねんせい	発行者名	小峰書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの草花や石、紙など、身近な材料でおもちゃを作り、実際に楽しく遊べる内容になっている。 遊びや制作などの体験活動を通して、自然や身近にある素材に関心をもたせながら生活経験を広げたり、個に応じた余暇活動の充実に発展させたりできる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 散策などで見つけたもの、生活の中の身近な材料を活用したものなど、項目ごとに区分されている。 どのような遊びにつながるかが分かりやすく示され、児童がすぐにでも遊んだり製作に取り組んだりできる内容であり、分量も適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節に合った草花遊びや野山での遊びから、影遊び、風や磁石、輪ゴムを使ったおもちゃ作りなどを採り上げており、自然などの理科的事象への興味・関心を喚起する内容になっている。 作品の作り方や遊び方が、分かりやすく順序立てて掲載されているので、児童の実態に応じた学習活動に活用することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や絵が大きく掲載されており、視覚的にも大変見やすく構成されている。表紙が厚く、紙質、装丁ともにしっかりとした作りである。 								
価	<p>(総評)</p> <p>身近な植物や身の回りにある素材を使った作品作りや遊びを通して、自然の不思議さや素材のもつ特性などを学習できる内容になっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	生活	書名	No.18 絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの身近な野菜の種、葉、花、実が、カラーの挿絵で、分かりやすく豊富に紹介されている。 身近な野菜について絵や解説を通し、種から野菜が収穫されるまでの過程が理解できるとともに、野外の観察や栽培などの体験活動に発展させることができる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 春から秋にかけての畑の様子や季節の野菜について紹介されているので、児童が実生活と対応させて学習を進めることができる。 様々な野菜について、花や実、種、芽、葉、根の別にページごとにまとめられているので、それぞれの野菜の特徴を捉えて、学習することができる。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵は写実的に描かれており、種の状態から発芽、開花、実になるまでを実物と比較しながら学習できるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの絵が写実的で丁寧に描かれ、表紙も厚く紙質、装丁ともにしっかりとした作りである 								
価	<p>(総評)</p> <p>身近な野菜が、絵を使って分かりやすく紹介され、興味・関心を喚起できるようになっている。季節ごとの野菜の種類や生長の様子を具体的に学習できるように工夫されている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	生活	書名	No.19 子どもの生活(3) マナーをきちんとおぼえよう!	発行者名	借成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な基本的な生活習慣に焦点を当て、食事の仕方やトイレの使い方などを採り上げて、マナーについての理解を深め、社会性の向上を促すことができる。 それぞれの場面で、動作の手順などが、挿絵で示されているので、児童が実際に練習や実践を重ねることで、社会的自立を促せるような配慮がなされている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中でも基本的な場面が採り上げられており、具体的に実践しながら学習できる効果的な配列となっている。 道具や物の使い方から人との関わり方へと、場面を広げて配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導の重点となる事項が見出しとして大きく示され、状況や場面がイメージできる挿絵が多く盛り込まれているので、具体的に指導に結び付けやすくなっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導の重点となる事項を、流れに沿った挿絵や吹き出しで強調するなどの工夫がなされている。 表紙は厚く、紙質、装丁ともにしっかりとした作りである。 								
価	<p>(総評)</p> <p>日常生活における基本的な生活習慣が採り上げられており、児童が生活する上で必要なマナーについて実践的に学習できるよう工夫されている。具体的な動作が順番に挿絵で表現されているので、確認しながら学習を進めることができる。</p> <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	生活	書名	No.20 子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー	発行者名	借成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活を送る上で身に付けておきたいマナーを様々な場面ごとに採り上げ、親しみやすい挿絵で具体的に学習できるように構成されている。 身近に経験することの多い具体的な場面を想定して説明されており、社会性の向上を図ることができる内容構成となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きに日常生活の一場面を配列し、詳細な説明と挿絵で分かりやすく描くことで、児童の理解を図り、学習したことを生活に生かすことができるよう工夫されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話のかけ方、留守番の仕方など、内容も豊富で、日常生活の様々な場面での指導に適している。 採り上げられた場面での説明が丁寧かつ詳細で、児童の発達段階に合わせて学習できるようにしている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面ごとに見出しが付いていて、内容が一目で分かる。 表紙は厚く、紙質、装丁ともにしっかりとした作りである。 								
価	<p>(総評)</p> <p>基本的な生活習慣に関するマナーから、社会生活上身に付けさせたいマナーまで、幅広い内容項目になっている。状況をイメージしやすい挿絵を見ながら、具体的に学習できるよう配慮されている。</p> <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種目	生活	書名	No.2 1 坂本廣子のひとりでクッキング (2) 昼ごはんつくろう!	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主食を中心とした、比較的簡単に作ることができるメニューが取り扱われており、実生活に生かしやすい内容になっている。 使用する道具や必要な材料、調理の仕方について学習することができ、食べ物や食事への興味・関心を喚起する内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 約束から準備、調理、片付けまで、調理に係る一連の内容を身に付けることができるよう、見開きに道具、材料、調理の手順が配列されている。 調理の手順には大きく番号が振られ、挿絵を見ながら順序よく調理することができるように、配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵や写真を使い、視覚的に分かりやすく、興味をもって学習に取り組めるように工夫されている。 巻頭に調理をする際の約束を採り上げ、安全に調理するためのポイントについて丁寧に説明が施されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字にはルビが振られ、調理の手順が見開きで分かりやすく配置されている。 表紙は厚く、紙質、装丁ともにしっかりとしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>簡単な料理を採り上げ、材料、調理の仕方を分かりやすく紹介しており、児童が食生活に興味・関心をもつよう配慮されている。</p> <table border="1" data-bbox="1173 958 1485 1120"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								
種目	生活	書名	No.2 2 子どもの健康を考える絵本 (4) からだがすきなたべものなあに?	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな食品が挿絵で紹介されていて、児童が健康な体作りのために必要な栄養について学習できる内容である。 食品を三つの栄養素に分類し、それぞれがどのような働きをしているのか学習することができる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食と体との関係が、順序良く配列されており、段階的に理解できるように工夫されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある食品の挿絵がたくさん示されていて、興味・関心を喚起するよう工夫されている。 身近にある食品を、赤、黄、緑の三色を使って分類し、栄養素の働きを示し、楽しく分かりやすく学習に取り組めるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵の色彩が鮮明で、柔らかい線を使用しているので分かりやすい。 表紙は厚く、紙質がよく、装丁もしっかりしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>身近にある食品が採り上げられており、親しみやすい内容となっている。また、栄養素やその働きについての理解を促し、バランス良い食事についても考えることができるように内容が工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1187 1850 1497 2011"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種目	生活	書名	No.23 木村祐一・しかけ絵本(12) げんきにごあいさつ	発行者名	借成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おはよう」から「おやすみ」まで、一日の中で使用する基本的な挨拶を採り上げた内容である。 どのようなときに使い、どのように受け答えするかを学べる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の生活につながるよう、朝起きてから、友達の家に出掛け、誕生会に参加し、帰宅して眠るまでの一日の流れの中の場に応じた挨拶が採り上げられている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶が太字で示され、場面に合った挨拶を学べるように工夫されている。 扉をめくると場面が変わるしかけがあり、興味・関心を喚起するように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きに親しみやすい絵で生活の一場面が描かれており、見やすく分かりやすい。 色彩が柔らかく親しみやすい。 紙質が堅ろうでめくりやすく、装丁もしっかりしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>主人公の一日の生活の流れが描かれており、児童にとって身近である。親しみやすい絵、大きめの文字、扉のしかけなど、興味をもちながら様々な場面での基本的な挨拶を楽しく学べるものとなっている。</p> <table border="1" data-bbox="1150 931 1461 1093"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>					B	A	◎	
B	A								
◎									
種目	生活	書名	No.24 うれしいさん かなしいさん	発行者名	東京子ども図書館				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> うれしい気持ちを「うれしいさん」、悲しい気持ちを「かなしいさん」と擬人化し、身の回りで起こる些細な出来事で「かなしいさん」になるが、身近な人が助けてくれて、「うれしいさん」になる。そんな身近な出来事と人との関わりの大切さを伝える内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前からは「うれしいさん」が、後ろからは「かなしいさん」がうれしいや悲しいを繰り返しながら公園に向かい、真ん中で出会う構成になっている。身近で起こる様々なことについて、気持ちの移り変わりが分かりやすく展開されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 擬人化することで、気持ちを分かりやすく捉えられ、うれしい気持ちや悲しい気持ちを自分の気持ちとして気付けるように工夫されている。 身近な人との関わりで悲しい気持ちがうれしい気持ちに変化するところから、人との関わりへの興味・関心を喚起させる工夫がなされている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「うれしいさん」は赤色の文字で、「かなしいさん」は青色の文字で、気持ちを視覚的に分かりやすく表現している。 白地に朝・青・黒の3色で作られていて、見やすい。装丁もしっかりしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>気持ちという形のないものを擬人化することで、心やその変化を捉えやすくしているとともに、心の変化や、そこに関わる身近な人や社会環境への気付きを促すことができる。</p> <table border="1" data-bbox="1150 1827 1461 1989"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	生活	書名	No.25 家庭の教科書 小学校低学年～高学年	発行者名	山と溪谷社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が日常よく目にする料理の調理方法や簡単な裁縫の手順、住まいに関する知識を身に付け、日常の衣食住への興味・関心をもつことができる内容である。 実生活にも生かせるように調理や裁縫で使用する基本的な道具の扱い方や、児童だけでも取り組むことができる整理整とんの方法なども採り上げられている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣食住の三つの項立てで構成されており、興味・関心に応じてどの項目からも学習ができ、材料の準備から片付けまでの一連の基本的な技能を身に付けることができるように組織されている。 各項目の冒頭で道具の使用方法が丁寧に示されており、写真や挿絵を見ながら順序よく安全・安心に取り組めるように構成されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実物の写真と挿絵が適切に提示されていて、興味をもって学習に取り組めるように配列されている。 手順だけでなく、「魔法のことば」、「ありがちなNG」など、成功するためのヒントや失敗しやすい例が項目ごとにあり、実態に応じて発展的な調理や内容に取り組める。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣食住の項目ごとに色分けされており、完成までの手順が見開きで見やすく配置されている。 紙質が良く装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>衣食住に関する知識を分かりやすく紹介しており、身の回りの衣食住への興味・関心を引き出すことができる。写真には番号や矢印が加えられており、児童が手順を理解しやすいように工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1177 958 1490 1115"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								
種目	生活	書名	No.26 読んで見て楽しむ日本地図帳 増補改訂版	発行者名	学研				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の国土、自然、建造物、世界遺産、特産物、産業などの情報について詳しく示されており、日本の様々なことについて理解できる内容である。 47都道府県の詳細な情報が県の地図、写真とともに示してあるので、特徴を捉えることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに自然や特産物、産業などの様々な分野について日本全体のことを学習し、その後47都道府県それぞれの特徴について学習できるように配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵や写真、グラフなどが効果的に配置され、興味・関心のある内容を調べたり探したりしやすくなっており、児童の興味・関心や特性に応じて活用できる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き、または1ページに情報がまとめられており、分かりやすい。 漢字にはルビが振られているので読みやすくなっているが、文字は小さい。色彩は鮮明で視覚的に分かりやすい。 ページがめくりやすく、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>日本についての様々な情報が数多く掲載されている。文字を強調したり、色合いを工夫したり、枠で囲ったりすることで見やすく分かりやすく編集されている。大まかに日本について知ることができ、さらに詳しく知ることのできる内容になっている。</p> <table border="1" data-bbox="1193 1832 1506 1989"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種目	生活	書名	No.27 とことこえほん バスがきました	発行者名	童心社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな形をしたバス停に次はどんなバスが来るのか、想像力を働かせながら楽しんで読み進めることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さいバスから大きいバスへと変化し、最後に自分の乗るバス停にはどんなバスが来るか、自分と家族、仲間との関わりを考えながら学習できる配列になっている。 挿絵が見開き2ページと大きく、文字数も少なく児童が読みやすい分量になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物をシンボル化したものをバス停の形にしており、どんなバスが来るか児童が想像しやすいように工夫されている。 クイズ形式で構成されており、読み手とのやりとりに発展することができる。児童への読み聞かせにも適している。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵は単純化され、字の大きさや形が見やすい。色彩や印刷も鮮明である。 紙質がよく装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>次はどんな動物やバスが登場するか、児童が興味・関心をもって学習できる内容となっている。動物や乗り物への関心を高めることができるとともに、読み手とのやりとりも楽しむことができる内容になっている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	B	A	◎	
B	A								
◎									
種目	生活	書名	No.28 こども写真ひやか DVD 付きはたらくくるま大図鑑	発行者名	永岡書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分と身近な社会との関わりとして、働く車が採り上げられており、興味・関心を高めながら、働く車の種類や働きについて学習できる内容になっている。 「公共施設」や「交通機関」の利用にもつながる内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「工場現場ではたらく車」「サイレンカー」「街ではたらく車」の三つで構成され、さらに役割ごとに働く車が掲載されており、分類の概念形成にも役立つ。 車に付いている部位や道具について、ワンポイントの解説があり、それぞれの意味が分かるように示されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真が豊富に使われており、写真と解説を通して、働く車の大きさや役割、部位や機能が理解できるようになっている。 働く車に関する映像と解説のDVDが付いており、児童が興味をもった車を選んで見ることができ、意欲的に学習できるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚手の硬い紙で丈夫に作られ、装丁もしっかりしている。働く車はすべて写真で示されており、大きさが想像できるよう人や建物など比較するものを入れるといった工夫がされている。 三つの構成ごとに見出しの色を変えており、色でも分類し捉えることができるようになっている。 <p>(総評)</p> <p>働く車について、豊富な写真やDVDを見て理解を深めることができるようになっている。普段あまり見ることのできない働く車も紹介されており、児童の興味・関心を発展的に広げることができるように工夫されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種 目	生 活	書 名	No.29 はじめての日本地図絵本	発 行 者 名	世界文化社				
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本47都道府県の地形や県庁所在地、特産物などが、それぞれの県の地図の中に分かりやすい挿絵と言葉で紹介されているので、県の特徴を捉えやすい内容となっている。 「たびをするなかまたち」のキャラクターと一緒に本の中を旅するという観光ガイドブックのような形式になっているので、楽しみながら学習できる内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方ごとの区分で、その地方に関するクイズ等が挿入されており、地方区分も意識することができるよう工夫されている。 47都道府県の紹介の後に、日本地図上に自然や特産物等が分類されて提示され、日本全体について学習できるよう配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの県の県民性や方言、観光名所や特産物等親しみやすい内容が採り上げられ、なじみの薄い県についても興味・関心を喚起するよう工夫されている。 それぞれの県の特徴として採り上げられている項目や提示の形式が共通しており、項目ごとに分類したり比較したりするなどの発展的学習も可能である。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き、又は1ページに情報がまとめられており、見やすく分かりやすい。 基本的に平仮名で表記され、親しみやすい挿絵や字体が取り入れられており、見やすく分かりやすい。 <p>(総 評)</p> <p>地図に高い興味を示す児童には詳しい知識を提供できる。また、優しい雰囲気 of 挿絵と平仮名表記により、低学年児童にとっての親しみやすさがある。それぞれの都道府県の特徴を、興味・関心をもって楽しみながら学習できる内容となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1203 1081 1497 1205"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A		◎
B	A								
	◎								
種 目	生 活	書 名	No.30 ひとりでできる手づくりBOX しぜんで工作しよう	発 行 者 名	岩崎書店				
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 枝、葉、木の実、小石、流木等、身近な自然素材での工作例が数多く示されている。素材のおもしろさを味わうだけでなく、工作を通して、素材の特徴を理解することにつながる内容である。 同素材で複数の工作例が紹介され、児童の興味・関心に応じて、制作活動を展開することができるように配慮されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森、川、海、公園という多岐にわたる自然を採り上げ、多くの地域で身近に触れることができる素材を採り上げている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの場所で手に入りやすい素材を用いることで、制作活動だけでなく、その場所への興味・関心につなげることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品例が写真で多く紹介されており児童が制作するときにイメージしやすい。 制作工程が色彩豊かな挿絵で表現されており、見やすく工夫されている。 1ページの情報量が多すぎず、分かりやすくまとめられている。 <p>(総 評)</p> <p>身近な自然の素材を用いた工作例を通し、自然への親しみをもてるよう配慮されている。</p> <table border="1" data-bbox="1203 1921 1513 2045"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	○	○
B	A								
○	○								

	生活	書名	No.31 こども きせつのぎょうじ絵じてん 第2版小型版	発行者名	三省堂
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の年中行事の由来や歴史、使われる道具、まつわる言葉などが、豊富な挿絵とともに分かりやすく説明されている。行事の意義を理解したり、季節感を身に付けたりするきっかけにすることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年中行事や記念日、祝日などが月ごとのくくりの中で一つ一つの項目として採り上げられており、四季を感じながら順番に学んでいくことができる。また、興味・関心のあるところから学んでいくことも可能な配列となっている。 1ページや見開きで一つの内容を扱っており、適切な分量である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各月の初めのページがなじみのある季節の歌となっているなど、興味や関心を喚起しやすいような配慮がなされている。 各月の最後に関連する料理や工作のページが採りいれられており、行事に関する知識の習得だけでなく、発展的・体験的な学習が可能である。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目ごとの見出しが大きくて見やすく、挿絵の表情も豊かで、色彩も鮮明である。説明の文字の大きさ、文字数も適切である。 表紙の固さや大きさが適切であり、手に収まりやすく持ちやすい形状である。 <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な年中行事について、体験的な活動も交えながら多面的・体系的に学習することができる内容である。 				
価					
種目	生活	書名	No.32 ジャングルのおと	発行者名	大日本絵画
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜のジャングルや雨の音、ジャングルに生息する生物の鳴き声など臨場感のあるリアルな音を聞くことができ、児童の興味・関心を引き出すことができる。 絵の表面に所々穴やでこぼこがあり、感触を楽しむことができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜から日の出(朝)、昼から夕立(夕方)、そして夜へと一日の流れが分かりやすく配列されている。 動物には昼行性と夜行性のものがあることが分かるようになっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャングルの様子や動物の鳴き声などについて音を通して知ることができ、興味・関心を喚起することができる。 手で触って感触を確かめたり、音の出るスイッチを押したり、音を聞いたりすることができ、触覚や聴覚を活用して学習することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 色彩が豊かで、絵はかわいらしいが、動物の鳴き声や雨の音など実際に近い音を聞くことができるようになっている。 堅ろうでめくりやすい。 <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵や写真だけでは分からない実際の動物の鳴き声を聞くことができ、外出の機会の少ない児童でも動物園に行ったような臨場感を感じることができる。 				
価					

種目	生活	書名	No. 33 こどもぼうさい・あんぜん絵じてん	発行者名	三省堂					
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で起こりうる事故や自然災害, 犯罪などに備えて, 危険を回避して安全に暮らすための知識や方法を学ぶことができる内容である。 事故や自然災害, 犯罪などの危険が想定される場面や事象ごとに, 注意を向ける点や取るべき行動について理解を深めることができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故や自然災害などの事柄ごとに構成されている。更に一つのテーマごとに見開きで配列されているため, 学習場面に応じた活用ができるよう配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの項目ごとに挿絵に説明を添えた構成になっており, 発達段階や特性等に応じた学習ができるよう工夫されている。 交通安全教室や防災訓練等の事前・事後学習にも活用することができる。 見開きごとに保護者向けの補足説明があり, 家庭生活の中でも活用できるような配慮がなされている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な場面が分かりやすい挿絵で表現されており, 親しみやすく興味・関心をもって見ることができる。 紙質が良く, 丁寧な装丁で仕上げられている。 <p>(総評)</p> <p>日常生活の中で起こり得る事故や自然災害, 犯罪などについて理解し, 防災や防犯, 安全に対する意識や実践意欲を高めることのできる内容になっている。</p>					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A		◎
B	A									
	◎									
種目	生活	書名	No. 34 幼児絵本シリーズ (くまくんの絵本) どうすればいいのかな?	発行者名	福音館書店					
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供の熊の誤った着衣場面を示し, 正しい着衣の仕方を引き出す問い掛けになっており, 適切に衣服を身に付けることに興味・関心をもつことができる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の考えを引き出しやすいように, 見開きで一つの被服の身に付け方の誤りと正しい身に付け方が示されている。 日常的に身に付ける被服に絞って採り上げられており, 分量も適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小熊の誤った着衣場面をユーモラスに描くことで, 適切に被服を身に付けることに興味・関心がもてるように工夫されている。 読み手に問いかける文体により, 自ら考えようとする意欲を引き出すような配慮がなされている。 被服の種類によって「着る」「はく」「かぶる」など身に付けるときの適切な表現を学習することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字は大きく, 平仮名で書かれている。 白の背景に柔らかな色彩の絵が適切な大きさと配列されており, 捉えやすい。 表紙が厚く, 紙質も良い。 <p>(総評)</p> <p>日常的に用いる被服に興味・関心をもち, 適切に身に付けようとする意欲が喚起されるような構成になっている。</p>					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	B	A	◎	
B	A									
◎										

種目	国語	書名	No. 35 こどものとも絵本 しんせつなともだち	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活でよく使用されている言葉が平仮名で書かれており、絵本を繰り返し読むことで、身近な表現を身に付けることができる。 分かち書きで書かれているので、言葉のまとまりを捉えやすい。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵は見開き2ページを大きく使いとても見やすい。雪を表している白い部分に動物の様子が文章表現されており、その分量は適切なので、児童が飽きることなく何度も読むことができる。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親切にすることや友達への優しい気持ちに気付かせたり、考えさせたりできるように配慮されている。 描かれている動物は擬人化されているが実物に近く、動物本来の姿を想像できるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 横に長い形の書籍で、横への広がりがある構図の絵が描かれ、児童が魅力を感じるように工夫されている。 活字の大きさは適切であり、描かれている動物や風景は色彩豊かで見やすい。 <p>(総評)</p> <p>動物たちが友達へ野菜を届けようとする様子が描かれており、挿絵とそこで使用されている言葉を対比させることによって、言葉の意味や使い方を理解できるようになっている。</p>								
価			<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>		B	A	○	◎	
B	A								
○	◎								
種目	国語	書名	No.36 指さし・指なぞり あいうえお	発行者名	ひかりのくに				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一文字一文字にしっかりと注目しながら、指なぞりをすることによって、文字の形を感覚的に習得することができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きに一文字だけ採り上げ、その文字をじっくり学習できるように配慮されている。文字は五十音順に配列され、最後の「あいうえおひょう」で確認できる構成である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きの左側に、動物の特徴を強調した写真が掲載されている。写真を見ながらいろいろな言葉を投げ掛けることにより、指さしや言葉を引き出していくことができる。見開きの右側には、なぞるのに適度な大きさと太さで平仮名が示されており、文字の形に集中して指なぞりができるように配慮されている。 珍しい動物が多数採り上げられており、児童の興味・関心が喚起されるよう工夫されている。 同じ文字が語頭になっている他の単語も記載されている。また、それらを含む全ての単語の英語名も記載されているので、発展的な学習に取り組むことができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 色彩が鮮明で、写真と平仮名が左右にバランスよく配置され、見やすく工夫されている。 表紙が厚く、紙質が良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>見開きで写真と一つの文字をしっかりと対応させつつ、指さしや指なぞりなどをしながら、文字に親しんだり、習得したりすることができる。</p> <p>また、写真についての短い説明文が記載されており、読み聞かせをすることもできる。</p>								
価			<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>		B	A	◎	○	
B	A								
◎	○								

種目	国語	書名	No.37 くまたんのはじめてシリーズ よめるよめるよあいうえお	発行者名	小峰書店				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本を通して学習した文字や言葉を、そのまま実生活で生かせる内容となっている。 主人公の生活を通して平仮名五十音に親しむ構成、内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平仮名が五十音順で配列されており、1ページに一文字ずつ、そのページで学習する文字から始まる短文が表記されている。また、表・裏表紙の裏面にそれぞれ五十音表があり、学習のまとめとして活用できる。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公の生活の一場面を示した挿絵が描かれており、挿絵の内容を短文に表すことで、言葉に親しめるように配慮されている。 挿絵の中に、同じ文字で始まる言葉の絵が描かれているページがあり、発展的な学習につながるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 色彩が柔らかく、適当な余白があり、挿絵と短文が読みやすく配置されている。 表紙が厚く、紙質が良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>見開きで示された大きめの挿絵を見ながら、平仮名と文に親しめる内容となっている。初めて「あいうえお」を学ぶ際に、挿絵で様子を思い浮かべたり、動作化したりしながら、児童が楽しく学習に取り組めるように工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1166 949 1477 1066"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								
種目	国語	書名	No.38 ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1 (改訂版) (ひらがなのことば・文・文章の読み)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平仮名の単語の読みから短い文章の読み取りへと学習が進められるようになっている。 助詞や形容詞、接続詞、主語、述語などの文法も学習できる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語から短文、簡単な文章へと配列されており、文字も大きい文字から小さい文字へと変えていくなど易から難へと配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発音の練習や絵と言葉を対応させる学習から、挿絵や文を手掛かりに質問に答える学習構成になっており、段階的に言語や読解の力を身に付けることができるよう配慮されている。 最後の方には少し長めの物語や説明文が配置され、既習事項を生かしてまとめの学習ができるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が、挿絵から自分の経験したことを基にイメージを膨らませて、楽しく学習に取り組めるよう工夫されている。 カラー、白黒、数色のページが混在しており、目に優しく見やすい配慮がされている。 「やおや」の表記が数カ所見られ、情報の古さを感じる。 <p>(総評)</p> <p>発音から文法事項の理解や物語の読解まで、幅広く取り組めるように工夫されている。また、全て平仮名で表記されており、平仮名を読んで内容を理解する力を養うのに適している。</p> <table border="1" data-bbox="1177 1895 1489 2011"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A		◎
B	A								
	◎								

種目	国語	書名	No.39 ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2 (改訂版) (かたかな・かん字の読み書き)	発行者名	同成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活で使う片仮名や簡単な漢字を採り上げ、絵を見ながら学習することで、片仮名と簡単な漢字を読み書きする力を身に付けていく内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が分かりやすいように、片仮名が挿絵とともに五十音順に配列されている。 漢字の成り立ちを意識しながら、徐々に漢字の読み方と書き方の学習ができるよう、易から難への配列がきめ細かくなされている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が日常生活でよく目にする物を一文字につき一つずつ採り上げて片仮名で表現しており、学習しやすい。 最後の方には、直接文字をなぞったり書き込んだりできるページがあり、使いやすくなっている。書き取り練習では筆順を意識しながら文字を書く練習ができるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字が大きくて読みやすく、挿絵のレイアウトやバランスも適切である。 「ニス」「ザイル」など、児童があまり使わない言葉が見られる。 片仮名は大きな文字から小さな文字へ、漢字は少し大きめのままと読み書きしやすいように使い分けられている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>読むこと、書くことの順に配列されており、片仮名と漢字の読み書きを段階的に学習できる構成になっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A		◎
B	A								
	◎								
種目	国語	書名	No.40 ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3 (改訂版) (文章を読む、作文・詩を書く)	発行者名	同成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に身近な題材を、平仮名、片仮名、漢字を含む文章で採り上げ、読む力と書く力の両方が身に付く内容になっている。 文章教材が生活や季節と関連しており、自分の生活と照らし合わせながら考えて読むことができ、読解力を伸ばすのに適した内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節の行事や児童の生活との関連が図られている。文法的な内容を含めた、言葉についての様々な学習を通して、文章を読む力や作文、詩を書く力が無理なく育成されるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの作文や詩、日記、説明文など、多様な文章を採り上げており、言葉の意味の理解から文章の読み取りまで、能力に応じた学習ができるよう配慮されている。 最後に方言や手紙の書き方、ローマ字が採り上げられており、発展的な学習につなげることができる。 								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさや挿絵のレイアウトが適切である。教科書に直接書き込んで使うことができる。 <p>(総評)</p> <p>身近な題材に関する文章を読みながら、内容を理解したり、よく考えたりできるよう工夫されている。また、様々な観点で作文や詩を書くことを通して、児童が自分の思いを詳しく表現する練習ができるように配慮されている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種目	国語	書名	No. 4 1 ゆっくり学ぼうのための「くご」入門編2 (改訂版) (ひらがなの読み書き)	発行者名	同成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を見ながら拗音，促音，拗長音などを含めた平仮名の読み書きが学習でき，文字や単語を書く力を習得するのに適した内容になっている。 文字の読み書きの基礎となる異同弁別から読み書きまでを，系統的に学習できる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 異同弁別から始まり，読みから書きへと配列されている。読みは清音から濁音と半濁音へ，書きは線のなぞりから視写へと，教材の配列が易から難へと構成されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接文字を書き込めるページがあり，使いやすい。文字の書き取り練習では，筆順を意識しながら文字を書く練習ができるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字が大きく鮮明で読みやすい。分かりやすい挿絵が，文字や言葉の理解を促している。 								
価	<p>(総評)</p> <p>平仮名の読み書きを挿絵とともに段階的，系統的に学習できる構成になっている。文字を読む力や文字を正しく書く力を育成する指導の展開ができるように配慮されている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								
種目	国語	書名	No. 4 2 五味太郎のことばとかずの絵本 漢字の絵本	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に即した動作，事象，事物の名称に関する漢字が採り上げられており，漢字の読みや意味を理解するのに適した内容である。 小学校1，2年生で習う漢字を中心に採り上げ，漢字とその文字が表すものに興味をもてるよう工夫されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1ページ又は見開き2ページに，挿絵と関連した漢字が一緒に示されており，漢字の読み方や意味を分かりやすく捉えることができるように配列してある。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵は漢字の意味が分かるように簡潔に描かれており，トピックごとに楽しく学習できるように漢字の配列も工夫されている。 読み仮名と送り仮名が色分けされており，児童の特性や学習の習得状況に応じて読めるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 白地を基調とした上に，ユーモラスな挿絵と見やすい大きさの明朝体の漢字が鮮明に印刷されており，児童の目を引くように配慮されている。 紙質が良く，装丁もしっかりしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>分かりやすい漢字の表記と象徴的な挿絵により，漢字の読み方やその意味が理解しやすい内容になっている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種 目	国 語	書 名	No.4 3 五味太郎のことばとかずの絵本 ことばのあいうえお	発行 者名	岩崎書店				
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの文字に対して一人から二人の子どもが様々な動作をしている挿絵が掲載され、文字と言葉、動作や擬態語などを一緒に学習できる。動作に関連した言葉は、挿絵を基に児童自身の体験を、教師や友達と話し合うことのできる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1ページに一文字ずつ表記し、ページ配列は五十音順になっており、児童が学習しやすい。 採り上げた文字について、児童が動作化を通して、体感しながら言葉を習得できるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページの上段に平仮名、片仮名、ローマ字、同じ文字から始まる言葉の挿絵が提示してあり、児童が既習事項を繰り返して学習するだけでなく、発展的な学習に取り組めるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーモアのある挿絵により、生き生きとした画面構成になっている。 場面に応じて、活字の大きさや書体を変えており、児童が興味をもつような表現になっている。 紙質や装丁がしっかりしている。 <p>(総 評)</p> <p>日常的な行動や様子を表す言葉とユーモラスで分かりやすい表現の挿絵により、平仮名五十音に対する興味・関心を喚起し、動作に関連した言葉を実生活でも使うことができるように工夫されている。片仮名やローマ字の学習に発展させることも可能である。</p> <table border="1" data-bbox="1161 1014 1473 1133"> <tr> <td data-bbox="1161 1014 1315 1066">B</td> <td data-bbox="1315 1014 1473 1066">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1161 1066 1315 1133">○</td> <td data-bbox="1315 1066 1473 1133">◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種 目	国 語	書 名	No.4 4 ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐら	発行 者名	福音館書店				
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公のネズミたちが森で大きな卵を見つけ、知恵を出し合ってカステラを作り、仲間と一緒に食べるという、場面の展開を楽しむことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文節の間に余白が作られていたり言葉遊びを取り入れてあったりして文が読みやすく、内容が理解しやすいように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の表情や動きが豊かであるとともに、たくさんの動物や調理器具などが登場し、児童が興味・関心をもつことができるよう配慮されている。 リズムカルな文章による、展開が分かりやすい物語なので、役割分担をして音読する等の発展的な学習につなげることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵は色彩豊かで柔らかく親しみがもてる。動物や草花がかわいらしく丁寧に描かれている。 <p>(総 評)</p> <p>言葉遊びの文章では、言葉に思い思いの節を付けて読み進めることができ、文字だけでなく音韻を感じて読むこともできる。聞いたり読んだりして言葉に親しむことから、読解の学習へ発展させることが可能である。</p> <table border="1" data-bbox="1161 1888 1473 2007"> <tr> <td data-bbox="1161 1888 1315 1939">B</td> <td data-bbox="1315 1888 1473 1939">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1161 1939 1315 2007">○</td> <td data-bbox="1315 1939 1473 2007">◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	国語	書名	No.45 五味太郎・言葉図鑑(6) くらしのことば	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶の言葉を中心に、生活の中で時と場に応じた言葉の使い方があることを児童が楽しみながら理解できる内容となっている。 ・ どのようなときに、どのような言葉で、どのように人と関わるのかを、挿絵を見ながら効果的に学習できる内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶の言葉や接続詞などが日常の生活場面に応じて示されている。 ・ 話し言葉を通して、人と関わる様子が分かりやすく配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挿絵の人物の表情が言葉の意味を上手に表現しており、児童の興味・関心が喚起されるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩が豊かで親しみやすい挿絵で、レイアウトの仕方も工夫されている。手書きの文字で言葉が載せてあり、児童が理解しやすくなっている。 ・ 紙質が良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>生活の中の様々な場面の言葉が数多く採り上げられている。「つなぎことば」や「あいづちことば」など、理解が難しい言葉を挿絵と一緒に見ながら学習することで、意味や使い方を理解しやすくしている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	国語	書名	No.46 五味太郎・言葉図鑑(1) うごきのことば	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の場面を採り上げ、平仮名と挿絵で動詞を楽しく学べる内容になっている。 ・ 絵本の中の挿絵を見て「うごきのことば」を動作化したり、その場面を考えたりしながら動詞を学習することができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動詞の索引を挿絵とともに巻末に掲載しており、動詞を五十音順に復習するなどの学習活動にも取り組むことができるように配慮されている。 ・ 児童にとって身近な言葉が採り上げられており、一日の生活の中で使う言葉や遊びの中で使う言葉など、分かりやすいように場面ごとに分けて配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を見て楽しむ、言葉の意味を絵で知る、似た意味や反対の意味の言葉を見付けるなど、児童の特性や能力に応じて多様な学習が展開できるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩豊かで親しみやすい挿絵が、見開きいっぱいに印刷されており、レイアウトの仕方も工夫されている。 ・ 紙質が良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>日常生活の中で使われる動詞を、挿絵を活用して楽しく学習することができる。家庭生活や学校生活、社会生活と、様々な場面で行動と関連した動詞を学習できるよう配慮されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A		○
B	A								
	○								

種目	国語	書名	No.47 日本むかし話 おむすびころりん	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の代表的な民話の一つで、誠実な生き方をテーマとした内容である。 リズムカルな語り口調の文章を通して、民話特有の言葉の響きを楽しむことができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じような展開の場면을繰り返し採り上げ、両者の行動や挿絵を対比させることにより、内容を理解しやすいようになっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話や擬態語、擬音語が多く使われており、読み聞かせを通して、会話のおもしろさや言葉の響き、リズムの楽しさを味わうことができる。 文章は分かち書きで書かれており、言葉のまとまりを意識しながら読むことができるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた色彩でユーモアのある絵が見開きに展開され、児童が興味をもちやすい配慮がされている。 紙質が良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>素朴な中にも温かく、親しみのある民話である。物語の展開が分かりやすく、読み聞かせや劇化などの学習に、児童が楽しみながら取り組むことができる内容である。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	国語	書名	No.48 フランソワーズのえほん ありがとうのえほん	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公が短い表現で日常の生活を話す形式と、カラフルでかわいらしい挿絵で構成されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きの左ページに文章が、右ページに挿絵が配置され、児童が内容を理解しやすいよう配慮されている。 児童の身近な物や動物などが柔らかい色彩で描かれており、児童が親しみをもって物語に触れることができるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師からの読み聞かせを楽しむことに加え、児童自らが平仮名で書かれた文を読んだり言葉のリズムを感じたりする楽しさを味わうことができる。 親しみやすい挿絵を見ながら読み進めるうちに、主人公の「ありがとう」の気持ちを自然に感じ取れるよう配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字は丸みのある書体で茶色の文字で書かれた文章の中に「ありがとう」の文字だけがカラフルな色彩で表現されており、文字から言葉の温かさを感じ取りやすい。 厚手で手になじむ紙質を使用している。 <p>(総評)</p> <p>主人公が読み手に話す形式で展開され、児童が主人公の気持ちを身近に感じることができる。文字を読む楽しさを味わい、共感しながら読み進めることのできる題材である。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								

種目	国語	書名	No.49 もじのえほん かんじ1	発行者名	あかね書房				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校1年の配当漢字に多い象形文字や指事文字を中心に採り上げ、漢字の成り立ちを簡単な物語によって分かりやすく表している。 漢字自体が物や事象を表しているという漢字学習で大切なポイントを押さえた内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちについて絵・抽象・漢字の順に組織的に配列され、最後に読みの確認ができ、実際の生活の中で読んだり、書いたりする学習に活用できるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 象形文字や指事文字としての漢字の成り立ちが、分かりやすい絵で示されており、児童の興味・関心を喚起して理解しやすいように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵や文字、文のレイアウトが適切である。 厚手で良質な紙を使用しており、装丁がしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>日常よく使われる漢字を中心に、成り立ちを物語風に分かりやすく描いているので、親しみやすく、児童が興味・関心をもって学習を進めることができる。</p> <p>読み進めながら、自然に漢字を理解することができるよう工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1182 936 1495 1093"> <tr> <td data-bbox="1182 936 1337 981">B</td> <td data-bbox="1337 936 1495 981">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1182 981 1337 1093"></td> <td data-bbox="1337 981 1495 1093">◎</td> </tr> </table>					B	A		◎
B	A								
	◎								
種目	国語	書名	No.50 もじのえほん かたかなアイウエオ	発行者名	あかね書房				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな挿絵とリズムカルな短い文章で構成され、絵本を楽しみながら片仮名の学習ができるように工夫されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 五十音順で配列されており、それぞれの音で多くの例が示され、児童の発達段階に応じて学習できるよう工夫されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての片仮名にルビが振られていて、初めて片仮名に触れる児童にも学習しやすいものとなっている。 白抜きで文字が強調されており、文字の形を意識して学習することができる。 文章がリズムカルであり、声に出して読むことで、音の楽しさを味わいながら学習することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵は大きく、色彩は鮮明である。 厚手の良質な紙を使用しており、扱いやすくなっている。 <p>(総評)</p> <p>一つ一つの片仮名について、親しみやすい挿絵と簡単な文章で説明されており、楽しみながら学習できるよう配慮されている。また、リズムカルな文章表現により、音読する楽しさを味わえるよう工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1198 1832 1511 1989"> <tr> <td data-bbox="1198 1832 1353 1877">B</td> <td data-bbox="1353 1832 1511 1877">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1198 1877 1353 1989">○</td> <td data-bbox="1353 1877 1511 1989">○</td> </tr> </table>					B	A	○	○
B	A								
○	○								

種目	国語	書名	No.51 バムとケロのおかいもの	発行者名	文溪堂				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公が友達と一緒に市場へ買い物に出掛ける話で、日常生活の身近なエピソードを盛り込んだ内容となっている。 読み聞かせを通して、絵を見ながら考えたり想像したりすることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵と簡潔な文章によって、テンがよく話が展開されていく。文章は日常よく使われている言葉で表記されており、児童が理解しやすいように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が買い物をする場面では、登場人物の表情や動きがとても豊かに描かれていて、児童の興味・関心を喚起するよう配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのページははっきりとした色彩で表現されており、各場面の描写は細やかで丁寧である。主人公や他の登場人物の表情が大変ユーモラスに描かれていて、親しみやすい。 紙質が良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>買い物に行くという身近な場面設定が、児童の経験と照らし合わせて捉えやすく、買い物の楽しさや失敗したことなどを共感できる内容になっている。挿絵の表現が鮮明で、絵を見ながら豊かに想像したり、話を発展させたりできるよう配慮されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	国語	書名	No.52 こどものとも絵本 おおきなかぶ	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ロシアの代表的な民話の一つで、日本でも有名な話である。教師と一緒に見たり、読み聞かせを聞いたりしながら楽しめる内容である。 大きなかぶをみんなで力を合わせて抜くというストーリーを通して、自分の力だけではできないことでも、仲間の力を借りればできるということや、仲間と連携するよさを味わえる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が次々に出てくる場面やかぶを引っ張る場面において、繰り返しの表現を用いることにより、物語の展開を理解しやすく、児童が楽しめる内容になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮城県出身の彫刻家佐藤忠良氏による大きな挿絵によって、登場人物の表情や気持ちが分かりやすく描かれている。 かぶを引っ張る掛け声の繰り返しを通して、児童も一緒になって大きな声を出したり、動作化したりして楽しむことができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 優しい色彩で臨場感あふれる絵が見開きに大きく展開され、児童が親しみやすいよう配慮されている。 紙質が良く、装丁がしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>日本でも親しみのある民話である。物語の展開が分かりやすいので読み聞かせの他に、劇化や動作化などの発展した学習にも、楽しみながら取り組ませることができる内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A	◎	○
B	A								
◎	○								

種目	算数	書名	No.53 ミーミとクークのあか・あお・きいろ	発行者名	ひさかたチャイルド				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や図形の学習の基礎となる色の弁別を学習できる内容である。 身近な動物や植物、乗り物などを題材として採り上げており、実物と関連させて色について学習することができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な12色が採り上げられており、児童が関心をもって学習することができるように配列され、学習するのに適切な分量である。 赤・青・黄色の3色については、それぞれ4ページずつ、その他の色については、2色を1ページ程度で記載している。色がイメージできる挿絵が描かれ、色の名称を学習できる内容になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な動物や植物、乗り物などが描かれ、同じ色の仲間集めの学習にも活用できる。 描かれている物に平仮名で名前が表示されており、児童にとって分かりやすい。 最後に12色の風船が描かれ、振り返り学習ができるよう工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上質の厚紙が使用されており、装丁もしっかりしている。文字は丸ゴシック体で使用されていて見やすい。 <p>(総評)</p> <p>児童の生活に関わる身近な物がシンプルな描画と彩色で表現されているので、児童が興味・関心をもち、楽しく学習を進めることができる。</p> <table border="1" data-bbox="1182 958 1493 1122"> <tr> <td data-bbox="1182 958 1342 1010">B</td> <td data-bbox="1342 958 1493 1010">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1182 1010 1342 1122">◎</td> <td data-bbox="1342 1010 1493 1122"></td> </tr> </table>					B	A	◎	
B	A								
◎									
種目	算数	書名	No.54 ミーミとクークの1・2・3	発行者名	ひさかたチャイルド				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の挿絵と簡単な文で、1から10までの数概念を楽しく学習できる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数字、数詞、簡単な文と挿絵が見開きで、さらに同じレイアウトでまとめられているため、見やすく、分量も適当である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の挿絵は、児童の興味・関心が高まるように動きを入れたり種類を変えたり工夫されている。 挿絵は大きくはっきりしているので、指さして実際に数えながら学習するのに適している。 3種類の助数詞を用い、数える対象によって数え方が異なることを理解しやすいように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵は、はっきりした色使いであり、黒の縁取りもされているので見やすい。 上質の厚紙が使用されており、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>はっきりした配色と挿絵により、1から10までの数字と数量、数詞の関係が分かりやすく、挿絵に動物を使うことで児童が楽しく学習できる内容になっている。</p> <table border="1" data-bbox="1201 1861 1513 2024"> <tr> <td data-bbox="1201 1861 1361 1912">B</td> <td data-bbox="1361 1861 1513 1912">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1201 1912 1361 2024">◎</td> <td data-bbox="1361 1912 1513 2024">○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								

種目	算数	書名	No. 55 あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんの まる・さんかく・しかく	発行者名	金の星社
評					
価					
種目	算数	書名	No. 56 あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんの いち・に・さん	発行者名	金の星社
評					
価					

(1)

- 児童が親しみやすい身近な動物や道具を題材にして、丸、三角、四角の特徴を採り上げており、基本的な図形について学習するのに適した内容である。
- 丸、三角、四角の物をそれぞれ探すことで、遊びながら身の回りの形に興味・関心をもつことができる内容である。

(2)

- それぞれの図形について、挿絵の数を少しずつ増やしたり、三つの図形を組み合わせたなど、易から難へ無理なく学習できるように配慮されている。
- 挿絵の中から基本的な図形がたくさん探し出せるように工夫されている。

(3)

- 見開きのページで、一方には言葉遊びを採り入れた文が書かれ、もう一方のページにはそれに対応した挿絵が描かれている。児童の特性や発達段階に応じて発展的な学習にも取り組むことができるように配慮されている。

(4)

- 挿絵は、一つの図形に対して単色で彩色されているため、図形に着目しやすい。
- 紙質が良く、装丁もしっかりしている。

(総評)

シンプルな形と彩色、黒の縁取りにより、挿絵が見やすく、基本的な図形の特徴を理解しやすい。また、身近な物を採り上げたことで、身の回りの形への興味・関心を広げることができる内容である。

B	A
◎	

(1)

- 身近な食べ物や動物などの挿絵を見ながら、1から10までの数字と数詞、数量を関連付けて楽しく学習できる内容である。

(2)

- 数字と数量の関係が見開きで簡潔にまとめられており、数量が理解できるように大きな挿絵で示されている。また、5以下の数と5より大きい数の違いを明確にするため、数字と挿絵の左右を入れ替える工夫が見られる。

(3)

- 言葉遊びの面白さを生かした数え方について短文で紹介し、挿絵と関連付けて数字や数詞が覚えられるように工夫されている。
- 数字や数詞、短文を見開きの一方のページ、挿絵をもう一方のページというように分けて掲載され、挿絵と数字、挿絵と数詞、挿絵と短文を関連付けて数概念の習得ができる。

(4)

- 数字や数詞、短文が黒字で簡潔に表現され、挿絵は鮮やかな色彩で描かれている。
- 紙質が良く、装丁もしっかりしている。

(総評)

1から10までの数概念について、鮮やかな色彩とシンプルな挿絵で楽しく学習できるように工夫されている。

B	A
◎	○

種目	算数	書名	No. 57 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1 (量概念の基礎, 比較, なかま集め)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の身近な生活の中から題材を選び, 数量に関わる基礎的な内容を中心に採り上げて, 量概念の基礎を築けるような内容となっている。 挿絵をきっかけにして, 実際に見たり, 探したり, 比べたり, 作ったりすることで, 数量について学習できるように配慮されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事や遊びの中から, 様々な量の概念, 比較, 仲間集めが理解できるように, 段階的, 系統的に配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題が要点を押さえた簡潔な文で表現され, ゲームなどの実際の活動を通して基礎的な数の概念を学ぶことができるように工夫されている。 ページ下に「指導の展開」が示され, 指導者の参考とすることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい挿絵と語句で構成され, 字の大きさは適切であり, 見やすい。 紙質が良く, 扱いやすい。 <p>(総評)</p> <p>児童の日常生活における身近な場面や物を題材にしながら, 数量に関わる基礎的な思考力を身に付けることができる。</p> <table border="1" data-bbox="1182 943 1493 1099"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								
種目	算数	書名	No. 58 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2 (1対1対応, 1~5の数, 5までのたし算)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一対一対応, 1から5までの数, 5までのたし算を段階的に学習できる内容である。 集合数としての捉え方, 数字の読み書き, 記号(+, =)の意味や使い方を, 児童が分かりやすい簡単な言葉を使いながら学習できる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体物, 半具体物, 数詞, 数字を対応させながら, 基礎的な数概念が段階的に理解できるように配列されている。具体物と併せてタイルなどを用いて, 徐々に抽象的思考に移行できるように配慮されている。 数概念の発達を促す操作活動の挿絵が適切に配置されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な言葉や挿絵で課題を効果的に提示し, 題意を把握しやすくなっている。 児童が書き込める練習問題があり, 学習の定着が図れるよう工夫されている。 ページ下に「指導の展開」が示され, 指導者の参考とすることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 字の大きさは適切であり, 見やすい。 学習課題や学習内容を簡単な言葉で大きく提示し, 分かりやすい挿絵を使っているの で, 内容を把握しやすい。また, 濃淡を付けるなど細やかな配慮がされている。 挿絵や矢印など操作や考え方の順序が分かるように表現が工夫されている。 紙質が良く, 扱いやすい。 <p>(総評)</p> <p>具体的な挿絵を使って, 基礎的な数概念の形成と0から5までの数概念の獲得, たし算ができるように工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1195 1834 1506 1993"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>					B	A	◎	
B	A								
◎									

種目	算数	書名	No.59 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6～9のたし算, ひき算, 位取り)	発行者名	同成社				
<p>評</p> <p>価</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 和が6から9までの数になるたし算, 1桁の数のひき算, 2桁の数の位取りなどを段階的に学習できる内容である。 6から9までの数の構成を「5のかたまり」で意識させるとともに, 視覚的に捉えながら学習できる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体物や半具体物, 数詞, 数字の関係を結び付け, 視覚的に数の理解が進むよう配慮されている。基礎的な数概念が段階的に理解できるように配列され, 徐々に抽象的思考に移行できるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵とタイトルを用いて, 和が6から9までの数になるたし算と1桁のひき算の意味が分かりやすく提示されている。また, 身近な物や日常生活場面を採り上げて, 二つの数の大小比較, 2桁の数の位取りなどについて例題を提示し, 児童の興味・関心が喚起される工夫がされている。 児童が書き込める練習問題があり, 学習の定着が図れるよう工夫されている。 ページ下に「指導の展開」が示され, 指導者の参考とすることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさと挿絵のバランスが良く, 見やすい。 挿絵や矢印などで操作や考え方の順序が分かるように表現が工夫されている。 <table border="1" data-bbox="1155 931 1469 1093"> <tr> <td data-bbox="1155 931 1311 983">B</td> <td data-bbox="1311 931 1469 983">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1155 983 1311 1093">○</td> <td data-bbox="1311 983 1469 1093">◎</td> </tr> </table> <p>(総評)</p> <p>2桁の数と位取り, 1桁の数のたし算とひき算がタイル操作などを通して, 段階的に学習できるように工夫されている。</p>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	算数	書名	No.60 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4 (くり上がり, くり下がり, 2けたの数の計算)	発行者名	同成社				
<p>評</p> <p>価</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な物やタイルを用いて数量を意識できるように構成され, 繰り上がりのあるたし算, 繰り下がりのあるひき算を中心に, 2桁の数のたし算, ひき算を段階的に学習できる内容である。 カレンダーの見方や数量の単位も扱い, 生活に生かせるように工夫されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体物, 半具体物, 数字の関係を結び付け, 繰り上がりや繰り下がりの計算が段階的に習得できるように配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりや繰り下がりの計算をイメージできるように, タイル操作を取り入れた練習問題が豊富に用意されている。 タイルの操作方法の挿絵が適宜掲載されており, 児童の思考を助けられるよう配慮されている。 児童が書き込める練習問題があり, 学習の定着が図れるよう工夫されている。 ページ下に「指導の展開」が示され, 指導者の参考とすることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさ, 挿絵などのバランスが良い。 <table border="1" data-bbox="1155 1827 1469 1989"> <tr> <td data-bbox="1155 1827 1311 1879">B</td> <td data-bbox="1311 1827 1469 1879">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1155 1879 1311 1989"></td> <td data-bbox="1311 1879 1469 1989">◎</td> </tr> </table> <p>(総評)</p> <p>タイル操作を繰り返し, 繰り上がり, 繰り下がり2桁の数の計算が段階的に学習できるように工夫されている。</p>					B	A		◎
B	A								
	◎								

種 目	算 数	書 名	No.6 1 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5 (3けたの数の計算, かけ算, わり算)	発 行 者 名	同成社		
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3桁の数のたし算, ひき算, かけ算九九, かけ算, わり算, 数量の単位, お金の種類の基礎について, タイルを活用しながら学習できる内容である。 タイル操作を基に, 筆算の仕方の理解を深めることのできる内容である。 文章題は, 簡潔な一文で題意が捉えやすいことから, 立式しやすくなっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算の学習では, 易から難へと配列されており, 計算の仕方が理解できたら文章問題でも考えられるようになっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容を理解するための挿絵やタイル図が十分にあり, 児童の思考の手助けとなるよう配慮されている。 かけ算九九の唱え方が記入されていたり, 計算練習が多く取り入れられていたりして, 学習の定着を図ることができるよう工夫されている。 ページ下に「指導の展開」が示され, 指導者の参考とすることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさと挿絵のバランスが良い。 挿絵や矢印などで, 操作や考え方の順序が分かるように表現が工夫されている。 <p>(総 評)</p> <p>3桁の数のたし算やひき算, かけ算, わり算, お金の計算, 単位の換算などを通して, 数に関する学習を総合的に行うことができる。</p>					B	A
種 目	算 数	書 名	No.6 2 おかあさんだいすき 1, 2, 3	発 行 者 名	あかね書房		
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の親子の触れ合いを見ながら, 数概念と数字の読み書きに興味をもって学習できる内容である。 初歩的な数概念を習得する段階にある児童が, 数えることに興味をもったり, 数字の書き方をなぞり書きで学んだりできる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1から10までの数を段階的に学習できるように配列されている。さらに, 10までの数の適用問題の後に, 20までの数についても学習できるようになっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数字は大きく表示され, 書き順と矢印を見ながら, 指でなぞって学習できるように工夫されている。 数字と動物の数を対応させることで数概念が育つよう工夫されている。 物語の要素を取り入れ, 同じパターンを繰り返すことで, 児童が次を予測して学習を進めることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 装丁はしっかりしており, 紙質が良い。挿絵の配色も鮮やかである。 動物の挿絵に動きがあり, 視覚的に楽しめるようになっている。 <p>(総 評)</p> <p>数概念と数字の読み書きについて, 読み聞かせをしながら, なぞり書きや指さしをして楽しく学習できるように配慮されている。</p>					B	A

種目	算数	書名	No. 6 3 とけいのえほん	発行者名	戸田デザイン研究室				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一日の生活の流れに沿って、時計の読み方を挿絵から学習できる内容である。 ・ 生活の中での時刻の意味について関心もてる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間の経過を身近な生活や自然界の様子と結び付け、時計の見方と読み方、時刻の概念を学ぶことができるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アナログ時計と文字で書かれた時刻とともに生活に沿った挿絵が見開きで示され、児童の興味・関心が喚起されるように工夫されている。 ・ 「時」の単位の読み方を中心としているが、最後に「分」の単位にも触れ、時計への興味・関心もてるよう工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時計の文字盤の数字が6色で色分けされるなど、時計の読み方が分かりやすく示されている。挿絵は大きく分かりやすく描かれ、大変見やすい。 ・ 紙質が良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>生活と結び付けながら、時計の読み方を学習することに適している。</p>								
価	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								
種目	算数	書名	No. 6 4 21世紀幼稚園百科⑥ かずあそび 1・2・3	発行者名	小学館				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1から10までの数概念について、数唱から数の合成・分解まで分かりやすく学習できる内容である。 ・ 100までの数の数詞、数字、具体物の三項関係を学習することができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一対一対応から数の比較、5や10の合成や分解、順序数、100までの数について、易しい内容から難しい内容へ系統的に学習できるように配慮された構成になっている。 ・ 生活場面との結び付きも意識されており、発展的な学習へつなげることができるように配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体物を半具体物、数字へと段階的に置き換えることで、具体物と数字の対応が分かりやすく示されており、児童が整理して理解しながら学習することができる。 ・ 生活場面で使われる数字を扱うことで、児童が日常生活と結び付けて数概念を身に付けることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体物をイメージしながら数えられるよう、親しみやすい写真が数多く使われている。 ・ 厚紙が使用されており装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>児童が身近な具体物をイメージしながら数えられるよう、簡潔な問いに対応した写真が配列され、数や数量に興味・関心をもって数概念の学習ができるよう工夫されている。</p>								
価	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								

種目	算数	書名	No.65 三省堂 こども かずの絵じてん	発行者名	三省堂			
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数詞, 集合, 一対一対応, 同数, 多少の比較, 数の分解, 0 の概念, 序数など日常生活に必要な数の学習を広く取り入れた内容になっている。 カレンダーや時計の読み方, 助数詞, お金についても採り上げ, 実生活に生かすことができる内容である。 							
価	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「1～5」, 「6～10」, 「1～10」, 「2けたのかず」, 「とけい」, 「カレンダー」, 「おかね」の単元で構成され, 児童の実態に合わせて学習できるように工夫されている。 							
	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページでまとまり, 簡潔な問いに答えるような内容になっていて, 学習する内容が明確である。 保護者向けの解説が各ページ右上や巻末に掲載されていて, 保護者の協力を得られやすいよう配慮されている。また, 指導の際の参考にもなる。 							
評	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵や写真は, デザインや色調が明るく親しみやすい。文字もゴシック体ではっきりしていて分かりやすい。 見出しが単元ごとに色分けしてあり, 分かりやすい。 紙質が良く, 扱いやすい。 							
	<p>(総評)</p> <p>数の合成・分解, 集合, 時計, お金, 買い物, カレンダーなど日常生活に必要な事柄を題材にして構成されていて, 暮らしと関わらせながら数の学習をすることに適している。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○
B	A							
○	◎							
種目	算数	書名	No.66 音のでる知育絵本⑥ とけいがよめるようになる!! とけいくん	発行者名	ポプラ社			
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> アナログ時計の長針, 短針の位置と時刻の関係について, 実際に時計の教材を操作しながら楽しく学習できる内容となっている。 							
価	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 時計の構造の説明から始まり, 長針, 短針の意味, 時刻の読み方へと細かなステップで理解できるよう配列されている。 							
	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> アナログ時計の教材が付いており, 児童が実際に操作しながら学習できる。 ボタンを押すと5分ごとに時刻を読み上げたり, ゲーム形式で音声どおり時刻を合わせたりする機能があり, 児童の興味・関心を高めながら学習できるように工夫されている。 							
評	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を進めるステップごとにページの色を変え, 学習内容のまとまりが分かりやすくなっている。また, 本と教材の時計が見比べやすいよう縦長に置く形になっている。 色彩が鮮やかで, 紙質が良く, 装丁もしっかりしている。 							
	<p>(総評)</p> <p>時計の絵本の中に, 音声機能の付いた教材が組み込まれているため, 児童が楽しみながら意識を集中させて時刻の学習ができる。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	
B	A							
	○							

種目	算数	書名	No.67 かずのほん3 0から10までのたしざん	発行者名	童心社
評					
価					
種目	算数	書名	No.68 せべまさゆきあそぶえほん かぞえてごらん ぜんぶで100	発行者名	偕成社
評					
価					

(1)

- 生活や遊びなど具体的な場面の挿絵を題材に、0から10までのたし算とひき算を取り扱った内容である。
- たし算、ひき算の典型的な場面を用いて、たし算、ひき算の意味を理解できるように配慮された内容である。

(2)

- 挿絵によるたし算、ひき算の意味理解から、半具体物、数式による計算へと段階的に理解できるように配慮されている。
- 初めに5までのたし算、ひき算を扱い、次に0を含むもの、そして5から10までのたし算、ひき算を扱っており、教材の配列が易しい内容から難しい内容へと配慮されている。

(3)

- 挿絵による問題場面の把握がしやすく、タイルと人の絵を用いて具体的な場面での「足す」「引く」の数の操作と計算の意味が理解できるよう工夫されている。
- 巻末には「解説」が掲載されており、指導者の参考とすることができる。

(4)

- 紙質が良く、装丁も丈夫である。
- 数字や挿絵が大きく見やすい。

(総評)

10までのたし算とひき算の意味が児童に分かりやすい言葉と挿絵で説明されており、計算へと導くよう工夫されている。

B	A
	○

(1)

- 10のまとまりを意識しながら数えるという体験を通して、数に親しむことができる内容である。また、色や動物の種類による仲間分けの学習にも活用できる。

(2)

- 見開きごとに1種類の動物などが示されており、様々な場面で100という数を探り上げ、100の概念が捉えやすいように配列されている。
- 巻末に、登場した様々な動物が10ずつ示され、合わせて100となるように構成されており、動物などの種類により分ける発展的な学習ができるように配慮されている。

(3)

- 動物や人などの数える対象をそろえて示しており、助数詞についても意識することができるように配慮されている。
- 100は10のまとまりを10集めた数であることを、挿絵の色や大きさなどを手掛かりに視覚的に捉え、理解しやすいように配慮されている。

(4)

- 挿絵の動物などの表情が豊かで、児童に親しみやすい表現になっている。
- 土の中や牧場、木の枝、水の中などを挿絵に採り入れ、身の回りのものに数が存在していることを示し、数を身近に感じられるように配慮されている。

(総評)

100という数は10のまとまりを10集めた数であることを、見開きごとに学べる構成になっている。挿絵の表情が豊かで、児童が数えてみたくなるものとなっている。主として比較的理解の早い児童に適した内容である。

B	A
	○

種目	算数	書名	No.69 せべまさゆきあそぶえほん さがしてごらん 100にんかくれんぼ	発行者名	偕成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵の中の人物を順序よく探したり、違いを認識して弁別したりできる内容である。 100という数概念を、10ずつのまとまりとして囲んだり、分けたりすることができるように構成されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとにすべての異なる100人分の挿絵から、対象となる10人をそれぞれ探すことにより、記憶を保持したり、変化を発見したりしながら弁別できるように工夫されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹き出し内の質問に応じてページ内の人や物を探したり、数えたりすることで、発展的な学習ができるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物の表情や背景が明るく、色彩も鮮やかで児童にとって親しみやすい表現になっている。 表紙が厚く、紙質も良く扱いやすい。 <p>(総評)</p> <p>人物の特徴を捉えることにより、繰り返し学習できる構成になっている。比較的理解の早い児童の使用に適している。</p> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	○	○
B	A								
○	○								
種目	図工	書名	No.70 かがくのとも傑作集(わいわいあそび) しんぶんしでつくろう	発行者名	福音館書店				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な素材である新聞紙を使って、丸める、折る、破るなどの活動から、新聞紙を素材とした作品で遊ぶ集団遊びまで様々な活動が紹介されている。 自分たちで準備する、制作する、遊ぶ、片付けるなどの体験的な活動の中で、友達と十分に関わりながら造形遊びを楽しむことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ちぎる、丸める、切るなどの簡単な技法から、接合する、組み立てるなどの技法まで幅広く取り入れることで、よりダイナミックな活動が展開できるように構成されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品で遊んでいる子どもの表情が豊かで、挿絵それぞれにストーリー性があり、児童の造形遊びへの興味・関心を喚起できるように工夫されている。 児童の実態に合わせて、どの遊びからでも行うことができ、更に応用した遊びも考えられる。一人でも多人数でも活用できる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きを見ただけで、どんな活動をするのか、何を作るのか、学習の見通しを立てやすい構成である。 見やすい紙面構成で、色彩も落ち着いている。 <p>(総評)</p> <p>新聞紙という身近な物でも簡単な技法で十分に造形遊びの楽しさを味わえるように工夫されている。児童の様子が生き生きと表情豊かに描かれていて、活動の楽しさが伝わる本である。</p> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								

種目	図工	書名	No.7 1 かがくのとも傑作集 (わいわい・あそび) かみコップでつくろう	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙コップを様々な直線や曲線で切ることにより、動きのある多様な作品の作り方を紹介している。できあがった作品を使って、友達と関わりながら様々な遊びを楽しむことができるよう工夫された内容になっている。 はさみ、セロハンテープ、カッターの使い方など、児童の発達段階に応じて用具の使い方が学習できるよう配慮されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 切るだけの作品から、貼り付けたり組み立てたりする作品へと、制作方法が易から難へと構成されており、児童の発達段階に応じて活用できるよう配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作り方や遊び方が挿絵と説明文で分かりやすく示されており、作品で遊んでいる子どもの表情が豊かで児童の興味・関心や制作意欲を喚起するよう工夫されている。 造形活動に親しみながら、はさみやセロハンテープなど道具の使い方が学習できるように配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作り方や遊び方が見開きの挿絵で示された見やすい紙面構成で、色彩が美しく、装丁もしっかりとしている。 <p>(総評)</p> <p>紙コップ、はさみ、カッターを使って作る楽しさを十分に味わい、出来上がった作品で楽しく遊ぶことができるよう工夫されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	図工	書名	No.7 2 あそびのひろば1 はんがあそび	発行者名	ポプラ社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な素材との関わりによる初歩的な造形活動を通して、版画への興味・関心を引き出すことができる内容である。 手や野菜、葉っぱなどを使った簡単なスタンプ遊びから、きりやカッターを用いるステンシルなどまで、様々な技法を用いながら版画に親しむことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> こすりだしや葉っぱの版画など、刃物を扱うことが難しい児童でも取り組める内容となっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作の手順が親しみやすい挿絵と説明文で分かりやすく提示されている。 身近なものの活用の仕方に加え、技法に応じた用具の扱い方にも慣れることができるよう工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた色調で作品例が紹介され、表紙が厚く装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>身近な素材と簡単な技法で、版画遊びの楽しさを十分に味わうことができるように工夫されている。プレゼントの包み紙やTシャツ、年賀状など、季節の行事や生活の中での活用例が示されていて、生活を豊かにできるよう配慮されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	図工	書名	No.73 あそびの絵本6 ねんどあそび	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 何度でも作り直せる粘土の特性を生かし、指先を使って十分に素材と関わりながら造形活動に取り組むことができる内容である。 鉛筆立てやカップなど身近な物が題材として採り上げられており、完成後は生活に生かしたり、作品を使って遊んだりできるよう配慮されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘土の基本的な扱い方から、板作り、ひも作りなどの技法まで幅広く採り上げられており、段階的に取り組むことができるよう配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に応じて、様々な技法の中から選択して活動ができるよう配慮されている。 見開き2ページごとに、完成作品と作り方が挿絵で分かりやすく示されており、挿絵を参考にしながら制作できる構成になっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵が簡潔で分かりやすく落ち着いた色調で描かれ、装丁もしっかりしている。 説明は全て平仮名で書かれているが、文字が小さめで、やや読みにくさがある。 <p>(総評)</p> <p>素材の特徴を生かした造形活動を通して、粘土遊びの楽しさを十分に味わうことができる内容となっている。</p> <p>ある程度文章を読む力が求められることと併せ、手指の巧緻性を求められる技法もあり、主として理解の早い児童に適している内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A		○
B	A								
	○								
種目	図工	書名	No.74 あそびの絵本17 えのぐあそび	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵の具に親しむことで、造形活動についての興味・関心をもつことができる内容である。 絵の具の特性を生かした様々な技法（混色、にじみ、型押し、吹き絵、スパッタリング、デカルコマニーなど）が採り入れられ、それらを楽しみながら造形遊びに親しむことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指で絵の具に触ることから始め、様々な道具や手法を用いての制作活動まで、基礎的な技法に段階的に取り組める構成になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの制作活動を通して、次の制作や遊びへと発展できるよう配慮されている。 見開きの中に完成作品と準備物、作り方が挿絵で分かりやすく示されており、ある程度文章を読む力は求められるが、視覚的に児童が理解しやすいように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品例の色彩が美しく、装丁もしっかりしている。 作品ごとにユニークな見出しが付けられており、児童の制作意欲を喚起するよう工夫されている。 <p>(総評)</p> <p>絵の具を用いた簡単な技法を通して、造形遊びの楽しさを味わえるよう工夫されており、知的好奇心や想像力を養うことができる内容構成になっている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A	◎	○
B	A								
◎	○								

種目	図工	書名	No.75 あそびのおうさまずかん12 リサイクルこうさく増補改訂	発行者名	学研				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ペットボトルや牛乳パック、空き缶など家庭にある廃材を使い、切る、貼る、塗るなどの簡単な技法で、工作の楽しさが味わえる内容である。 作品を使った体験活動やリサイクルを促すことで、環境や社会とのつながりを意識させることができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備や片付け、道具の種類や使い方などをしっかりと学習できる構成になっている。 簡単に作れるおもちゃから、生活に役立つものまで多様な作品が掲載されており、児童の興味・関心や発達段階に応じて取り組むことができる内容となっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工作に使用する道具や使い方が多数紹介されており、多様な素材を用いた工作への意欲が喚起されるよう工夫されている。 作品例が豊富な写真で紹介されており、視覚的に児童の興味・関心を引き出すことができるよう配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真による作品例が多く、児童が制作するときにイメージしやすい。 全て平仮名で書かれているが、文字が小さめで1ページ内の情報量が多く、やや読みにくさがある。 <p>(総評)</p> <p>リサイクル意識を高めながら、身近な材料で楽しくつくったり遊んだりすることができるよう工夫されている。素材も作品例もたいへん豊富である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	図工	書名	No.76 たのしい工作教室 たのしいこうさくきょうしつ1	発行者名	さ・え・ら書房				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある様々な材料や用具を用いて、多様な作品をつくることができ、初歩的な造形活動を通して、工作の楽しさを味わえる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な技法でつくることのできる題材が採り上げられており、児童の興味・関心に応じて、様々な作品をつくって遊ぶことができるよう配慮された構成になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品例や作品を使った遊びの挿絵が掲載されており、児童の制作意欲を引き出すことができるよう工夫されている。 簡潔な文と親しみやすい挿絵で制作手順が分かりやすく示され、完成作品も写真で提示されており、児童が見通しをもって活動できるように工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーモアある表情豊かな挿絵により、楽しく見やすい紙面構成となっている。 表紙が厚く、紙質も良く、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>身近な材料を使い、簡単な技法で作品をつくる面白さと、作品を使って遊ぶ楽しさを十分に感じることができるよう工夫されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A		◎
B	A								
	◎								

種目	図工	書名	No.77 えがうまくなるほん 5・6さい対象	発行者名	ひかりのくに				
評価	<p>(1) ・ 描くコツや手順を分かりやすく示すことで、児童の描画意欲を高めることができるとともに、想像力、観察力、集中力を養うことができる内容となっている。</p> <p>(2) ・ 運筆の練習から始まり、いくつかの形が組み合わさってできた複雑な絵まで、易しいものから難しいものへと段階的に描くことができるよう配列されている。 ・ どの絵にも、なぞり描きやアレンジ例があり、練習用スペースが確保されているので、児童の発達段階に応じて効果的に学習することができる。</p> <p>(3) ・ 絵が完成するまでの順序と描き方が分かりやすく示されており、スモールステップで進めることができる構成になっている。 ・ 自由に描くことができるページや、発展例、応用例が示された挿絵があり、児童の発達段階や興味・関心に応じて、様々な活用ができる工夫がなされている。</p> <p>(4) ・ 描き方の方向が矢印で示されていたり、描き方の説明部分が色塗りで提示されたりして、見やすいよう工夫されている。 ・ 明るく柔らかな色彩の挿絵で説明しており、2ページ見開きの見やすい紙面構成になっている。</p> <p>(総評) 線描きや色塗りなどの描画活動を通して、絵を描く楽しさが味わえるよう工夫されている。比較的理解に時間がかかる児童の使用に適している。</p> <table border="1" data-bbox="1169 945 1481 1106"> <tr> <td data-bbox="1169 945 1326 999">B</td> <td data-bbox="1326 945 1481 999">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1169 999 1326 1106">◎</td> <td data-bbox="1326 999 1481 1106">○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								
種目	書名		発行者名						
評価	<table border="1" data-bbox="1129 1845 1442 2007"> <tr> <td data-bbox="1129 1845 1286 1899">B</td> <td data-bbox="1286 1845 1442 1899">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1129 1899 1286 2007"></td> <td data-bbox="1286 1899 1442 2007"></td> </tr> </table>					B	A		
B	A								

大河原地区教科用図書採択地区協議会

専門員会調査概要報告

令和3年度使用

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）

中学校

[中学校・特別支援部会]

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書32冊を調査した。

特別支援学級に在籍する生徒は、一人一人特性が異なり、それに伴った教育的ニーズもオーダーメイドである。生徒それぞれの学び方があり、指導や支援方法も多岐にわたる。生徒の特性や実態に適した教科用図書とは、将来の生活に役立つ基礎的・基本的な知識を学ぶことができ、教員の工夫で社会的自立に向けた指導や支援に広がりをもてる図書であることが大切である。

内容に関しては、資料に偏りがなく生徒の様々な実態に対応できる幅広い内容が扱われている。また、将来の自立と社会参加を念頭においた広がりのあるものが多く、出版社、出典等もしっかりとしたものである。

組織と配列に関しては、多くの図書が内容を項立てて編集しており、生徒の発達段階に応じ、基礎的・基本的な学習から発展的な学習まで幅広く活用できるものである。また、季節や行事等と関連がはかられ組織的、系統的に配列されている。子供たちの日常生活と密接に関係のある身近な題材が多く取り上げられており、分量的にも適切である。

学習と指導に関しては、実態に即して文字ばかりでなく視覚的に分かり易いよう写真やイラスト等が効果的に使われており、生徒の興味関心を惹き付ける工夫がされている。また、教員の発想や工夫により、発展的にも学習に取り組むことができるものである。

表現と体裁等に関しては、文字・デザインともに見やすく分かりやすい工夫がなされ、ほとんどが読みやすい文字の大きさ、色で書かれている。また、カラフルなイラストや写真で内容を補足してあり、生徒の学習意欲を刺激し、親しみやすく魅力的なものである。製本は堅ろうかつ良質な紙を使用しており、生徒が学習しやすい工夫がされている。

今回調査した32冊について、視覚的にも感覚的にも分かり易く教員の工夫によって発展的な学習に取り組むことができるものばかりである。また、内容に関しては、将来の社会的自立を見据えた中学生にふさわしいものである。

以上、全32冊の調査研究の結果、いずれも教科用図書として適切であることを報告します。

種目	国語	書名	No.1 声に出すことばえほん おくのほそ道	発行者名	ほるぷ出版				
評価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮城県を含む東北にゆかりのある松尾芭蕉の「奥の細道」を扱っており、生徒に知っておいてほしい内容となっている。 声に出して読むことで、言葉の響きや五七五のリズムに親しむことができる内容になっている。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表的な俳句で構成され、無理なく学習を進めることができる分量である。 松尾芭蕉が実際に歩いた順番に俳句が配列され、表紙裏の地図とリンクしており全体像がイメージしやすい。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字にルビが振っており、漢字が不得意な生徒にとっても、声を出して言葉の響きやリズムを楽しむことができるように配慮されている。 実際に芭蕉が俳句を詠んだ史跡を訪れてみるなどの校外学習にも活用できる。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 風景の絵が鮮やかな色彩でシンプル且つ大胆なタッチで描かれており、俳句の内容を感じ取りやすい。また、装丁もしっかりしており扱いやすい。 <p>(総評)</p> <p>身近な題材に関する文を読んだり、その風景をイメージしたイラストを見たりすることで、内容を理解したり考えたりできるように構成されている。</p> <table border="1" data-bbox="1129 891 1460 1008"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	社会	書名	No.2 子どものマナー図鑑3 でかけるときのマナー	発行者名	偕成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が外出したり施設を利用したりする際に必要なルールやマナーが豊富に掲載されている。分かりやすい言葉で書かれた説明文と挿絵を見ながら、ルールやマナーについて幅広く学習できる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動車にのる」など、生徒にとって身近な日常生活から、「コンサートに行く」など非日常的なことまで、事前に知っておくことで安心して参加するためのマナーやルールについても触れていて、生徒の行動の広がりにも対応した配列になっている。また、想定されるテーマごとに見開きでまとめられていて、分量と区分も適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵は親しみやすいタッチで描かれていて、どの生徒も興味・関心を持って学習できる内容である。良いマナーと悪いマナーの双方について扱われており、自分の行動の善悪について振り返ることができ、その後の生活に生かすことができるようになっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字は少し小さめであるが、漢字にはすべてルビが振られているので、漢字が読めない生徒でも挿絵と説明文で内容を理解することができる。色彩は落ち着いた色合いで、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>外出するときに必要なマナーやルールが豊富に扱われている。分かりやすい挿絵と説明文で簡潔に解説されているため、比較的理解に時間がかかる生徒にも提示の仕方次第で使用できる。公共の交通機関や施設などの利用のマナーに関する学習に適している、体験学習や余暇の過ごし方の指導などに効果的である。</p> <table border="1" data-bbox="1137 1921 1460 2038"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	社会	書名	No.3 子どものマナー図鑑4 おつきあいのマナー	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が日常生活で関わる人々や、暮らしている場所でのより良い付き合い方について、豊富な挿絵と説明文でわかりやすく示されている。まわりの人たちとどのように付き合いえば良いかが理解しやすく、自立や社会参加に向けた学習ができる内容になっている。 「いじめ」や「さべつ」について考えるページもあり、人権に関する学習へも展開できる内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭のマナーから学校、地域社会のマナーへと発展的に学習できるように配列されている。 一つのテーマが見開きで配列されていて、区分や分量も適切で分かりやすい。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見やすい挿絵と説明文によって実際の場面が想起しやすい。事例が豊富にあるため指導したい内容を選択して取り扱うことができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字にはすべてルビが振られているので、漢字が読めない生徒でも挿絵と説明文で内容を理解することができる。色彩は落ち着いた色合いで、装丁もしっかりしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>日常生活における具体的な場面を設定し、豊富な挿絵と説明文を見ながら分かりやすく学習できる。学びながらソーシャルスキルを身に付けることもでき、生徒が日常生活におけるコミュニケーション力の向上を図り、自立や社会参加に向けた学習ができるように配慮されている。</p> <table border="1" data-bbox="1066 958 1433 1075"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	社会	書名	No.4 地震防災えほん じしんのえほん こんなときどうするの？	発行者名	ポプラ社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な場面で、地震が起きたときにどのような危険があるか、安全な行動をとるためにはどうすればよいのかを学習できる内容である。 保護者向けのアドバイスもあり、家族で防災の意識が高められる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「下校中」や「留守番中」など、日常的な生活や行動として考えられる場面毎に地震の様子が提示されていてイメージしやすい。生徒が対応を学ぶ上で、区分も適切である。 ページ数は、特に理解に時間がかかる生徒にとって負担なく学べる分量である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面ごとに地震の際の危険ポイントとどのように身を守ればよいかが、挿絵や説明文で簡潔にまとめられている。また、それぞれの場面で「こんな時どうする？」という問いかけがあるために、生徒が興味・関心を持ち、主体的に考えることができる。挿絵もイメージしやすいものとなっていて、生徒が理解しやすい内容になっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明文は平仮名で書かれていて、漢字が読めない生徒でも内容が理解できる。 挿絵は柔らかな色彩で親しみやすい。厚手の表紙を使用し、装丁もしっかりしている。 								
価	<p>(総評)</p> <p>地震が起きたときにどのように対応すればよいかが身近な生活の場面ごとに示されていて、生徒たちが理解しやすい配慮がされている。ただし、生徒の被災体験による心の状態に考慮して使用する必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1104 1859 1433 1975"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	社会	書名	No.5 マナーやルールがどんどんわかる！ みちかなマーク 新装改訂版	発行者名	ひかりのくに				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中でよく目にするマークや標識を扱っている。指示や禁止などの意味を学習することで、生徒の社会生活の利便性が高まる内容となっている。 国旗や都道府県、防災に関するマークなど様々な分野のマークを扱っていて、生徒が興味・関心を高めながら幅広く学習できる内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマや生活の場面ごとに見開きでマークが掲示されていて区分が分かりやすい配列となっている。また、身近なマークから地域のマスコットキャラクターまで掲載するなど、幅広く学習できる内容となっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターが案内してくれる構成になっていて、生徒が興味・関心を持ちやすくなるように工夫されている。また、解説も会話表現になっているため、楽しみながら学習を進めていくことができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 取り扱いやすいサイズで、表紙も厚く、装丁もしっかりしている。 実際のマークや標識と同じ色彩で描かれており、実生活でも学習したことを生かしやすいように工夫されている。 <p>(総評)</p> <p>生徒が日常生活の中でその場所でのルールを守ったり様々な情報を得たりすることができるような内容になっている。親しみやすいキャラクターを使用しているため、理解に時間がかかる生徒も、興味を持って取り組める。</p> <table border="1" data-bbox="1129 969 1453 1086"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	社会	書名	No.6 いちばんわかりやすい 小学生のための 学習世界地図帳	発行者名	成美堂出版				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の自然や地形、産業、文化などについてまとめられていて、生徒が世界各国の様子や人々の暮らしについて興味・関心を持って学習に取り組める内容である。 「国と国とのつながり」について、国連などの国際機関も採り上げていて、現在の世界情勢についても発展的に学習できる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各国の歴史や産業、観光名所などがコンパクトにまとめられている。 衛星写真と地図の両方が配列され、世界の地形と各州や各国の地形を比較しながら特徴をつかむことができるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産などの歴史的な建造物や産業、名産、名所について挿絵や写真付きで説明がまとめられていて、生徒の興味・関心を喚起する工夫がなされている。 世界地図、世界の国旗、世界の国かるたが付録としてあり、生徒が楽しみながら学習できるよう工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字は小さめであるが、見やすい文字体で使用され、漢字にはルビが振られていて読みやすい。写真や挿絵なども多く、見やすく配置されている。 <p>(総評)</p> <p>地域ごとに多くの国々についてまとめられていて、生徒の多様な興味・関心に応じて学習を進めることができる。比較的理解に時間が掛かる生徒には、情報量が多い</p> <table border="1" data-bbox="1134 1912 1461 2029"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種目	社会	書名	No.7 いちばんわかりやすい 小学生のための 学習日本地図帳	発行者名	成美堂出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の各都道府県のデータや地図などが、地方区分ごとに分かりやすくまとめられていて、地域の様子や文化などについて幅広く学習できる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方区分ごとに都道府県の歴史や産業、観光名所などがまとめられていて、様々な地域について、生徒が興味・関心を持って学習することができる配列になっている。 衛星写真と地図の両方が配列されていて、地形や河川など日本全体の地形について見比べながら学習できるように配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や挿絵が豊富にあり、図表も簡潔に示されていて、生徒が具体的にイメージを膨らませながら学習できる内容になっている。 とじ込み付録として47都道府県の基本データや日本全図があり、都道府県の特色について発展的に学習ができるようになっている。「都道府県かるた」は、授業の導入や復習に活用できる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字は小さめであるが見やすい文字体で使用され、漢字にはルビが振られていて読みやすい。写真や挿絵なども多く、見やすく配置されている。 <p>(総評)</p> <p>日本の自然や産業などについてテーマに沿ってまとめられていて、生徒の多様な興味・関心に応じて学習を進めることができるが、理解に時間がかかる生徒には、情報量が多い。</p>								
価									
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A		○
B	A								
	○								
種目	理科	書名	No.8 絵本図鑑シリーズ12 のはらのずかん 野の花と虫たち	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な植物や生物が、季節や場所ごとに紹介されており、植物や虫等の名称と、生息する環境とそのつながりについて学ぶことができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季の移り変わりに合わせてまとめられており、理解しやすい配列になっている。 季節や場所ごとに植物や昆虫等の様子が見開き2ページでまとめられていて分量も適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な植物や昆虫が、色彩豊かで緻密な挿絵で示されており、生徒の興味・関心を惹く工夫がなされている。 四季ごとにまとめられているので、一年を通して活用でき、観察にも使用できる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字は少し小さいが、植物や昆虫の挿絵が美しく色彩も鮮明であり、十分補うことができる。また、漢字にはルビが振ってあり装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>身近な自然を採り上げ、挿絵も色彩豊かで緻密に描かれていて生徒が実物を探し観察できる内容である。理解力がある生徒向けであるが、理解に時間の掛かる生徒も絵を見て、花や昆虫の名称や形状を知る資料として活用できる。</p>								
価									
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	理科	書名	No.9 21世紀幼稚園百科11 からだのふしぎ	発行者名	小学館				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体各部位や内部の器官の構造と働きが、分かりやすく説明されている。 病気やけがの症状と処置や、食品と栄養の関係についても扱われており、実生活に生かすことができる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 耳や目など、外から見てわかる部位から心臓や腸といった身体内部の器官まで幅広く扱い、テーマごとに分かりやすく配列されている。また、消化器、呼吸器、循環器、神経系と、生徒にとって人体の働きが実感しやすいものから順に配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体のメカニズムや動き、健康面に関する内容も含まれており、保健体育科との関連が考慮されている。 保護者向けの説明や補足があり、家庭生活と結びつけた学習に役立てることができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚手の紙を使用しており、手先が器用でない生徒にとっても扱いやすい。 活字は全て平仮名で表記され、見出しを大きな文字にしたり、絵や写真を多く取り入れているので、見やすく工夫されている。 <p>(総評)</p> <p>身体部位や内部器官の構造の働きなど、人体の基本的な仕組みについて学習できる内容となっている。幼児向けのため、イラスト、写真、表現が少し幼いところがある。理解に時間がかかる生徒にとって内容は難しいので支援の工夫で補うとよい。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	理科	書名	No.10 新版ふしぎ・びっくり!? こども図鑑ちきゅう	発行者名	学研				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽や星の動きから自然の事象、気象の変化まで、幅広く扱われており、身近な自然の現象について興味・関心を広げることができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 疑問に対して答えていく形式でまとめられており、見開き2ページの分量も適切である。「ちきゅうと星」など4つのテーマで区分され分かりやすく配列されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> きれいで分かりやすい写真を豊富に使用し、生徒がイメージしやすい。また、自然現象の不思議さを採り上げ、生徒の興味・関心を惹く工夫がなされている。 難しい事象についても、挿絵や簡素で分かりやすい表現で説明するなどの配慮がなされている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字はあまり大きくないが、漢字には全てルビが振られており、写真や挿絵の色彩も鮮明で、大きく提示されとても見やすい。装丁もしっかりとして扱いやすい。 <p>(総評)</p> <p>解説には写真や挿絵を豊富に使用し、解説も平易な言葉で生徒が理解しやすいように工夫されている。自然に興味があり、理解力がある生徒は、自分でも読み進めることができるが、理解に時間のかかる生徒は、写真やイラストを上手に活用すると楽しい授業が展開できる。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	理科	書名	No.11 米村でんじろう先生のスーパー個人授業 すごい！うちでもこんなことができるんだ！！	発行者名	主婦と生活社
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な素材を用いて、様々な実験が楽しくできる内容となっている。 実験そのものが題材であり体験的に学ぶことができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験ごとに2ページの見開きで、準備や実験方法、応用等の構成で統一されており、見やすく理解しやすい配列である。 遊び感覚の実験から科学的な実験へと発展できるよう工夫されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「卵がたった!？」など生徒が興味を持つようタイトルに工夫がされている。 イラストや写真が豊富でどのように実験を行えばよいか、理解しやすい。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字は小さめであるが、漢字にはルビが振られており読みやすい。 				
価	<p>(総評)</p> <p>難しい理科の項目を実験という楽しい活動を通して体験的に学ぶことができるよう配慮されている。理解力のある生徒の使用に適しているが、教員の工夫によって理解に時間がかかる生徒に対しても十分活用できる内容である。</p>				
				B	A
				○	◎
種目	美術	書名	No.12 ペーパーランド8 おりがみえあそび	発行者名	ポプラ社
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 折る、合わせるなどの基礎的な技能を身につけることができる。 手順通りに作るだけでなく、絵を描き加えたり、背景と合わせたりすることによって、生徒の創造力が養われる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較的簡単なものから、徐々に難易度が上がるように段階的に配列されている。 生徒が、自らの実態や興味・関心に合わせて選択することができる適切な分量である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 折り方は、平仮名による説明とカラーの図で分かりやすく示されている。比較的理解の早い生徒は、自分で手順を見て制作することもできる。 基礎的な折り方を繰り返し活用し身につけられるよう、内容が工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物を多く採り上げているため、親しみを感じやすい。 折り方には番号が振られ、説明文と図がバランスよく配置されていて見やすい。 装丁がしっかりしている。 				
価	<p>(総評)</p> <p>視覚的に理解しやすい構成で、比較的理解の早い生徒の使用に適している。比較的理解に時間のかかる生徒でも、教師と一緒に作れる作品が掲載されている。</p>				
				B	A
				○	◎

種目	美術	書名	No.13 国土社の図工えほん8 紙そめ	発行者名	国土社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的な紙染めの技法について簡潔に紹介されている。また、紙を折ったり、配色を工夫したりすることによって、様々に変化する染め物も掲載されている。生徒が楽しみながら造形的な活動ができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な道具や材料、手法の紹介から、発展的なものへと段階的に配列されている。 裏表紙には箱に貼り付けた例が写真で掲載されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙を折る、染料にひたすという基礎的な技能を繰り返し活用し、身につけられるようになっている。比較的理解の早い生徒には、染料の薄め方や配色の工夫など、より発展的な内容を学習できるようになっている。 完成した作品で日常的に使用する作品の制作等に生かすことができ、他の学習活動への発展が期待できる内容になっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 色鮮やかな完成作品が、分かりやすく簡潔な表現の説明文とともに示されている。文字にはルビが振ってあり読みやすい。 <p>(総評)</p> <p>紙染めの技法が分かりやすく示されていて、生徒の造形活動への意欲が喚起できる内容になっている。</p> <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	美術	書名	No.14 うつくしい絵	発行者名	偕成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外の著名な画家の作品を採り上げ、作品の背景を紹介することで、絵画鑑賞の仕方を親しみやすく学ぶことができる内容になっている。 作者の意図や時代背景を学びながら鑑賞することで、生徒の感受性を刺激する内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5人の世界の画家ごとに代表作品と作品の完成に至る経緯などがまとめられている。掲載作品の内容は分量・区分ともに適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵画鑑賞の視点や作者の表現意図が分かりやすい文章で解説されている。鑑賞する際にポイントとなる絵の一部分を拡大して示すなど、理解しやすいよう配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像が大きく鮮明で、細部まで鑑賞できる。活字も大きく、漢字にはルビが振ってあり読みやすい。作者名をゴシック体で表示したり、読み進め方を矢印で表示したりするなどの配慮がある。 <p>(総評)</p> <p>世界的に著名な作家とその作品を採り上げて分かりやすい言葉で説明を加えることで理解を容易にしている、芸術作品の初歩的な鑑賞に適している。</p> <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								

種目	美術	書名	No.15 はじめての絵手紙教室	発行者名	マール社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な対象物をよく観察し、感じたことを絵手紙独特の技法で描くことで、写実的な表現にとらわれず、楽しんで表現活動に取り組むことができる。 絵手紙の基本を学び、絵手紙を通してコミュニケーションを広げることに役立つ内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な用具やその使い方、手法、作品のレイアウトなどが系統的に配置され、生徒の制作意欲を喚起しやすい。 季節感のある作品例が多数掲載されていて、日常生活と関わらせた学習が可能である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感じたことを伝え合うコミュニケーションの手段として、発展的な学習が可能。 筆の持ち方や動かし方などが写真付きで説明されている。実物大の作品例が多く、実態に合わせてトレースしたり、部分的に参考にして表現したりしやすい。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作の手順がカラー写真と説明文でバランスよく掲載されている。 平易な言葉が多いが、難しい用語が含まれていることもある。全編を通してルビが振られていないため、説明文の理解は支援が必要と思われる。 <p>(総評)</p> <p>作例が多く、活動がイメージしやすいため、生徒の意欲を喚起しやすい。説明文はやや難解なので、教師が説明し、写真で理解させるのがよい。</p> <table border="1" data-bbox="1066 887 1433 1003"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A		○
B	A								
	○								
種目	美術	書名	No. 16 ハートアートシリーズ 色のえほん	発行者名	視覚デザイン研究所				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の三原色、三属性、混色など、色彩に関わる基本的な事項が平易な言葉と実際の色の見本により、視覚的に理解できるような内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ストーリーを楽しみながら、色彩の基礎を感覚的に理解できるよう配慮されている。 要素別に7話で構成されていて、前話と関連付けながら発展的にストーリーが展開されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容に関するトピックが各話ごとの最後に設けられていて、比較的理解の早い生徒は、表現活動に生かすなど、発展的な学習に活用することができる。 カラフルな色彩が随所に散りばめられ、内容が理解できなくても見ていたくなるような、生徒の興味・関心を惹き付ける構成になっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を読まなくても、視覚的に捉えられるよう配慮されている。 ルビは振られていないが、文字が大きく、平易な言葉遣いで説明されているため読みやすい。 上質な紙で装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>色に関する知識を楽しみながら学ぶことができる。色が似ている、似ていないという感覚的な理解から、専門的な用語による系統立てた学習にまで幅広く対応している。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1821 1433 1937"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	保健体育	書名	No.17 子どもの生活6 じょうぶなからだになれるよ!	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活を送るために必要な事柄を採り上げ、日々の生活で気を付けていくことで自分の体に興味をもち、健康への意識を高められる内容になっている。 日常生活の場면을数多く扱っていて、生徒が関心を高めやすい内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマごとに、見開き2ページで構成されていて、適切な分量になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親しみやすいイラストで生徒の興味・関心を惹きつけ、分かりやすい説明が加えられていて、生徒が理解しやすい内容になっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み手に語りかける解説やアドバイス、イラストや保護者への補足説明などがバランスよく配置され、生徒と保護者(教員)と一緒に読み進めることができる工夫もされている。 生徒向けの説明文はすべてルビが振られていて、読みやすくなっている。 <p>(総評)</p> <p>身近な題材と親しみやすいイラスト、分かりやすい説明があるので、生徒が学習に意欲的に取り組むことができる内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	保健体育	書名	No.18 シリーズ生活を学ぶ6 わたしたちのからだ	発行者名	福村出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の成長に伴う心身の変化や健康な生活についての基本的な事柄が学習できる内容になっている。 発育や発達に関心をもち、健康な生活を送ろうとする意欲を高められる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成長に伴う男女の性差や身体の変化、日常の生活での健康管理など、大きく5つのテーマに分けられ、更に細かなテーマごとにまとめられているため、実生活に合わせて学習しやすくなっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な言葉と分かりやすいイラストで、内容が理解しやすいよう工夫されている。 幼児から成人までのイラストを添えることで、成長の流れが理解しやすいよう工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な漢字を用い、さらにすべての漢字にルビが振られており、読みやすく工夫されている。 厚手の表紙で装丁されていて、繰り返しの学習に耐えうるようになっている。 <p>(総評)</p> <p>成長に伴う心身の変化や、健康的な生活を維持するための内容を学習することができるようになっている。</p> <p>一部、現在使われていない表現もあるため、指導においては、表現を置き換えるなどの配慮が必要である。また、学習する内容が偏りすぎないように、生徒の発達段階に応じて内容を取捨選択するなど、教師側の取り扱いに注意する必要がある。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	B	A		○
B	A								
	○								

種目	保健体育	書名	No.19 改訂新版体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう	発行者名	ひかりのくに		
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の体について、部位ごとの構造や働きをバランスよく解説していて、自分の体についての興味・関心を高めることができる内容になっている。 項目ごとに詳細に解説されていて、生徒の学習意欲を喚起する内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに1～4ページにまとめられており、さらに大きなテーマごとに関連する内容がまとめられており、系統的に学習を進められるよう配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や親しみやすいイラストが豊富に使われていて、説明を補助している。 解説量が豊富であるため、内容を取捨選択して使用することで、基本的な学習から発展的な学習まで、幅広く使用できる内容になっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストや写真、解説文など、内容が豊富であるが、バランスよく配置されているため、見やすい仕上がりになっている。 解説文の文字サイズは小さめだが、平易な言葉で書かれており、ルビが振られているため、学習しやすくなっている。 <p>(総評)</p> <p>人体の各器官について詳しく紹介されていて、生徒の理解の早さや発達段階に応じて、学習内容を調整しながら取り扱うことができる。</p>					B	A
	○	◎					
種目	保健体育	書名	No.20 イラスト版からだのしくみとケア 子どもとマスターする58のからだの知識	発行者名	合同出版		
評 価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人体の仕組みについて、目に見える部位だけでなく、普段目にするのでできない臓器や栄養のことなど、細かな項目ごとに解説されている。 生徒が自分の体に興味を持ち、疑問に思ったことが解決できるよう詳細に解説した内容である。 仕組みだけでなく、簡単にできる日常の手入れの仕方も解説されており、生徒の自立した生活に結びつけて指導できる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに1～4ページでまとめられていて、関連する内容と前後して掲載されているため、系統的に学習を進めることができる。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストと解説文で項目ごとに豊富な情報量になっているため、生徒の発達段階や理解の早さに応じて、内容を取捨選択することで、基礎的な学習にも発展的な学習にも活用することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすいイラストが多く用いられており、内容理解を補助している。 全編モノクロ印刷だが、文字は小さめのものが多く、ルビが振られていないため、理解に時間がかかる生徒には内容を補助する必要がある。 <p>(総評)</p> <p>項目ごとに詳しく解説されているため、解説の文字の小ささとルビのない点を補うことで、基本的な学習から発展的な学習まで幅広く活用できる可能性がある。</p>					B	A
		○					

種目	職業・家庭	書名	No.21 お料理大好き！ 新・子どもクッキング	発行者名	女子栄養大学出版部				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な作り方で調理できるものを中心に掲載されていて、調理の基本的な技術を身に付けるのに適した内容となっている。 生徒が取り組みやすいメニューを数多く掲載し、意欲を喚起できるよう配慮されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な料理が食材別・ジャンルごとに分けられ、また、ごく簡単なメニューから複数のメニューを組み合わせたコース料理まであり、生徒の興味・関心に合わせた指導が出来るよう配慮されている。 季節ごとの行事等との関連を考慮した献立も掲載されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身支度や器具、用語などの説明に加え、初歩的なものから難易度が上がった内容のメニューまで幅広く掲載されているため、発展的に学習を継続できるよう配慮されている。 イラストや写真が適切に使用され、理解しやすい内容になっている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい表現で説明が加えられていて、カラーの写真や親しみやすいイラストにより調理方法や手順が視覚的にも理解しやすくなっている。 <p>(総評)</p> <p>比較的簡単に調理できるメニューが多いことで、生徒の意欲を喚起できる内容になっている。また、分かりやすい内容・構成になっているため、比較的理解の早い生徒は自分で見ながら調理を行うことができると思われる。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	職業・家庭	書名	No.22 坂本廣子のひとりでクッキング7 おべんとうつくりよう！	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> お弁当を作る時の約束事や注意点を分かりやすく具体的に示している。 準備から片付けまでの流れをじっくり学習できる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> メニューごとに道具、材料、手順が分かりやすく示されていて、学習しやすい構成になっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な調理方法や手順の少ないメニューが、完成時の写真や親しみやすいイラストで掲載され、生徒が調理に取り組みやすいよう工夫されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順や道具等が分かりやすく簡潔な表現で示されている。 堅牢な表紙と厚手の紙で製本されていて、調理の際に繰り返し使用することを想定して作られている。 <p>(総評)</p> <p>分かりやすい説明と親しみやすいイラストで、お弁当向けのメニューが解説されていて、生徒の意欲を喚起しやすい内容になっている。比較的理解の早い生徒には、マニュアルとして見ながら自分で調理に取り組むような活用方法も考えられる。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	職業・家庭	書名	No.23 リサイクル工作ずかん	発行者名	小峰書店
評					
価					
種目	職業・家庭	書名	No.24 しごとば	発行者名	ブロンズ新社
評					
価					

(1)
 ・ 紙コップや割り箸、空き箱など身近にあるリサイクル品を利用し、簡単に作ることができるおもちゃが示されている。製作を通して、カッターナイフなどの道具を使う技能を身につけ、指先の巧緻性を高めることができる。また、捨てずに活用できる資源があることの学習や、他の生徒と遊ぶことで社会性を養う手助けともなる内容である。

(2)
 ・ 身近にある材料ごとの工作の方法が配列されており、材料から制作する物を選ぶよう工夫されている。

(3)
 ・ 一つの材料から制作する例が数多く示されている。製作後の遊び方や活用の仕方も示されており、生徒が意欲的に取り組めるよう配慮されている。
 ・ 作り方は分かりやすく図解されていて、比較的理解の早い生徒は、一人でも製作できるよう工夫されている。

(4)
 ・ 作品ごとに1ページか見開きで構成され、活字や絵が大きく大変見やすい。
 ・ 丈夫な厚紙で、大きく開きやすい体裁なので、見ながら作業がしやすい。

(総評)
 全体的に大きな字や図を取り入れていて生徒にとって分かりやすい。また、身の回りの材料で簡単に作れるものを掲載していて取り組みやすく、楽しみながら道具の使い方を身につけることができる。

B	A
○	◎

(1)
 ・ すし職人・歯医者、美容師など生徒にとって身近な職業について、細部まで掘り下げて採り上げている。将来社会の中で働くことを生徒に意識させ、職業の多様性や専門性を分かりやすく示している。

(2)
 ・ 9つの職業を採り上げ、さらに一つの職業について仕事の内容や仕事で使う道具に見開き2ページ、仕事場の絵に見開き2～4ページと計4～6ページを使っていて、生徒にとって適切な分量である。自分が興味のある職業から読むことができるので、生徒が繰り返し読むのに適している。

(3)
 ・ 写実的なイラストとともに丁寧な説明があり、一目で職場をイメージしたり、詳しく職業について探求したりできる。

(4)
 ・ 一つ一つの絵に丁寧な説明が書かれてあり、大変分かりやすい。活字の大きさはやや小さいが、中学生にとっては問題ないと思われる。装丁がしっかりしていて扱いやすい。判の大きさも大きくて見やすくなるよう工夫されている。

(総評)
 一つ一つの仕事場が詳細に再現されていて、仕事に興味をもっている生徒や仕事とは何だろうと思っている生徒のどちらに対しても、興味や憧れを喚起させる内容になっている。

B	A
○	◎

種目	職業・家庭	書名	No.25 ころのふしぎ なぜ? どうして?	発行者名	ブロンズ新社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活のなかで生徒が感じる様々な疑問を場面ごとに採り上げ、自分や家族、身近な人々との関わり、社会のルールなどについて関心を持ち、考え、実行しようとする内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの設問に対し数ページのまとまりで構成されており、テーマごとに焦点を絞りながら読み進めることができるよう配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易で分かりやすい文章で表現することで、具体的な生活場面が想起しやすく、生徒が抱く疑問が理解しやすい。 生活の中で誰もがもちうる疑問について簡潔に配列しており、生徒の実態や興味・関心に応じて学習することができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚手で、手になじむ紙質を使用しており、装丁がしっかりしている。 人物や場を想起させるイラストがシンプルで分かりやすく描かれ親しみやすい。 活字が大きく、文章にはルビが振られており、読みやすい。 <p>(総評)</p> <p>普段、何気なく思っていることへの興味・関心の広がり期待できる。また、設問ごとにまとめてあるので、興味のあるところなどどのページからも読み進めることができる内容になっている。</p> <table border="1" data-bbox="1125 922 1449 1041"> <tr> <td data-bbox="1125 922 1289 974">B</td> <td data-bbox="1289 922 1449 974">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1125 974 1289 1041">○</td> <td data-bbox="1289 974 1449 1041">◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	職業・家庭	書名	No.26 「働く」の教科書 15人の先輩とやりたい仕事を見つけよう!	発行者名	中央法規				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校を卒業して、実際に働いている方のインタビューや仕事の内容、一日の流れなどが扱われている。自分たちの先輩のような方が実際に働いている様子を知り、将来の自分自身について深く考えることができる内容となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 15人の仕事が採り上げられていて、やや多いかと思われるが、進路について考え始めている上級生にとっては参考になる部分が多い。15の職種が分野別に採り上げられているので、自分の関心に合わせて学習することができる。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に働いている方を紹介する前に、「働く」ということについて考えるところに紙面が割かれている。そこを読み進めていくことで「働く」ことの意義について考えさせるよう配慮されている。写真やイラストも多く、内容をより分かりやすくしている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体裁は柔らかく丈夫な紙質で扱いやすい。活字はやや小さいが、漢字にはすべてルビが振られているので、読みやすい。 <p>(総評)</p> <p>進路選択にあたり、参考になる内容である。将来についてある程度希望を持っている生徒にも、先輩の生の声などが採り上げられていて励みになる。働く際に必要な職業スキルについても学ぶことができる内容となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1125 1814 1449 1933"> <tr> <td data-bbox="1125 1814 1289 1865">B</td> <td data-bbox="1289 1814 1449 1865">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1125 1865 1289 1933">○</td> <td data-bbox="1289 1865 1449 1933">◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	職業・家庭	書名	No.27 イラスト版修理のこつ 子どもとマスターする54の生活技術	発行者名	合同出版				
評	<p>(1) 物の手入れや修理などに関する体験的な学習内容を採り上げており、住まいや暮らし方に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる内容である。</p> <p>(2) 「保守・保全」「補修・修理」「洗う」など54の作業を9つのカテゴリーに分類している。生徒が今必要としていることがどれであるかを見つけやすい配列になっている。</p> <p>(3) 日常生活の指導や自立活動の時間にも利用できる内容が多く含まれている。トイレ掃除の仕方などすぐに生かせる内容があり、生徒が学習したことを実践し、その成果を感じさせることができる。</p> <p>(4) 装丁は丈夫であり、扱いやすい。活字が小さくルビが振られていないので、扱う時に教師が読んで聞かせるなど工夫する必要があると思われる。</p>								
価	<p>(総評) 高度な技術も採り上げているが、日常生活の中ですぐに役立つ技術が多い。挿絵はあるが漢字にルビがなく文章が多いため、比較的理解の早い生徒に適しているが、理解に時間がかかる生徒にも一部使用できる。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	職業・家庭	書名	No.28 イラスト版子どものお手伝い 子どもとマスターする49の生活技術	発行者名	合同出版				
評	<p>(1) 自分の衣服の手入れや食事の際の準備や後片付けなど簡単にできるものから、掃除の仕方や調理の仕方など、日常生活で覚えておきたい作業を採り上げている。すぐに体験できることが多く採り上げられており、家庭や地域で生活する時の、期待される役割を果たすことの大切さを理解させられる内容になっている。</p> <p>(2) 「小さい時からお手伝い」「衣食住の基礎」「自分のことは自分で」など5つのカテゴリーに分類されていて、それぞれ、分かりやすく解説が加えられている。季節の行事も採り上げていて、1年間の見通しを持って生活できるよう工夫されている。</p> <p>(3) 生徒の興味を惹くような人物や道具等の絵が多く採り入れられている。作業の流れの絵が該当ページに示されていて、生徒が実際に行う際の手助けになる。</p> <p>(4) 生徒が親しみやすいように、人物や道具のイラストが多く描かれている。活字や絵が大きく大変見やすい。また、表現が分かりやすい。</p>								
価	<p>(総評) 全体的に大きめな字や図を採り入れていて、生徒にとって分かりやすいものとなっている。自分の生活をより良くしていき、更には自立していけるように様々な日常の場を設定している。本の装丁もしっかりしていて、生徒の長い使用に耐えられるものとなっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	英語	書名	No.29 和英えほん	発行者名	戸田デザイン研究室				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活でよく見られるものや生徒が親しみを感じられる動植物などを採り上げ、生活の中で英語を使ってみたいという意欲を喚起できる内容になっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が親しみやすい80語ほどを採り上げており、適切な分量である。 日本語の五十音順に配列されており、探しやすいよう配慮されている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 英単語の発音を片仮名で示しており、強く発音するところをゴシック体にしていて、発音への意欲を補助する工夫がされている。 一つの語に対して、親しみやすい挿絵、平仮名、アルファベットで構成されており、理解を補助している。 見開きで左右のページに五つずつ絵が縦に並び、間の仕切りを操作することで、日本語の意味と英単語を比べて見ることができ、繰り返し学習できるよう配慮されている。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きのしっかりした装丁になっている。どのページも同じ大きさの単純化した挿絵があり、色使いも左右異なるなど、わかりやすいレイアウトになっている。 <table border="1" data-bbox="1123 855 1449 972"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table> <p>(総評)</p> <p>英語の初期の学習として、身近な言葉が採り上げられていて、発音もカタカナで書かれており理解しやすい内容となっている。興味をもって英単語を覚えるのに適した内容である。</p>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	英語	書名	No.30 絵本ABC	発行者名	岩崎書店				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会でよく使われている略語(頭文字)を、イラストと説明文で解説している。 生徒が街で見かけた英語の意味を調べることができ、様々な体験活動に活用することができる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 略語が場面ごとに配列されているので、関連する他の語も知ることができる。学習したことが身に付きやすい構成となっている。 略語から簡単な英単語へと配列されていて、見開きで数個の略語や単語が学習できるようになっていて、分量・区分とも適切である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな見やすい絵から語句の意味を想起しやすく、理解を助ける。実際に生徒が見たことがあるであろう場面も多く、興味・関心を喚起させることができる。 「DPE」、「EE」など、現在では目にすることが少ない略語もあるので、指導の際には補助的な説明を取り入れながら指導するとより活用できる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚手の紙を使用し、装丁もしっかりしている。 はっきりした色使いで大きく分かりやすいイラストが描かれており、文字も大きく見やすく書かれている。 <table border="1" data-bbox="1117 1818 1442 1935"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table> <p>(総評)</p> <p>全体的に大きな文字・図を取り入れており、生徒にとって分かりやすいものとなっている。身の回りにあるものの略語から、英語表記に興味・関心を持って学習させるのに適した内容となっている。</p>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	英語	書名 No.31 えいごえほん ぞうさんがっこうにいく	発行者名	あかね書房				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活をテーマに、初歩的な語や会話を採り上げている。 時刻や月名、色など日常生活に身近な語が数多く採り上げられている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の流れに沿って、描かれているため、生徒が場面を想起しやすくなっている。 見開きのページごとに場面が設定され、簡潔にまとめられており、適切な分量である。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親しみやすいキャラクターが登場し、生徒の興味・関心を惹く工夫がされている。 英語の他にカタカナも表記され、生徒がコミュニケーションに使用する意欲を喚起する工夫がなされている。 平易な文章表記を用いており、生徒が自分で読み進められることができる内容になっている。理解に時間がかかる生徒には、教師が読んで聞かせるなどの工夫をすることで、一部使用できる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚手の紙を利用し、装丁もしっかりしている。文字はやや小さいが、挿絵のバランスも良く、見やすく仕上げられている。 <p>(総評)</p> <p>色彩も良く、楽しいキャラクターが生徒の興味・関心を惹くことができる。また、身近なものや場面を基礎的な英語で表現してみようという、生徒の意欲を喚起する内容である。</p> <table border="1" data-bbox="1114 909 1437 1025"> <tr> <td data-bbox="1114 909 1273 958">B</td> <td data-bbox="1273 909 1437 958">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1114 958 1273 1025"></td> <td data-bbox="1273 958 1437 1025">○</td> </tr> </table>				B	A		○
B	A							
	○							
種目	英語	書名 No.32 親子でうたう 英語うたの絵じてん	発行者名	三省堂				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「メリーさんのひつじ」や「森のくまさん」などポピュラーな曲が扱われている歌の本である。英語の歌に親しむきっかけとなる内容である。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 童謡、クリスマスソング、あそびうたなどのテーマに分かれていて、季節や行事と関連させて取り組むことができるようになっている。(採り上げている曲の分量も適切である。) <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの曲の歌詞のそばに日本語と、色彩豊かで親しみやすい絵が添えられており、生徒が意欲的に学習できる工夫がされている。 英語の発音は書かれていないが、CDが付属しており、何度も繰り返し学習に取り組むことができる。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな見やすい絵から内容や場面を想起しやすく、学習に興味を持たせることができる。文章量が多くなると文字がやや小さくなるが、曲の雰囲気合わせた色彩のイラストが添えられており、生徒の理解を助けている。 厚手の紙を使用し、装丁もしっかりしている。 <p>(総評)</p> <p>全体的に大きな絵が描かれていて生徒にとって分かりやすいものとなっている。理解に時間がかかる生徒も、CDを活用しながら、何度も英語に触れていくうちに、自然に英語の発音に慣れ、親しんでいくことで、興味・関心を高めることができるようになっている。</p> <table border="1" data-bbox="1114 1868 1437 1984"> <tr> <td data-bbox="1114 1868 1273 1917">B</td> <td data-bbox="1273 1868 1437 1917">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1114 1917 1273 1984"></td> <td data-bbox="1273 1917 1437 1984">○</td> </tr> </table>				B	A		○
B	A							
	○							

